

東京国立文化財研究所要覧 : 1958-1965

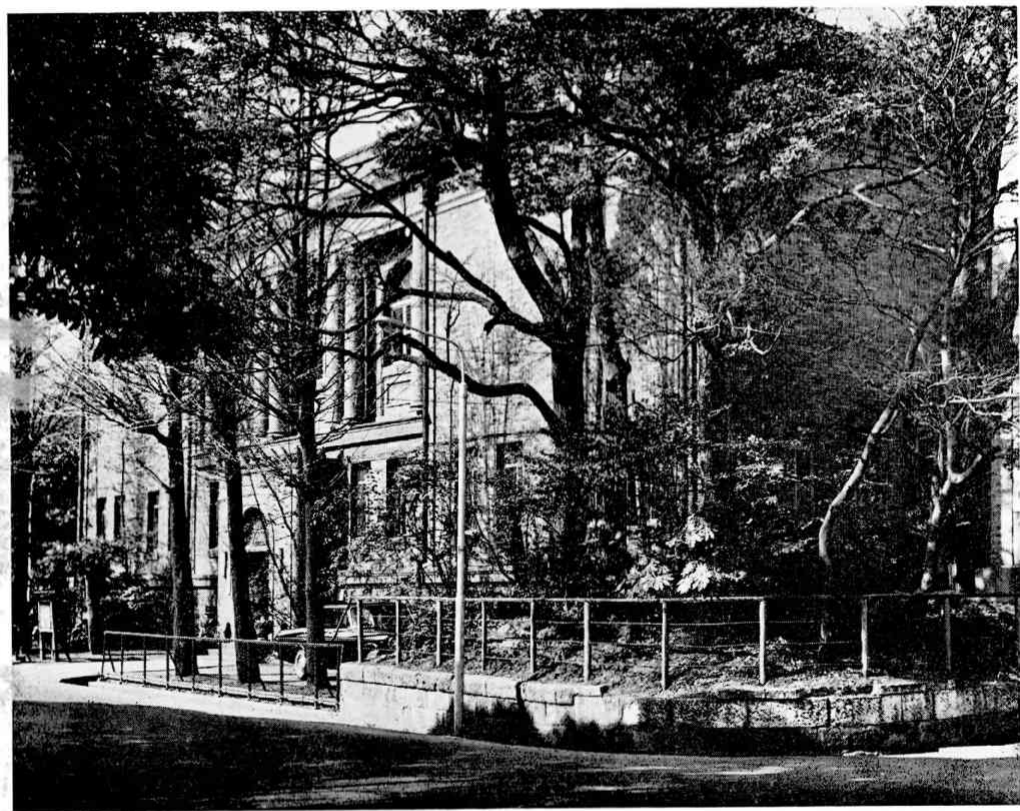
| | |
|-------|---|
| 出版年月日 | 1967-03-31 |
| URL | http://doi.org/10.18953/00008564 |



東京国立文化財研究所要覧

1958—1965

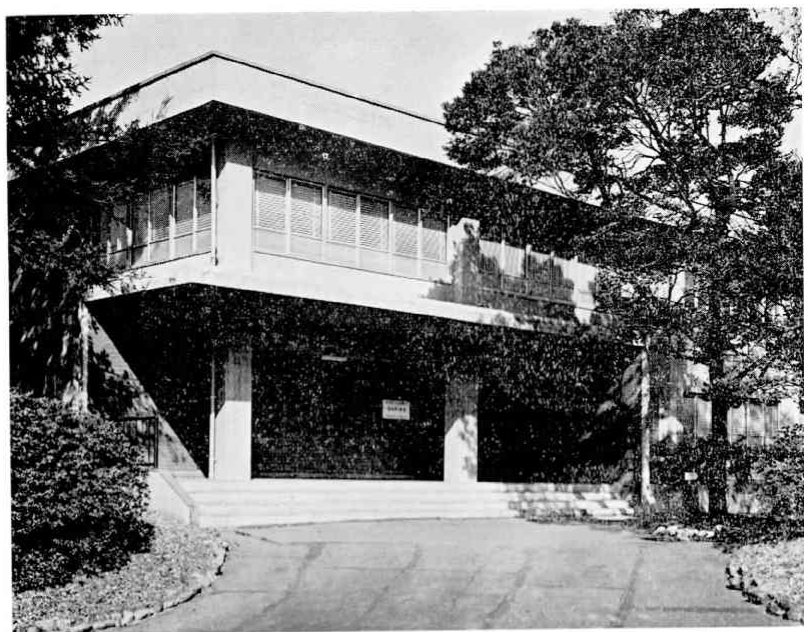
昭和33年度—昭和40年度



東京国立文化財研究所本館



東京国立文化財研究所芸能部庁舎



東京国立文化財研究所保存科学部庁舎

東京国立文化財研究所建物所在地図



目 次

| | |
|---------------------|-----|
| I 沿 革 | 1 |
| II 機構と規模 | 5 |
| 1 機 構 | 5 |
| 2 土 地 ・ 建 物 | 8 |
| 3 予 算 | 9 |
| III 職 員 | 14 |
| 1 定 員 | 14 |
| 2 現 職 員 | 16 |
| 3 旧 職 員 | 18 |
| IV 調 査 研 究 | 20 |
| 1 美 術 部 | 20 |
| A 研 究 題 目 | 20 |
| B 調 査 研 究 活 動 | 31 |
| C 主 要 研 究 業 績 | 54 |
| 2 芸 能 部 | 81 |
| A 研 究 題 目 | 81 |
| B 調 査 研 究 活 動 | 85 |
| C 主 要 研 究 業 績 | 94 |
| 3 保 存 科 学 部 | 104 |
| A 研 究 題 目 | 104 |
| B 調 査 研 究 活 動 | 112 |
| C 主 要 研 究 業 績 | 124 |

| | | |
|---|-------|-----|
| 4 | 受託研究 | 133 |
| 5 | 出版 | 138 |
| 6 | 講演・展観 | 142 |

V 研究施設 144

| | | |
|---|---------|-----|
| 1 | 蔵書 | 144 |
| 2 | 資料 | 144 |
| 3 | 設備・機器 | 145 |
| 4 | 黒田子爵記念室 | 148 |
| 5 | 閲覧室 | 149 |

I 沿 革

本研究所は、昭和27年4月1日発足したのであるが、その前身であり母胎となったものは、昭和5年に創設された帝国美術院附属美術研究所である。

この美術研究所は、大正13年7月、故帝国美術院長子爵黒田清輝の遺言により美術奨励事業のために出捐した資金で遺言執行人が選択決定した事業である。すなわち遺言執行人代表伯爵樺山愛輔は、故子爵の遺志にしたがってこの資金で行なうべき事業の選定を伯爵牧野伸顕に一任した。牧野伯爵は帝国美術院長福原鐮二郎および東京美術学校長正木直彦とはかつて諸方面の意見を徴し、またわが国美術上の必要に照らして次の事業を行なうこととした。

- (1) 美術に関する基礎的調査研究機関として美術研究所を設けること。
- (2) 黒田子爵の作品を陳列して同子爵の功績を記念すること。
- (3) 前二項の目的を達するために適当な建物を造営すること。
- (4) 事業成立のうえは一切これを政府に寄附すること。

昭和元年12月 この事業を遂行するため委員会が設置され、東京美術学校長正木直彦が委員長に就任し、美術研究所事業について東京美術学校教授矢代幸雄、黒田子爵作品陳列について東京美術学校教授久米桂一郎、同岡田三郎助、同和田英作、同藤島武二および大給近清、建築造営について東京美術学校教授岡田信一郎、会計事務について遺言執行人打田伝吉を各委員として事務を分掌進行させた。

昭和2年2月 美術研究所準備事業を開始した。

同年10月 東京市上野公園内に鉄筋コンクリート造、半地階2階建、延面積1,192m²の建物1棟を起工した。

同3年9月 前記の建物が竣工したので、美術研究所開設のため必要な備品、図書、写真等の研究資料を設備し、また館内に黒田子爵記念室を設け、同子爵の作品を陳列した。

同4年5月 遺言執行人代表者樺山愛輔は、建物、設備、研究資料等一切の外に金15万円をそえて帝国美術院長に寄附を願い出た。

同5年6月28日 勅令第125号により帝国美術院に附属美術研究所が置かれ、東京美術学校長正木直彦が同研究所の主事に補せられた。

同年10月17日 美術研究所開所式を挙行了した。

同7年1月 美術研究所の研究成果発表機関誌として、定期刊行物「美術研究」を創刊した。

同年4月18日 株式会社朝日新聞社より明治大正美術史編纂費として本年から向う5ヶ年間毎年5千円、合計2万5千円を帝国美術院に寄附したいとの申出があった。

同年5月26日 帝国美術院はこの申出を受理した。

明治大正美術史編纂委員会規程を設け、美術研究所は明治大正美術史の編纂に関する事務を行なうことになった。

同9年10月18日 毎年10月18日を開所記念日と定めた。

同10年1月28日 鉄筋コンクリート造、2階建、延面積129m²の書庫が竣工した。

同年4月 「日本美術年鑑」の編纂事務を開始した。

同年6月1日 勅令第148号により美術研究所官制が公布された。

研究資料閲覧規程を制定し、閲覧事務を開始した。

同12年6月24日 勅令第281号により美術研究所官制中改正の件が公布され、従来の帝国美術院に附置されていたのを文部大臣の直轄に改められた。

同年11月29日 美術研究所長職務規程、美術研究所事務分掌規程が制定された。

同13年2月12日 木造、平家建、延面積97m²の写真室1棟が竣工した。

同19年8月10日 黒田清輝の作品、ならびに写真原版を東京府西多摩郡小宮村谷間家倉庫に疎開した。

同20年5月28日 美術研究所の図書、諸資料全部を山形県酒田市本町1丁目本間家倉庫3棟に疎開した。

同年7月～8月 酒田市本間倉庫に疎開した図書資料を爆撃の危険を避けるため、さらに酒田市外牧曽根村松沢世喜雄家倉庫、観音寺村村上家倉庫、大沢村後藤作之丞家倉庫にそれぞれ分散疎開した。

同21年3月29日 酒田市疎開中の図書、諸資料等の東京向け発送を終了した。

同年4月4日 酒田市疎開中の図書、諸資料等が東京に到着し引揚げを完了した。

同年4月16日 東京府西多摩郡小宮村谷間家倉庫に疎開中であった黒田清輝作品なら

びに写真原版の引揚げを完了した。

同22年5月3日 美術研究所官制が廃止され、国立博物館官制が制定された。美術研究所は同館の附属美術研究所となった。

同24年 本年度から科学研究費により光学的方法による美術品の鑑識に関する研究が開始された。

同25年8月29日 文化財保護法の制定に伴い、美術研究所は文化財保護委員会の附属機関となった。

同26年1月31日 美術研究所組織規程（昭和26年文化財保護委員会規則第5号）が定められ第一研究部、第二研究部、資料部、庶務室が置かれた。（昭和25年8月29日から適用）

同27年4月1日 東京文化財研究所組織規程（昭和27年文化財保護委員会規則第4号）が定められ、美術部、芸能部、保存科学部、庶務室の3部1室が置かれ、美術研究所組織規程が廃止された。

同年7月1日 芸能部研究室として東京芸術大学音楽学部邦楽科教室2室を同大学から借用し、研究を開始した。

同28年4月26日 保存科学部研究室は、国立博物館保存修理課保存技術研究室として昭和22年発足以来、東京国立博物館地階の1室に置かれていたが、同館構内の倉庫132m²を改造のうえ移転した。

同29年7月1日 東京文化財研究所組織規程の一部が改正され（昭和29年文化財保護委員会規則第1号）、東京国立文化財研究所となった。

同32年3月28日 東京国立博物館構内に木造、外部鉄網モルタル塗、平家建、8m²の保存科学部の薬品庫が竣功した。

同年11月30日 従来の2階建書庫のうえに更に1階を増築3階建とし、増築分延面積71m²が竣功した。

同34年4月30日 国立文化財研究所研究受託規程（文化財保護委員会告示第14号）が定められ、この年度から受託研究が開始された。

同36年9月16日 東京国立文化財研究所組織規程の一部が改正され（昭和36年文化財保護委員会規則第1号）、従来の庶務室は庶務課となった。

同37年3月31日 東京国立博物館構内に保存科学部庁舎として、鉄筋コンクリート造

2階建延面積662m²の建物1棟が竣工した。

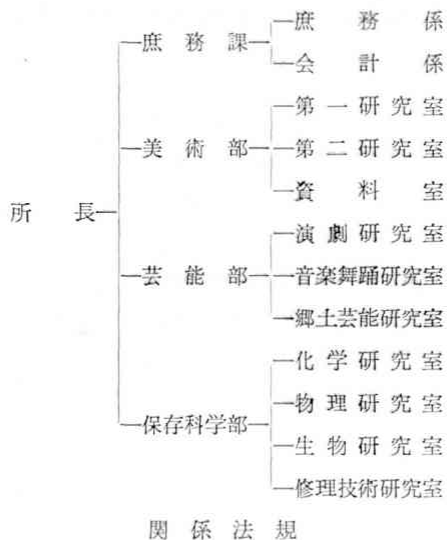
同年7月1日 東京国立文化財研究所組織規程の一部が改正され（昭和37年文化財保護委員会規則第1号）、新たに保存科学部に修理技術研究室が置かれた。

なお、昭和5年創設当初は所長は置かれず、前記のとおり東京美術学校長正木直彦が美術研究所主事となり、次いで同6年11月25日同校教授矢代幸雄が主事となった。こえて同10年6月1日美術研究所の官制が公布せられて同日東京美術学校長和田英作が所長事務取扱となり、同11年6月22日初めて矢代幸雄が専任所長となった。以後同17年6月29日田中豊蔵（所長事務取扱から同22年8月16日所長に）、同23年5月11日福山敏男（所長代理）、同24年8月31日松本栄一、同27年4月1日矢代幸雄（所長事務代理）、同28年11月1日田中一松らが所長となり、昭和40年4月1日からは関野克がそのあとをついで、今日にいたっている。

II 機構と規模

1 機構

東京国立文化財研究所は、1課と3部より成り、庶務課は、庶務・会計の2係に分かれ、部は研究の便宜上、これを美術・芸能・保存科学の3部に分け、各部には室が置かれている。



文化財保護法（昭和25年5月30日法律第214号）抜粋

（附属機関）

第20条 委員会の附属機関として、文化財専門審議会、国立博物館及び国立文化財研究所を置く。

（国立文化財研究所）

第23条 国立文化財研究所は、文化財に関する調査研究、資料の作成及びその公表

を行う。

- 2 国立文化財研究所の名称及び位置は、左の通りとする。

| 名 称 | 位 置 |
|------------|-------|
| 東京国立文化財研究所 | 東 京 都 |
| 奈良国立文化財研究所 | 奈 良 市 |

- 3 国立文化財研究所には、支所を置くことができる。

- 4 国立文化財研究所及びその支所の内部組織は、委員会規則で定める。

(従前の国立博物館)

附則第124条 略

- 2 この法律に基く東京国立文化財研究所は、従前の国立博物館附置の美術研究所の所掌した調査研究と同一のものについては、「美術研究所」の名称を用いることができる。

東京国立文化財研究所組織規程（昭和27年3月25日文化財保護委員会規則第4号）

（沿革）昭和29年6月29日文化財保護委員会規則第1号改正

昭和36年9月15日文化財保護委員会規則第1号改正

昭和37年6月22日文化財保護委員会規則第1号改正

昭和38年4月10日文化財保護委員会規則第3号改正

（東京国立文化財研究所の組織）

- 第1条 東京国立文化財研究所の所掌事務を分掌させるため、庶務課及び次の三部を置く。

美術部

芸能部

保存科学部

（庶務課の所掌事務）

- 第2条 庶務課においては、次の事務をつかさどる。

一 別に文化財保護委員会から委任を受けた範囲における職員の人事に関すること。

二 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。

II 機構と規模

- 三 経費及び収入の予算、決算その他会計に関すること。
- 四 行政財産及び物品の管理に関すること。
- 五 職員の福利厚生に関すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。

(美術部の三室及び所掌事務)

第3条 美術部に、美術部の所掌事務を分掌させるため、第一研究室、第二研究室及び資料室の三室を置く。

2 第一研究室においては、わが国の上代、中世及び近世の美術並びに東洋美術の調査研究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。

3 第二研究室においては、わが国の近代及び現代の美術並びに西洋美術の調査研究並びにその結果の公表に関する事務のほか、黒田記念室に関する事務をつかさどる。

4 資料室においては、美術研究資料の作成、収集、整理、保管、公表及び閲覧並びに美術研究資料に関する写真の作成及びその原板の保管並びにエックス線写真、赤外線写真、紫外線写真その他の特殊写真による美術の研究に関する事務をつかさどる。

(芸能部の三室及び所掌事務)

第4条 芸能部に、芸能部の所掌事務を分掌させるため、演劇研究室、音楽舞踊研究室及び郷土芸能研究室の三室を置く。

2 演劇研究室においては、演劇及びその保存に関する調査研究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。

3 音楽舞踊研究室においては、音楽及び舞踊並びにその保存に関する調査研究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。

4 郷土芸能研究室においては、郷土芸能及びその保存に関する調査研究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。

(保存科学部の四室及び所掌事務)

第5条 保存科学部に、保存科学部の所掌事務を分掌させるため、化学研究室、物理研究室、生物研究室及び修理技術研究室の四室を置く。

2 化学研究室においては、文化財及びその保存に関する化学的及び分析的調査研

究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。

- 3 物理研究室においては、文化財及びその保存に関する物理学的調査研究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。
- 4 生物研究室においては、文化財及びその保存に関する生物学的調査研究並びにその結果の公表に関する事務をつかさどる。
- 5 修理技術研究室においては、文化財の修理に関する科学的、技術的調査研究及びその結果の公表に関する事務をつかさどる。

(所 長)

第6条 東京国立文化財研究所に所長を置く。

- 2 所長は、所務を総理する。

附 則

- 1 この規則は、昭和27年4月1日から施行する。
- 2 美究研究所組織規程(昭和26年文化財保護委員会規則第5号)は、廃止する。

附 則(昭和29年6月29日文化財保護委員会規則第1号)

この規則は、昭和29年7月1日から施行する。

附 則(昭和36年9月15日文化財保護委員会規則第1号)

この規則は、昭和36年9月16日から施行する。

附 則(昭和37年6月22日文化財保護委員会規則第1号)

この規則は、昭和37年7月1日から施行する。

附 則(昭和38年4月10日文化財保護委員会規則第3号)

この規則は、公布の日から施行し、昭和38年4月1日から適用する。

2 土地・建物

東京都台東区上野公園12番53号の建物を本館とし、同13番9号の建物2棟をそれぞれ保存科学部庁舎・芸能部庁舎として使用している。

本館は、昭和3年9月に竣工した旧美術研究所の建物で、所長室、庶務課の事務室、美術部の各研究室及び黒田記念室等となっている。なお、本館敷地内には書庫、写真室及び車庫の3棟が附設されている。

II 機構と規模

保存科学部庁舎は、昭和37年3月に建てられ、すべて同部の各研究室、実験室及びアトリエとなっている。

芸能部庁舎は、東京国立博物館の建物を一時借用しているものである。

本館、保存科学部庁舎及び芸能部庁舎の敷地および建物の面積は、次のとおりである。

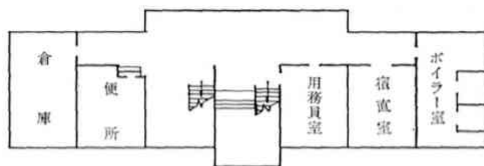
| 建物の名称 | 建面積 | 延面積 | 構 造 | 備 考 | 敷 地 |
|--------------|----------------|----------------|--------------------------|------------------|-----------------|
| 1. 本 館 庁 舎 | m ² | m ² | | | m ² |
| 本 館 | 468 | 1,192 | {鉄筋コンクリート造 地下1階, 地上2階 | 渡廊下を含む | 1,547 |
| 書 庫 | 68 | 205 | {鉄筋コンクリート造 地上3階 | | |
| 写 真 室 | 118 | 118 | 木造, 平家建 | | |
| 車 庫 | 27 | 27 | {木造モルタル塗, 平 家建 | 渡廊下を含む | 東京国立博物 館から借用 |
| 2. 保存科学部庁舎 | 347 | 672 | {鉄筋コンクリート造 地上2階 | 薬品庫を含む | |
| 3. 芸 能 部 庁 舎 | 132 | 132 | 木造, 平家建 | {東京国立博物 館から借用 | |
| 計 | 1,160 | 2,396 | | | 1,547 |

3 予 算

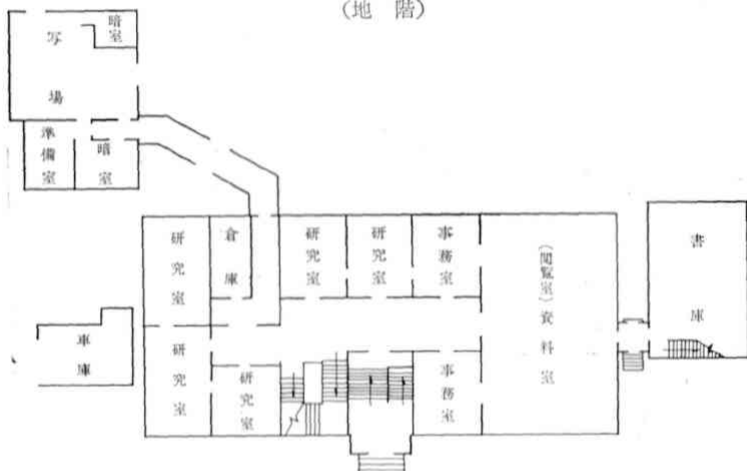
歳出予算額

| 年 度 | 費 目 | 人 件 費 | 事 業 費 | 合 計 |
|------------|-----|--------|--------|--------|
| | | 千円 | 千円 | 千円 |
| 昭 和 33 年 度 | | 16,583 | 6,029 | 22,612 |
| 昭 和 34 年 度 | | 18,063 | 6,767 | 24,830 |
| 昭 和 35 年 度 | | 21,814 | 7,911 | 29,725 |
| 昭 和 36 年 度 | | 26,536 | 10,730 | 37,266 |
| 昭 和 37 年 度 | | 30,407 | 12,437 | 42,844 |
| 昭 和 38 年 度 | | 34,474 | 12,954 | 47,428 |
| 昭 和 39 年 度 | | 39,904 | 14,920 | 54,824 |
| 昭 和 40 年 度 | | 44,515 | 17,786 | 62,301 |

本館



(地階)



(1階)

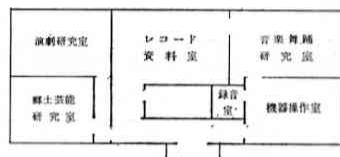


(注)書庫3階
は2階に同じ

(2階)

II 機構と規模

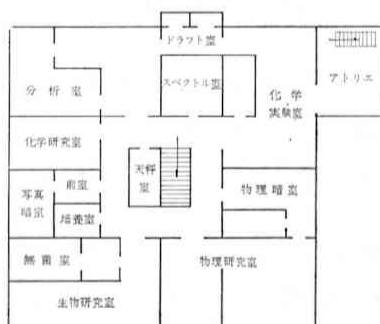
芸能部庁舎



保存科学部庁舎



(1 階)



(2 階)

注 各庁舎の縮尺不同

科学研究費補助金交付決定額

| 種別 年度 | 機関研究 | | 各個研究 | | 総合研究 | | 試験研究 | | 研究成果 刊行費 | | 合 計 | |
|----------|------|-------|------|-----|------|-------|------|-----|-------------|-----|-----|-------|
| | 件数 | 金 額 | 件数 | 金 額 | 件数 | 金 額 | 件数 | 金 額 | 件数 | 金 額 | 件数 | 金 額 |
| 昭和33年度 | | | 2 | 180 | 1 | 750 | | | 1 | 360 | 4 | 1,290 |
| 昭和34年度 | | | 2 | 210 | 1 | 750 | | | | | 3 | 960 |
| 昭和35年度 | 1 | 1,550 | 3 | 320 | 1 | 700 | 1 | 700 | | | 6 | 3,270 |
| 昭和36年度 | 2 | 2,880 | 1 | 100 | 1 | 750 | 1 | 900 | | | 5 | 4,630 |
| 昭和37年度 | 1 | 1,600 | 3 | 300 | 1 | 1,000 | | | | | 5 | 2,900 |
| 昭和38年度 | | | 2 | 200 | 1 | 1,100 | | | 1 | 400 | 4 | 1,700 |
| 昭和39年度 | | | 4 | 390 | 1 | 1,200 | | | | | 5 | 1,590 |
| 昭和40年度 | 1 | 1,500 | 4 | 369 | 1 | 1,080 | | | | | 6 | 2,949 |

機 関 研 究

| | | |
|------------------------------|---------|-------------|
| 浄瑠璃の音楽的理法の研究 (35) | 浦 山 政 雄 | 千円 1,550 |
| 同 (36) | 同 | 900 |
| 基礎資料の蒐集整理に基づく古文化財の実証的研究 (36) | 田 中 一 松 | 1,980 |
| 同 (37) | 同 | 1,600 |
| 明治以降日本東洋美術史学の発達に関する研究 (40) | 高 田 修 | 1,500 |

各 個 研 究

| | | |
|-----------------------------|---------|-----|
| 中インド仏跡の実地踏査による仏教文化史的研究 (33) | 高 田 修 | 100 |
| 朱鷺刻歌舞伎脚本の研究 (33) | 浦 山 政 雄 | 80 |
| 同 (34) | 同 | 110 |
| 歌舞伎舞踊古曲の復元に関する研究 (34) | 戸 部 銀 作 | 100 |
| 明治以降官設展覧会の研究 (35) | 隈 元 謙次郎 | 120 |
| 考古学的遺品の保存に関する研究 (35) | 岩 崎 友 吉 | 110 |
| 近畿地方に残存する風流踊とその歌謡の研究 (35) | 三 隅 治 雄 | 90 |
| 同 (36) | 同 | 100 |
| 両界曼荼羅図の研究 (37) | 高 田 修 | 80 |
| 大谷探検隊収集の西域美術品の調査研究 (37) | 熊 谷 宣 夫 | 110 |
| 歌舞伎画証資料の研究 (37) | 浦 山 政 雄 | 110 |

II 機構と規模

| | | |
|---|---------|-------|
| 日本古典芸能の単元構成の研究 (38) | 横 道 萬里雄 | 100 |
| 慶長以前の鋳物師の研究 (38) | 立 田 三 朗 | 100 |
| 平安初期彫刻の研究 (39) | 久 野 健 | 110 |
| 古筆手鑑の研究 (39) | 田 村 悦 子 | 100 |
| 狩野元信の研究 (39) | 辻 惟 雄 | 60 |
| 小町踊りとその歌謠の研究 (39) | 三 隅 治 雄 | 120 |
| 官設展覧会の編年史的研究 (40) | 岡 畏三郎 | 99 |
| 神将形像主として二天彫像について一尊像別分類による彫刻の研究 (40) | 猪 川 和 子 | 99 |
| 上杉神社蔵服飾類の調査研究 (40) | 田 実 栄 子 | 99 |
| 平安時代漆芸技法の研究 (40) | 中 里 寿 克 | 72 |
| 総 合 研 究 | | |
| 日本美術における宋元明の影響 (33) | 田 中 一 松 | 750 |
| 同 (34) | 同 | 750 |
| 12世紀を中心とする日本美術の諸相の検討—日本美術史における転換期の研究 (35) | 同 | 700 |
| 同 (36) | 同 | 750 |
| 藤原時代に於ける古典様式成立の研究 (37) | 伊 東 卓 治 | 1,000 |
| 同 (38) | 田 中 一 松 | 1,100 |
| 東洋美術における仏教説話の表現形式に関する総合的研究 (39) | 高 田 修 | 1,200 |
| 同 (40) | 同 | 1,080 |
| 試 験 研 究 | | |
| 文化財建造物の精密修理に伴う科学的処置 (35) | 関 野 克 | 700 |
| 同 (36) | 同 | 900 |
| 研究成果刊行費 | | |
| 醍醐寺五重塔の壁画 (33) | 高 田 修 | 360 |
| 平安時代世俗画の研究 (38) | 秋 山 光 和 | 400 |

Ⅲ 職 員

1 定 員

文部省定員規則（昭和36年6月6日文部省令第14号）按すい

（沿革）昭和40年3月31日文部省令第16号〔第5次改正〕

国家行政組織法（昭和23年法律第120号）第22条の2の規定に基づき、文部省定員規則を次のように定める。

文部省定員規則

文部省の各内部部局、各所轄機関（文部省設置法（昭和24年法律第146号）第14条に掲げる国立学校以外の各機関をいう。）及び各附属機関の定員は、次のとおりとする。

外 局

| 区 分 | | | 定 員 | 備 考 |
|----------|---------|------------|------|-----|
| 文化財保護委員会 | 附 属 機 関 | 東京国立文化財研究所 | 49 人 | |

附 則 略

昭和33年度以降の職種別予算定員は次のとおりである。

| 区 分 | 年 度 | | | | 備 考 |
|---------|------|------|------|------|---|
| | 33年度 | 34年度 | 35年度 | 36年度 | |
| 一 般 職 | 36人 | 36人 | 37人 | 43人 | 1. 昭和35年度保存科学部1名増 2. 昭和36年度定員6名増は守衛1名、常勤職員からの定員振替1名及び臨時筆生からの定員振替4名である。 |
| 官 吏 | 26 | 26 | 34 | 38 | |
| 事 務 官 | 3 | 3 | 4 | 8 | |
| 技 官 | 23 | 23 | 30 | 30 | |
| 雇 員 | 9 | 9 | 2 | 3 | |
| 事 務 雇 員 | 1 | 1 | | | |
| 技 術 雇 員 | 8 | 8 | 2 | 3 | |
| 備 人 | 1 | 1 | 1 | 2 | |
| 自動車運転手 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| 守 衛 | | | | 1 | |

Ⅲ 職 員

| 区 分 | 年 度 | 37年度 | 38年度 | 備 考 |
|-----------|-----|------|------|--|
| 一 般 職 | | 49 | 49 | 昭和37年度定員 6 名増は臨時筆生からの定員振替 3 名及び保存科学部修理技術研究室の増設に伴う研究職 3 名の増である。 |
| 行 政 職 (一) | | 15 | 15 | |
| 事 務 官 | | 8 | 8 | |
| 技 術 官 | | 2 | 2 | |
| 事 務 員 | | 1 | 1 | |
| 技 術 員 | | 4 | 4 | |
| 行 政 職 (二) | | 2 | 2 | |
| 守 衛 | | 1 | 1 | |
| 自動車運転手 | | 1 | 1 | |
| 研 究 職 | | 32 | 32 | |
| 技 官 | | 31 | 31 | |
| 技 術 員 | | 1 | 1 | |

| 区 分 | 年 度 | 39年度 | 区 分 | 年 度 | 40年度 | 備 考 |
|-----------|-----|------|-----------|-----|------|---|
| 一 般 職 | | 49 | 一 般 職 | | 49 | 昭和39年度から研究職の職名が具体的に変更され、更に昭和40年度から全面的に職名が統一された。 |
| 行 政 職 (一) | | 15 | 行 政 職 (一) | | 15 | |
| 事 務 職 員 | | 9 | 課 長 | | 1 | |
| 技 術 職 員 | | 6 | 課 長 補 佐 | | 1 | |
| 行 政 職 (二) | | 2 | 係 長 | | 2 | |
| 守 衛 | | 1 | 専 門 職 | | 2 | |
| 自動車運転手 | | 1 | 一 般 職 員 | | 9 | |
| 研 究 職 | | 32 | 行 政 職 (二) | | 2 | |
| 所 長 | | 1 | 技能労務職員 | | 2 | |
| 部長等研究員 | | 4 | 研 究 職 | | 32 | |
| 室長等研究員 | | 7 | 所 長 | | 1 | |
| 研 究 員 | | 19 | 部長等研究員 | | 4 | |
| 研究補助員 | | 1 | 室長等研究員 | | 7 | |
| | | | 研 究 員 | | 19 | |
| | | | 研 究 補 助 員 | | 1 | |

2 現 職 員

(昭和42年2月1日現在)

| (区 分) | (官 名) | (職 名) | (氏 名) | (発 令 年 月 日) |
|-----------|---------|---------|---------|----------------|
| | 文 部 技 官 | 所 長 | 関 野 克 | 40. 4. 1 |
| 庶 務 課 | 文部事務官 | 課 長 | 野 島 弥三郎 | 41. 4. 1 |
| | " | 課 長 補 佐 | 音 川 啓太郎 | 41. 6. 1 |
| 庶 務 係 | " | 係 長 | 羽 田 吉 一 | 28. 3. 16 |
| " | " | | 松 本 多賀子 | 39. 6. 16 |
| " | " | 警 務 員 | 友 田 薫 | 41. 2. 1 |
| " | " | 用 務 員 | 高 谷 た ま | 39. 4. 1 |
| 会 計 係 | 文部事務官 | 係 長 | 藤 江 金 治 | 25. 7. 17 |
| " | " | | 大 釜 一 也 | 37. 1. 16 |
| " | " | | 本 村 傳 一 | 34. 4. 1 |
| " | " | 事 務 員 | 角 田 友 子 | 39. 7. 16 |
| 美 術 部 | 文 部 技 官 | 部 長 | 高 田 修 | 27. 12. 1 |
| 第 一 研 究 室 | " | 室 長 | 川 上 涇 | 21. 2. 28 |
| " | " | | 柳 沢 孝 | 21. 9. 30 |
| " | " | | 田 村 悦 子 | 22. 6. 16 |
| " | " | | 猪 川 和 子 | 22. 6. 27 |
| " | " | | 宮 次 男 | 30. 9. 1 |
| " | " | | 戸 田 禎 佑 | 37. 6. 1 |
| " | " | 非常勤研究員 | 秋 山 光 和 | 42. 2. 1 |
| 第 二 研 究 室 | 文 部 技 官 | 室 長 | 岡 畏三郎 | 20. 5. 15 |
| " | " | | 中 村 傳三郎 | 22. 10. 1 |
| " | " | | 関 千 代 | 18. 12. 15 |
| " | " | | 坂 本 満 | 33. 10. 1 |
| " | " | | 陰 里 鉄 郎 | 41. 4. 1 |
| 資 料 室 | " | 室 長 | 中 川 千 咲 | 9. 4. 18 |

III 職 員

| (区 分) | (官 名) | (職 名) | (氏 名) | (発 令 年 月 日) |
|-----------|---------|--------|---------|----------------|
| 資 料 室 | 文 部 技 官 | | 上 野 ア キ | 17.11. 3 |
| " | " | | 田 実 栄 子 | 23. 3.31 |
| " | " | | 永 雄 ミ エ | 23. 9. 3 |
| " | " | | 辻 惟 雄 | 37. 6. 1 |
| " | " | | 江 上 綏 | 38. 5. 1 |
| " | " | | 関 口 正 之 | 42. 2. 1 |
| " | " | (写 真) | 橋 本 弘 次 | 21. 6.15 |
| " | " | " | 市 川 和 正 | 30. 7. 1 |
| " | " | " | 野久保 昌 良 | 36.10. 1 |
| 美 術 部 | 文 部 技 官 | 主任 研究官 | 久 野 健 | 20. 5.31 |
| 芸 能 部 | 文 部 技 官 | 部長事務取扱 | 関 野 克 | 40. 4. 1 |
| 演 劇 研 究 室 | " | 室 長 | 浦 山 政 雄 | 27.10. 1 |
| " | | 事 務 員 | 前 嶋 茂 子 | 39. 7. 1 |
| " | | 非常勤研究員 | 宮 本 瑞 夫 | 41. 5. 1 |
| 音楽舞踊研究室 | 文 部 技 官 | 室 長 | 横 道 萬里雄 | 28. 3.16 |
| " | " | | 佐 藤 道 子 | 30. 5.16 |
| " | | 非常勤研究員 | 岸 辺 成 雄 | 27.10. 1 |
| 郷土芸能研究室 | 文 部 技 官 | 室 長(兼) | 浦 山 政 雄 | 32. 7.16 |
| " | " | | 三 隅 治 雄 | 27.10. 1 |
| " | | 非常勤研究員 | 仲 井 幸二郎 | 41. 5. 1 |
| 保 存 科 学 部 | 文 部 技 官 | 部長事務取扱 | 関 野 克 | 32. 4. 1 |
| 化 学 研 究 室 | " | 室 長 | 岩 崎 友 吉 | 27.10. 1 |
| " | " | | 江 本 義 理 | 27. 4. 1 |
| " | " | | 樋 口 清 治 | 37.11. 1 |
| " | " | | 門 倉 武 夫 | 32. 5. 1 |
| 物 理 研 究 室 | " | 室 長 | 登 石 健 三 | 27.10. 1 |
| " | " | | 見 城 敏 子 | 29. 9. 1 |
| " | " | | 石 川 陸 郎 | 32. 4.15 |

| (区 分) | (官 名) | (職 名) | (氏 名) | (発 令 年 月 日) |
|-----------|---------|--------|---------|----------------|
| 生 物 研 究 室 | 文 部 技 官 | 室長事務取扱 | 関 野 克 | 37.10.1 |
| " | | 非常勤研究員 | 江 本 義 数 | 33.5.1 |
| 修理技術研究室 | 文 部 技 官 | 室 長 | 立 田 三 朗 | 37.10.1 |
| " | " | | 中 里 寿 克 | 39.1.1 |
| " | " | | 茂 木 曙 | 29.7.1 |
| 庶務課(休職) | 文部事務官 | | 本間春次 | 40.4.1 |

3 旧 職 員 (昭和25年8月～昭和42年2月)

| (退職、転任時の官職) | (氏 名) | (在 職 期 間) |
|--------------|---------|------------------------------|
| 美 術 部 長 | 松 本 栄 一 | 自 昭 24.8.31 至 " 27.10.1 |
| 美術部第二研究室文部技官 | 河 北 倫 明 | 自 昭 18.1.15 至 " 27.10.16 |
| 美術部第一研究室技術員 | 鈴 木 友 也 | 自 昭 28.1.1 至 " 28.2.1 |
| 所長事務代理 | 矢 代 幸 雄 | 自 昭 27.4.1 至 " 28.11.1 |
| 美術部資料室文部技官 | 持 丸 一 夫 | 自 昭 22.6.1 至 " 29.3.1 |
| 庶務室雑仕 | 吉 野 茂 七 | 自 昭 21.11.30 至 " 29.12.31 |
| " | 諸 星 ハ ル | 自 昭 20.5.15 至 " 29.12.31 |
| 美術部資料室技術員 | 山 田 桂 二 | 自 昭 29.2.1 至 " 30.2.15 |
| 美術部第一研究室文部技官 | 大 串 純 夫 | 自 昭 14.4.1 至 " 30.7.14 |
| 芸能部長(併任) | 加 藤 成 之 | 自 昭 27.10.1 至 " 32.6.16 |
| 美術部第二研究室技術員 | 池 田 涼 子 | 自 昭 22.6.16 至 " 33.6.30 |
| 美術部文部技官(併任) | 新 規 矩 男 | 自 昭 22.10.21 至 " 34.3.31 |
| 美 術 部 長 | 福 山 敏 男 | 自 昭 23.5.11 至 " 34.4.16 |
| 庶務室庶務係長 | 加 藤 輝 之 | 自 昭 27.10.1 至 " 34.11.16 |
| 美術部資料室文部技官 | 小 沢 健 志 | 自 昭 26.4.1 至 " 36.3.31 |
| 庶務課庶務係長 | 安 岡 潤 | 自 昭 34.11.16 至 " 36.10.1 |
| 庶務課文部事務官 | 長 沢 朝 夫 | 自 昭 29.5.16 至 " 36.11.16 |

III 職 員

| (退職、転任時の官職) | (氏 名) | (在 職 期 間) |
|---------------------|-----------|-----------------------------|
| 美術部第一研究室長 | 熊 谷 宣 夫 | 自至昭 19.10. 1 " 37. 3.31 |
| 美 術 部 長 | 田 沢 坦 | 自至昭 34. 6. 4 " 37. 4.15 |
| 芸能部長 (併任) | 下 総 覚 三 | 自至昭 32. 8. 1 " 37. 7. 9 |
| 美術部第一研究室長 | 伊 東 卓 治 | 自至昭 22. 5. 3 " 38. 3.31 |
| 庶務課警務員 | 鶴 田 豊 次 郎 | 自至昭 29. 4. 1 " 38. 3.31 |
| 保存科学部修理技術研究室長 | 毛 利 登 | 自至昭 37.10. 1 " 38. 4. 1 |
| 庶務課庶務係長 | 鬼 山 光 義 | 自至昭 36.10. 1 " 38. 4. 1 |
| 芸能部演劇研究室事務員 | 玉 木 清 子 | 自至昭 34. 9. 1 " 39. 6.30 |
| 庶務課事務員 | 長 沢 道 子 | 自至昭 31.12. 1 " 39. 7.15 |
| 所 長 | 田 中 一 松 | 自至昭 27.10. 1 " 40. 3.31 |
| 庶務課長 | 小 嶋 忠 二 | 自至昭 26. 5. 1 " 40. 3.31 |
| 保存科学部物理研究室研究員 (非常勤) | 呉 屋 充 庸 | 自至昭 29. 4. 1 " 40. 3.31 |
| 美術部文部技官 (併任) | 米 沢 嘉 圃 | 自至昭 27.10. 1 " 40. 5.31 |
| " | 吉 川 逸 治 | 自至昭 22.10. 1 " 40. 5.31 |
| " | 河 北 倫 明 | 自至昭 28. 4. 1 " 40. 5.31 |
| 庶務課作業員 | 糟 谷 愛 子 | 自至昭 27. 2. 1 " 40.12. 1 |
| 庶務課事務員 | 中 村 圭 子 | 自至昭 25.11.15 " 40. 1.31 |
| 庶務課警務員 | 鎌 田 幸 四 郎 | 自至昭 29. 1. 1 " 41. 2. 1 |
| 美術部第二研究室長 | 隈 元 謙 次 郎 | 自至昭 7. 6.30 " 41. 3.31 |
| 芸能部演劇研究室研究員 (非常勤) | 戸 部 銀 作 | 自至昭 27. 10. 1 " 41. 3.31 |
| 芸能部郷土芸能研究室研究員 (非常勤) | 池 田 弥 三 郎 | 自至昭 29. 4. 1 " 41. 3.31 |
| 芸能部演劇研究室研究員 (非常勤) | 石 田 百 合 子 | 自至昭 40. 4. 1 " 41. 3.31 |
| 庶務課課長補佐 | 守 谷 安 知 | 自至昭 38. 4. 1 " 41. 6. 1 |
| 美術部第一研究室長 | 秋 山 光 和 | 自至昭 21.10. 1 " 42. 2. 1 |

IV 調 査 研 究

1 美 術 部

A 研 究 題 目

題目のつぎの括弧内の数字は年度を、共は共同研究題目を示す。

高 田 修 (美術部長)

〔I〕 インド・東南アジア美術史の研究

- (1) インド古代・中世美術の調査研究 (共)
 - a) 仏教及びヒンドゥー教遺跡の实地調査 (33)
 - b) インド石窟寺院の調査研究
- (2) 仏像起源に関する研究 (35~40)
- (3) インド古代仏教美術の研究
 - a) ガンダーラ美術の研究 (35~39)
 - b) マトゥラー仏の様式的編年に関する研究 (38~40)
- (4) ヒンドゥー教美術の研究 (37~38)
- (5) 東南アジア美術の調査研究
 - a) タイ・カンボジャ遺跡の調査 (33)
 - b) タイ仏教美術の研究 (36~37)
 - c) アンコールの建築及び彫刻に関する研究 (34~40)

〔II〕 仏教図像学の研究

- (1) 兩界曼荼羅図の図像学的研究
 - a) 醍醐寺五重塔壁画兩界図の調査研究 (33~34, 共)
 - b) 法界寺阿弥陀堂柱絵の調査研究 (33~34, 共)

IV 調査研究

- c) 東寺の両界図に関する研究 (33~36, 共)
- d) 台密の両界図に関する研究 (37~38)
- e) 高雄曼荼羅の調査研究 (39~40, 共)

(2) 密教図像に関する基礎的研究

〔III〕 仏教説話図の表現形式に関する研究

- (1) インド古代における仏教説話図の研究 (38~40)
- (2) 日本の大乗関係説話図に関する研究 (38~40)

田 沢 坦 (前美術部長, 昭和37年4月15日退職)

〔I〕 日本彫刻史並びに工芸史の研究

第一研究室

秋 山 光 和 (第一研究室長)

〔I〕 日本古代・中世絵画史の研究

(1) 世俗画に関する研究

- a) 奈良時代の絵画遺品, 特に正倉院絵画における山水・人物表現の研究
- b) 平安時代初期 (9世紀~10世紀前半) における日本の世俗画の形成に関する文献的研究
- c) 当麻曼荼羅厨子柱絵・柱根巻金具浮彫の山水表現の調査と研究
- d) 古代・中世の落書にあらわれた人物表現の調査と研究
- e) 平等院鳳凰堂屏絵中の山水・人物表現の研究
- f) 旧法隆寺絵殿聖徳太子絵伝の調査研究
- g) 旧東寺山水屏風の調査研究
- h) 桂万葉・三十六人集等平安時代書牘の下絵に関する調査と研究
- i) 源氏物語絵巻に関する調査と研究
- j) 信貴山縁起絵巻に関する調査と研究
- k) 病草紙に関する調査と研究
- l) 神護寺山水屏風の調査研究

- m) 白描源氏物語絵の調査研究
- n) 隆房卿艶詞絵の調査研究
- o) 春日権現験記絵巻の調査研究
- p) 光忍上人絵伝の調査研究
- q) 日本における絵解きの伝存形態に関する調査と研究
- r) 古代における作画機構と画師に関する文献的研究

(2) 仏教絵画に関する研究

- a) 神護寺両界曼荼羅の調査と研究
- b) 金剛峯寺藏釈迦涅槃図の調査研究
- c) 東寺十二天、五大尊絵像の調査研究
- d) 高野山阿弥陀聖衆来迎図の調査研究
- e) 法華経見返絵および法華経変相の調査研究

(3) 壁画と建築装飾画の調査研究

- a) 当麻曼荼羅厨子柱絵、板絵の調査研究
- b) 岡寺如意輪観音光背絵の調査研究
- c) 室生寺金室壁画、板光背絵の調査研究
- d) 平等院鳳凰堂壁画扉画の調査研究
- e) 浄瑠璃寺三重塔壁画・扉絵、建築装飾画の調査研究
- f) 法界寺阿弥陀堂壁画、柱絵の調査研究
- g) 石山寺多宝塔柱絵の調査研究

〔Ⅱ〕 中央アジア・敦煌絵画の研究

(1) 敦煌絵画の編年と様式技法に関する研究

- a) 石窟壁画の編年的研究
- b) ペリオ、スタイン将来の敦煌絵画遺品の調査と研究
- c) 敦煌資料による唐代変文と絵解きに関する実証的研究（特に牢度叉闍聖変の問題を中心に）

(2) 中央アジア絵画に関する研究

- a) ミーラン第3、第5古址壁画の研究
- b) コータン地方出土絵画遺品の系統と年代に関する研究

IV 調査研究

c) クチヤ地方出土絵画遺品に関する研究

〔Ⅲ〕 美術品の光学的鑑識法と美術史学への応用に関する研究

(1) 日本絵画における顔料の種類と性質, その年代的变化に関する研究

伊 東 卓 治 (前第一研究室長, 昭和38年3月31日退職)

〔Ⅰ〕 和漢書道史の研究

(1) 日本書道史の研究

a) 平安・鎌倉・室町・江戸書道史

b) 料紙(唐紙と色紙)の調査

c) 仮名文字の成立について

d) 初期仮名書道の成立について

(2) 中国書道史の研究

a) 宋元書道の日本書道に及ぼせる影響について

熊 谷 宣 夫 (元第一研究室長, 昭和37年3月31日退職)

〔Ⅰ〕 東洋美術史の研究

(1) 西域美術史研究

a) 大谷探検隊収集の西域美術品の調査研究

b) 西域美術品の様式史研究

(2) 朝鮮美術史研究

〔Ⅱ〕 日本美術史の研究

(1) 室町時代の絵画

川 上 涇

〔Ⅰ〕 中国絵画史の研究

(1) 宋元明清画家の作品および伝記資料の蒐集整理(共)

(2) 上野有竹斎コレクション中国画的調査研究(39~40, 共)

(3) 中国画論の史的研究

久 野 健

〔I〕 日本古代中世彫刻史の研究

(1) 平安彫刻史の研究

- a) 延暦, 弘仁彫刻の成立に関する研究
- b) 平安時代在銘像の調査 (36~39)
- c) 神像の起源に関する研究 (36~40)

(2) 地方彫刻の研究

- a) 日本彫刻における地域性と時代性 (37~38)
- b) 中尊寺を中心とする東北彫刻史の研究 (35~37)
- c) 立木仏の調査研究 (35~36)
- d) 関東彫刻史の研究 (33~39)

(3) 中世彫刻史の研究

- a) 運慶様式の成立に関する研究 (37~40)
- b) 大仏師善円の研究 (39~40)

〔II〕 光学的方法による古彫刻の研究

(1) 古代金銅像の鑄造法に関する研究

- a) 飛鳥, 白鳳, 天平彫刻の内部構造と技法の研究
- b) 古代金銅像の鑑識に関する研究

柳 沢 孝

〔I〕 日本古代中世絵画史の研究

(1) 仏教絵画に関する研究

- a) 奈良時代の遺品, 特に正倉院収蔵の仏教絵画に関する研究
- b) 密教絵画の図像学的並びに様式技法に関する実証的研究
- c) 仏教説話図の調査研究
- d) 白描図像の編年的研究

(2) 壁画, 板絵, 建築装飾に関する研究

田 村 悦 子

〔I〕 日本書道史の研究

- (1) 平安末鎌倉初における書道変遷の研究
 - a) 西行(円位)の筆蹟の研究 (33~36)
 - b) 藤原俊成の筆蹟の研究 (33~39)
 - c) 俊成自筆千載和歌集日野切の蒐集調査 (37~40)
—藤原俊成筆蹟研究の一端として—
- (2) 古筆手鑑に関する調査研究 (39~)
 - a) 古筆手鑑所収古筆切, 絵巻詞書断簡の調査整理
- (3) 絵巻物断簡の調査整理 (37~)

猪 川 和 子

〔I〕 日本彫刻史の研究

- (1) 藤原時代彫刻の調査研究
 - a) 10世紀を中心とする仏像彫刻の研究
 - b) 藤原時代在銘彫刻の研究
- (2) 地方彫刻の調査研究
 - a) 関東地方彫刻の調査研究
 - b) 東北・中部地方彫刻の調査研究
- (3) 尊像別による日本彫刻の研究

宮 次 男

〔I〕 日本古代・中世絵画史の研究

- (1) 絵巻物の研究
 - a) 社寺縁起・高僧伝絵の製作事情に関する研究 (39~)
 - b) 室町時代絵巻の編年的研究 (40~)
 - c) 現存遺品の基礎的調査研究
 - d) 絵巻画中の障屏画の研究 (40~)
- (2) 経意絵の調査研究
 - a) 法華経絵の調査研究 (36~)

- b) 往生要集絵の調査研究 (38~)
- (3) 中世絵画における宋元画の影響についての研究

戸 田 禎 佑 (昭和37年6月1日就職)

〔I〕 中国画、水墨画の研究

- (1) 南北朝を中心とする中世墨画の研究
 - a) 白描禅月様羅漢の日本に於ける系譜について
 - b) 南北朝に於ける禅僧の墨戯と中国の墨戯の関係
- (2) 五代・北宋絵画史の研究
 - a) 北宋初期の花鳥画二大様式対立の意味 (その政治的背景)
 - b) 北宋末期の墨竹流行 (湖州竹派の成立) の意味 (その政治的背景)
 - c) 北宋末士大夫画界に於ける李公麟と米芾の位置
 - d) 墨竹の流行より墨花の盛行に向う推移について
- (3) 中国南宗画と日本近世文人画の関係
 - a) 明末絵画の技巧・材質重視の新傾向について
 - b) 清朝絵画と色彩
 - c) 日本近世文人画にみられる中国南宗画の直捷的作例について
 - d) 日本に渡来した中国画家 (江戸期) の伝記集成

第 二 研 究 室

隈 元 謙次郎 (第二研究室長)

〔I〕 日本近世及び近代絵画の研究

- (1) 桃山江戸期, 明治初期洋画家の作品調査研究 (33~35)
 - a) 浅井忠, 五姓田義松, 高橋由一, 司馬江漢等の作品研究
- (2) 明治中期の洋画家の作品調査研究 (35~40)
 - a) 藤島武二, 青木繁, 和田英作, 黒田清輝, 山本芳翠等の作品研究

〔II〕 近代に於ける美術行政・教育家の調査研究

- (1) 岡倉天心, フェノロサの伝記資料, 著作の蒐集, 研究 (37~40)

IV 調 査 研 究

- (2) 正木直彦, 黒田清輝 (行政, 教育家として) の伝記資料, 著作の蒐集, 研究

岡 畏三郎 (主任研究官)

〔I〕 明治以降絵画史研究

- (1) 江戸時代以降に於ける風俗画の流派的研究
 - a) 浮世絵版画とその影響について (33~35)
- (2) 現代日本美術における環境の基礎的研究について
- (3) 19世紀以降東西美術交流に関する研究
 - a) 日本洋画に及ぼせる西洋美術の影響 (38~39)
- (4) 明治末・大正初期における新絵画運動について
 - a) 草土社, 日本美術院, 二科会, その他 (38~)
- (5) 明治以降版画史研究
- (6) 浮世絵版画と近代絵画との結びつきについて

中 村 伝三郎

〔I〕 日本近代彫塑史の研究

- (1) 大正・昭和前期における彫塑界の概況
 - a) 同期の彫塑団体を主とする動静 (33~36)
- (2) 明治・大正期における主要彫塑家の調査研究
 - a) 木彫家の系列—竹内久一, 高村光雲, 山崎朝雲, 米原雲海, 等
 - b) 塑造家の系列—新海竹太郎, 荻原守衛, 高村光太郎, 中原悌二郎, 等
- (3) 日本近代彫刻思想の展開 (37~)

〔II〕 現代日本美術界の調査研究

- (1) 現代彫刻を主とする美術界の動向に関する調査研究

〔III〕 江戸時代以降に於ける絵画の流派的研究

- (1) 円山・四条派研究 (33~35)

関 千 代

〔I〕 近代日本絵画の調査研究

- (1) 明治大正日本画の調査研究
 - a) 近代風俗画の研究
 - b) 明治末大正期にかけての日本画の研究
 - c) 京都画派の研究
- (2) 現代日本美術の調査研究
 - a) 現代日本画の動向に関する研究

坂 本 満 (昭和33年10月1日就職)

〔Ⅰ〕 西洋近世美術史

- (1) 16世紀マニエリスム
 - a) ボッス, ブリュールとネーデルラントのマニエリスム (36~37)
 - b) イタリアとフランスのマニエリスム (37~39)
 - c) マニエリスムと日本初期洋風画の関係 (35, 39~40)
- (2) 17世紀バロック
 - a) カラヴァッジオ (35~36)
 - b) スペイン絵画 (グレコ, ベラスケス, バルデス・レアル) (35, 39)
 - c) バロック建築 (37~39)
- (3) フランシスコ・ゴヤと同時代の画家たち
 - a) ゴヤの版画と晩年の絵画 (34~38)
 - b) 18世紀スペインの啓蒙思潮 (39)
 - c) ダヴィッドとフランス新古典主義 (38)
 - d) ブレイクとフュスリ (37~39)
- (4) 版画史
 - a) 丹波コレクション調査 (39~)

〔Ⅱ〕 日本近代美術史

- (1) 明治以前の洋風画
 - a) 司馬江漢と田善 (40)
- (2) 現代美術 (34~)

資 料 室

中 川 千 咲 (資料室長)

〔I〕 東洋陶磁史の研究

(1) 明初及び江戸初期の陶磁意匠に関する研究

- a) 古九谷, 古伊万里の文様研究
- b) 仁清陶の意匠についての研究 (35~37)
- c) 明初陶磁の意匠研究 (36~38)

(2) 近代陶芸の研究

- a) 明治・大正陶芸作家の研究

〔II〕 近世工芸意匠の研究

(1) 桃山・江戸初期の漆芸意匠に関する研究

上 野 ア キ

〔I〕 東洋美術史の研究

(1) 西域美術史研究

- a) トルファン地方出土品の研究
- b) 大谷探検隊将来品の研究

(2) 中国美術史研究

- a) 敦煌画研究
- b) 唐代美術研究

〔II〕 文様史の研究

田 実 栄 子

〔I〕 染織工芸史の研究

(1) 近世初期染織品の研究

- a) 上杉神社蔵, 伝上杉謙信・上杉景勝所用服飾類の調査研究 (35~)
- b) 上杉神社所蔵以外近世初期服飾類の調査研究

- c) 所謂名物裂等を中心とする第二次外来染織品についての調査研究
- 〔2〕 小袖の研究
 - a) 小袖における形態変遷の調査研究
 - b) 小袖における模様の様式並びに技法・技術の変遷進展に関する調査研究
 - c) 小袖における地質の調査研究
- 〔3〕 現代における伝統的染織工芸品並びに伝統的染織技法・技術の調査研究
- 〔4〕 上代裂の研究
 - a) 主として東京国立博物館保管の正倉院裂を研究対象に第一次外来染織品についての調査研究

辻 惟 雄 (昭和37年6月1日就職)

〔Ⅰ〕 日本絵画史研究

- 〔1〕 日本風俗画の研究
 - a) 近世初期風俗画の研究
 - b) 浮世絵の研究
 - c) 近世以前の風俗画研究
- 〔2〕 障屏画の研究
 - a) 桃山時代障屏画の研究
 - b) 近世以前の障屏画研究
- 〔3〕 日本画家の研究
 - a) 桃山・江戸時代画家の研究
 - b) 室町時代画家の研究
- 〔4〕 絵画史における日中関係の研究
 - a) 江戸時代文人画における中国絵画の影響
 - b) 桃山時代絵画における中国絵画の影響
- 〔5〕 洋風画の研究
 - a) 第1次洋風画の研究
 - b) 第2次洋風画の研究

IV 調査研究

江 上 綏 (昭和38年5月1日就職)

〔I〕 平安時代料紙装飾の絵画史的研究

- (1) 経典類の料紙に施された絵画装飾の研究
- (2) 和歌、漢詩などの料紙に施された絵画装飾の研究

〔II〕 日本古代、中世の庭園の文献を主とした研究

B 調査研究活動

年・月、場所、内容の順序に記し、末尾に共同調査者を付載。括弧内の氏名は所外者。場所の記入のないのは研究所内で行われたもの。

高 田 修 (美術部長)

| | | | |
|----------------|-------------------|-------------------|------------|
| 33・5 | 京都 醍醐寺 | 五重塔壁画の調査・撮影 | 柳沢 |
| 33・5 | 奈良 霊山寺 | 薬師三尊像板光背・三重塔壁画の調査 | 久野, 柳沢 |
| 33・8 | 京都 醍醐寺 | 五重塔壁画の調査 | 上野, 柳沢, 宮 |
| 33・8 | 天理市 | 永久寺旧蹟及び永久寺関係資料の調査 | 柳沢 |
| 33・11 ~34・3 | インド, パキスタン及びカンボジャ | 仏教美術及びヒンドゥー美術の調査 | 共同 |
| 34・6 | 奈良 当麻寺 | 曼荼羅堂厨子柱絵等の調査 | 秋山, 柳沢 |
| 34・11 | 滋賀 石山寺 | 多宝塔柱絵の調査 | 秋山, 柳沢 |
| 35・5 | 京都国立博物館 | 日本説話画の調査 | 柳沢, 宮 |
| 36・5 | 京都 教王護国寺 | 十二天・五大尊の調査 | 秋山, 柳沢, 宮 |
| 36・5 | 京都 法金剛院 | 十一面観音像厨子屏絵の調査 | 柳沢 |
| 37・3 | 京都 浄瑠璃寺 | 三重塔壁画の調査 | 秋山, 上野, 柳沢 |
| 38・5 | 京都 醍醐寺 | 仏画の調査 | 田中, 柳沢 |
| 38・12 | 東京国立博物館 | インド古代美術品の調査・撮影 | |
| 39・10 | 京都国立博物館 | 神護寺両界曼荼羅の調査・撮影 | 秋山, 柳沢, 宮 |
| 39・10 | 京都 神護寺 | 神護寺文書の調査 | 柳沢 |

第一研究室

秋山光和(第一研究室長)

- | | | | |
|--------------|-----------------|--|-------------------|
| ~33・6 | パリ ギメー東洋美術館 | ペリオ将来中央アジア美術資料および敦煌画の調査研究 | |
| | パリ 国立図書館 | ペリオ将来敦煌文書, 特に変文資料と敦煌画の調査研究 | |
| 33・7 ~8 | ロンドン 英国博物館 | スタイン将来敦煌文書, 敦煌画の調査研究 スタイン将来中央アジア美術資料の調査撮影 | |
| 33・11 | ベルリン ゲーテ美術館 | ドイツ調査団将来, 中央アジア美術資料の調査撮影 | |
| 34・1 | ローマ・ナポリその他 | ローマ近郊, ポンペイ, ヘルクラネウム等出土のローマ時代壁画の調査と撮影 | |
| 34・3 | ニューデリー 国立博物館 | スタイン蒐集中央アジア絵画の調査と撮影 | 田中 |
| 34・3 | アジャンター | アジャンター石窟寺院壁画の調査と撮影 | 田中 |
| 34・6 | 奈良 岡 寺 | 如意輪観音像光背板絵の調査と撮影 | 柳沢 |
| 34・6 | 奈良 当麻寺 | 当麻曼荼羅厨子柱絵および曼荼羅堂 発見板光背類の調査・研究・撮影 | 高田, 柳沢, (山崎一雄) |
| 34・11 | 滋賀 石山寺 | 多宝塔柱絵の調査と撮影 | 高田, 柳沢 |
| 35・5 | 京都国立博物館 | 説話画展出品作品の調査 | |
| 35・5 ~7 | 中国 北 京 | 中国歴史博物館・故宮博物院出陳の古美術品 特に唐墓壁画の調査・撮影 | |
| 35・5 ~7 | 中国 洛 陽 | 洛陽漢墓壁画, 竜門石窟等の調査・撮影 | |
| 35・10 | 京 都 大 学 | 大阪女子大本源氏物語絵詞の調査と撮影 | |
| 35・10 | 京都 教王護国寺 | 食堂千手観音納入松扇墨絵の調査・研究・撮影 | 伊東, 田村 |
| 35・10 | 京都 平等院 | 鳳凰堂扉絵の調査と撮影 | |
| 35・10 | 大阪 朝日新聞社 | 上野精一氏蔵法華経冊子の調査と撮影 | 宮 |
| 35・10 | 京 都 御 所 | 御物春日権現験記の調査 | |
| 36・5 | 京都 教王護国寺 | 十二天・五大尊絵像の研究・調査・撮影 | 高田, 柳沢, 宮 |
| 36・5 | 兵庫 蔵本氏 | 伝法成寺扉絵の調査・撮影 | 柳沢, 宮 |
| 36・10 ~11 | 高野山 雲宝館 | 聖衆來迎図および涅槃図の研究・調査・撮影 | 柳沢 |
| 36・11 | 和歌山 道成寺 | 道成寺縁起絵解きの調査 | |
| 37・3 ~4 | 京都 浄瑠璃寺 | 三重塔壁画・扉絵および装飾文様の調査と撮影 | 高田, 柳沢, 宮 |

IV 調 査 研 究

| | | | |
|------------|---------|--------------------------------|-------------------|
| 37・3 ～4 | 京都国立博物館 | 神護寺山水屏風の調査と撮影 | |
| 37・3 ～4 | 奈良国立博物館 | 清凉院厨子絵の調査と撮影 | 柳沢 |
| 37・4 ～5 | 京都 金胎寺 | 多宝塔内部装飾面の調査と撮影 | 柳沢(山崎一雄) |
| 37・4 ～5 | 京都 海住山寺 | 五重塔内陣装飾面の調査 | 柳沢 |
| 37・4 ～5 | 奈良 興福寺 | 三重塔内部装飾面の調査 | 柳沢 |
| 37・4 ～5 | 大阪 孝恩寺 | 板絵の調査と撮影 | 柳沢 |
| 37・8 | 富山 本法寺 | 法華経曼荼羅とその絵解きの調査・撮影 | 柳沢 |
| 37・8 | 京都 松尾寺 | 星曼荼羅(終南山曼荼羅)等の調査と撮影 | 柳沢(山崎一雄) |
| 37・8 | 京都国立博物館 | 旧東寺山水屏風の調査と撮影 | |
| 37・8 | 京都 醍醐寺 | 山水屏風白描善女竜王図等の調査と撮影 | 柳沢 |
| 37・8 | 静嘉堂 | 法華経变冊子絵の調査と撮影 | 高田, 柳沢, 宮 |
| 37・10 | 京都国立博物館 | 東寺華鬘の調査と撮影 | 柳沢, 宮 |
| 37・10 | 京都 法界寺 | 阿弥陀堂壁画・柱絵の調査と撮影 | 柳沢 |
| 37・10 | 京都 御所 | 桂万葉集下絵・絵師草紙等の調査と撮影 | 柳沢, 宮 |
| 37・10 | 兵庫 某氏 | 真言八祖行状図の調査 | 柳沢 |
| 37・11 | 京都 法界寺 | 阿弥陀堂壁画・建築装飾の調査と撮影 | 高田, 柳沢 |
| 37・12 | 埼玉 慈光寺 | 法華一品経(慈光寺経)の調査と撮影 | 柳沢, 宮 |
| 38・2 | | 東京芸大蔵吉祥天厨子絵の調査と撮影 | |
| 38・3 | 奈良 | 永久寺旧址の調査 | 田中, 柳沢 |
| 38・3 | 大阪 細見氏 | 光忍上人絵伝等の調査・撮影 | 田中, 柳沢 |
| 38・7 | 大和 文華館 | 白描絵入源氏物語(浮舟)の調査, 撮影 | |
| 38・7 | 奈良 興福寺 | 北円堂壁画装飾面の調査 | 柳沢 |
| 38・7 | 徳川 美術館 | 白描絵入源氏物語(浮舟・蜻蛉)の調査・撮影 | |
| 38・7 | 奈良 法隆寺 | 法隆寺東院絵殿の太子絵伝現状の調査・撮影 | |
| 38・11 | | 久保氏所蔵絵巻類(伊勢物語絵巻・十王経等)の調査・研究・撮影 | 柳沢, 宮 |
| 39・8 | 京都 法界寺 | 阿弥陀堂壁画と建築構造との調査 | 柳沢, (伊藤延男, 太田博太郎) |
| | 京都 浄瑠璃寺 | 三重塔壁画と建築構造との調査 | 柳沢, (伊藤延男, 福山敏男) |

- 38・10 京都国立博物館 神護寺蔵両界曼荼羅(高^{なほ}曼荼羅)の調査・撮影 高田, 柳沢, 宮
- 39・11 五島美術館 源氏物語絵巻関係資料の調査
- 40・3 パリ ギメ美術館 ペリオ蒐集敦煌画の調査・撮影
- 40・3 パリ 国立図書館 敦煌変文関係史料および敦煌画の調査研究
- 40・4 東京国立博物館 玄奘三蔵行脚図 (東京国立博物館・山本達郎氏蔵本)の調査
- 40・5 京都 仁和寺 宝相華時絵宝珠箱附属彩絵四天王像調査・撮影 柳沢
- 40・5 大阪 藤田美術館 額装本華嚴五十五箇所絵・浄土五祖絵伝・阿字義の調査・撮影
- 40・5 奈良 東大寺 東大寺蔵額装本華嚴五十五箇所絵の調査・撮影 田中, 柳沢, 宮
- 40・6 和歌山 慈尊院 弥勒仏および台座蓮弁彩色並びに落書の調査・撮影 柳沢, (西川新次)
- 40・6 高野山 霊宝館 金剛峯寺蔵紺紙金字法華一品経見返絵の調査・撮影 柳沢
- 40・6 五条市 栄山寺 八角堂装飾画の調査・撮影 柳沢
- 40・10 大阪 四天王寺 扇面法華経の調査・撮影 柳沢, 宮
- 40・10 高松市 松平氏 紫紙彩絵法華経見返絵の調査・撮影 柳沢
- 40・10 香川 道隆寺 星曼荼羅図の調査・撮影 柳沢
- 40・12 五条市 栄山寺 八角堂装飾画の調査・撮影 柳沢, (山崎一雄)

伊 東 卓 治 (前第一研究室長, 昭和38年3月31日退職)

- 33・10 京 都 御 所 御物古筆切・消息類の調査 (御物と漢朗詠集, 卷子本と漢朗詠集, 粘葉本と漢朗詠集, 金沢本万葉集, 安宅切一巻, 本阿彌切, 大江切及び西行為家等の消息) 田村
- 33・10 京 都 高 山 寺 同寺蔵聖教冊子唐紙資料の調査 田村
- 33・10 京 都 光 悦 寺 同寺蔵本阿弥光悦書状調査及び写真撮影
- 33・10 京 都 里見忠三郎氏 同氏蔵光悦関係資料調査及び写真撮影 (書状, 色紙, 翻本, 短冊等) 田村
- 33・10 熱 海 美 術 館 同館蔵光悦及び関係資料調査ならびに写真撮影 田村
- 34・10 京 都 高 山 寺 同寺蔵聖教冊子唐紙資料の調査及び写真撮影 田村
- 34・10 東 大 寺 図 書 館 仮名文字資料調査及び写真撮影 (同館蔵法華義疏紙背三性唱義記, 百法顯幽抄等) 田村
- 34・10 正 倉 院 仮名文字資料調査及び写真撮影 (正倉院東南院文書) 田村
- 34・10 京 大 図 書 館 仮名文字資料調査及び写真撮影 (蘇悉地羯羅經略疏等) 田村
- 35・10 京 大 図 書 館 京都大学蔵兵範記調査及び写真撮影 田村

IV 調 査 研 究

- | | | | |
|-------|----------|---------------------------|----|
| 35・10 | 京都 教王護国寺 | 同寺蔵檜扇調査及び写真撮影 | 田村 |
| 35・10 | 京都 高山寺 | 同寺蔵聖教冊子唐紙資料の調査及び写真撮影 | 田村 |
| 37・4 | 陽明文庫 | 同文庫蔵人車記、和漢抄、大手鑑等の調査及び写真撮影 | 田村 |
| 37・4 | 天理図書館 | 同館蔵中右記(九条家本)調査 | |
| 37・4 | 京都国立博物館 | 藤田美術館法相宗秘事絵詞調査 | |

川 上 涇

- | | | | |
|------------|-------------------|--|-------------------|
| 33・10 | 泉大津市 | 正木孝之氏所蔵中国画、室町時代絵画調査 | |
| 34・10 | 神戸市 | 武藤金太氏所蔵中国画調査 | |
| 34・10 | 倉敷市 | 大原総一郎氏所蔵中国画、日本南画調査 | |
| 34・10 | 西宮市 | 藤井徳義氏所蔵中国画、室町時代絵画調査 | |
| 35・5 ～6 | 台湾 | 故宮博物院及び台中、台北両市個人所蔵中国画調査 | (米沢嘉圃、鈴木敬) |
| 35・11 | 亀岡市 | 深海徹氏所蔵中国画調査 | 宮 |
| 35・12 | 高槻市 | 橋本末吉氏所蔵中国画調査 | (米沢嘉圃、鈴木敬) |
| 36・10 | 京都国立博物館 | 妙智院所蔵策彦周良将来中国書画調査 | 田中 |
| 37・10 | 京都御所 | 御物中国画調査 | |
| 38・8 | 京都市 | 藤井有隣館所蔵中国画調査 | 戸田、(米沢嘉圃、鈴木敬) |
| 38・10 | 西宮市 | 雨宮実氏所蔵中国画調査 | 戸田、(鈴木敬) |
| 38・11 | 大阪市 | 藪本莊五郎氏所蔵中国画調査 | (鈴木敬) |
| 39・3 | 京都市 | 東海庵所蔵中国画調査 | 戸田 |
| 39・7 | 京都国立博物館 | 有竹斎中国画調査 | 戸田、(米沢嘉圃、鈴木敬) |
| 40・9 | 東福寺普門院 京都国立博物館 | 東福寺、同寺塔頭所蔵中国画及び室町時代絵画、京都国立博物館寄託中国画の調査・撮影 | 宮、辻、戸田、(田中一松、鈴木敬) |

久 野 健

- | | | | |
|------|----------------|--|-----------|
| 33・5 | 奈良 霊山寺 | 本尊薬師三尊像をはじめ同寺所蔵の諸仏の調査・撮影 | 高田、福山、猪川 |
| 33・5 | 愛媛、香川、徳島 高知 | 香川県弘憲寺不動明王像、徳島県井戸寺、高知県大日寺、愛媛県大宝寺阿弥陀等の調査・撮影 | 猪川、(佐藤昭夫) |
| 33・9 | 奈良、京都 | 南明寺薬師如来、円成寺阿弥陀如来、当麻寺板光背、神童寺不動明王像等の板光背像を調査 | |

- 33・12 藤田美術館他 藤田美術館孔雀明王像他関西の蒐集家所蔵の中国仏像の調査 (松原三郎), 猪川
- 34・2 奈良 法華寺十一面観音像, 東大寺地藏菩薩像等の調査 猪川, (水野敬三郎)
- 34・4 神奈川 浄楽寺 阿弥陀三尊像及び不動明王, 毘沙門天像の調査・撮影 熊谷, 猪川
- 34・5 神奈川 満願寺 地藏菩薩像等の調査 猪川
- 34・6 神奈川 来迎寺他 鎌倉地方の光触寺, 来迎寺, 浄光明寺をはじめ12ヶ寺調査 (佐藤昭夫, 水野敬三郎), 猪川
- 34・7 千葉 蓮蔵院他 千葉・蓮蔵院, 東明寺, 石堂寺, 正覚院, 福秀寺等の仏像調査 猪川, (佐藤昭夫)
- 34・9 群馬 長谷寺他 群馬県長谷寺, 善勝寺, 栄禅寺, 光性寺等の仏像調査 猪川, (佐藤昭夫, 水井信一)
- 34・9 三重 朝田寺他 三重・朝田寺, 四天王寺, 神宮寺, 慈恩寺等の仏像調査 (佐藤昭夫, 水野敬三郎), 猪川
- 34・10 奈良 金剛山寺他 奈良・金剛山寺, 普門院, 妙円寺, 大安寺, 観心寺の貞観仏の調査
- 34・10 茨城 小松寺他 茨城・小松寺, 石塚薬師堂, 岩谷寺, 薬法寺等の仏像調査 (佐藤昭夫), 猪川
- 35・2 静岡 善光庵他 静岡・善光庵の十一面観音像, 南禅寺, 福地院の仏像調査 猪川
- 35・3 東京 真福寺他 真福寺清凉寺式釈迦, 百草園阿弥如如来像等の調査・撮影 猪川
- 35・3 京都 浄瑠璃寺 浄瑠璃寺本堂の九体阿弥陀及び塔の薬師如来像の調査・撮影 猪川
- 35・4 滋賀, 京都, 兵庫, 広島 滋賀・園城寺, 京都・神応寺, 薬園寺, 兵庫・成相寺, 広島・古保利薬師堂等の諸仏の調査・撮影 猪川
- 35・4 愛知 高讃寺 同寺のナタ彫像の調査
- 35・6 福島, 山形 福島・勝常寺, 恵隆寺, 山形・浄光寺, 熊野神社の調査
- 35・7 神奈川 保福寺他 神奈川・保福寺, 朝日観音堂, 中沼薬師堂の調査 猪川, (佐藤昭夫)
- 35・7 千葉 松尾寺他 千葉・松尾寺, 報恩寺, 東浪見寺等の調査 猪川, (佐藤昭夫)
- 35・8 水見市附近 水見市史編集の協力を依頼され同市の千手寺上田寺等の調査
- 35・8 神奈川 桜観音堂他 小田原市の桜観音堂, 西明寺善光寺式三尊像等の調査 猪川, (佐藤昭夫)
- 35・8 栃木 中禅寺他 日光中禅寺, 大谷石仏等の調査・撮影 猪川, (佐藤昭夫)
- 35・9 茨城 不動院他 茨城・不動院, 月山寺, 円福寺等の仏像調査 猪川, (佐藤昭夫)
- 35・10 奈良 法隆寺 法隆寺大宝蔵殿, 西円堂の地藏像等の調査
- 35・10 東京 塩舟観音堂 同堂の諸像調査 猪川, (佐藤昭夫)
- 35・11 神奈川 長谷寺他 神奈川弘明寺, 長谷寺, 宝生寺等の仏像調査 猪川

IV 調 査 研 究

| | | | |
|-------|------------|---|------------------------|
| 35・12 | 栃木 薬師堂他 | 栃木・栃窪薬師堂, 専称寺, 松倉山観音堂等の 仏像調査 | 猪川, (佐藤昭夫) |
| 35・12 | 千葉 観音寺他 | 千葉・観音寺, 加持堂石仏, 隆台寺等の調査 | 猪川, (佐藤昭夫) |
| 36・2 | 茨城 薬王院他 | 茨城・山川不動, 薬王院, 下利員区正宗寺等の 仏像調査 | 猪川, (佐藤昭夫) |
| 36・3 | 栃木 清滝寺他 | 栃木・清滝寺, 佐貫石仏, 医王寺等の調査 | 猪川, (佐藤昭夫) |
| 36・4 | 千葉 莊嚴寺他 | 千葉・莊嚴寺及び常燈寺の仏像調査 | 猪川, (佐藤昭夫) |
| 36・4 | 滋賀 石山寺他 | 滋賀・石山寺, 保福寺, 渡岸寺等の仏像調査 | 猪川 |
| 36・5 | 北海道 天融寺他 | 北海道・天融寺, 大福寺, 善光寺等の諸像調査 | 猪川 |
| 36・6 | 神奈川 東学寺他 | 神奈川・東学寺, 松永美術館, 松田福一郎氏 所蔵の仏像調査 | 猪川 |
| 36・6 | 大島 薬師堂他 | 東京大島元町薬師堂その他の諸像の調査 | 猪川, (佐藤昭夫) |
| 36・7 | 岩手 中尊寺他 | 岩手・中尊寺, 秋田・観音寺, 土沢山神社, 山形・慈恩寺等の諸像の調査 | 田沢, 猪川 |
| 36・8 | 東京 竜泉寺他 | 八王子・竜泉寺, 興慶寺の仏像調査 | 猪川, (永井信一) |
| 36・8 | 群馬 妙義神社 | 同社の諸像の調査 | (佐藤昭夫), 猪川 |
| 36・8 | 千葉 笠森寺他 | 千葉・笠森寺の諸像, 橘禅寺の諸像調査 | (佐藤昭夫), 猪川 |
| 36・9 | 茨城 西光院他 | 茨城・西光院, 浄真寺等の諸像調査 | 猪川 |
| 36・9 | 福島 弘安寺他 | 会津・弘安寺, 勝福寺, 法幡寺等の諸像調査 | 猪川 |
| 36・9 | 長野 石川 | 長野・智識寺, 光明寺, 石川・豊財院等の諸 像調査 | 猪川 |
| 36・10 | 埼玉 養寿院他 | 川越市養寿院及びその附近の仏像調査 | 猪川 |
| 36・12 | 東京 豪徳寺他 | 世田谷区豪徳寺, 大田区安養寺の仏像調査 | 猪川, (水野敬三郎) |
| 37・1 | 広島 不動院他 | 広島・不動院, 福王寺, 西国寺等の仏像調査 | 猪川 |
| 37・3 | 静岡 智満寺他 | 静岡・智満寺, 願成就院, 蓮台寺等の仏像調査 | 猪川 |
| 37・3 | 京都 浄瑠璃寺他 | 京都・浄瑠璃寺九体阿弥陀, 滋賀・金胎寺, 山口寺等の仏像調査 | 秋山, 上野, 横沢 (浄瑠璃寺のみ) |
| 37・4 | 京都 峯定寺他 | 京都・峯定寺, 大阪・明王寺, 藤井寺の諸仏 像調査 | 猪川 |
| 37・4 | 奈良 湯川阿弥陀堂他 | 奈良・五条の湯川阿弥陀堂, 大沢寺, 玉峯寺 等の仏像調査 | 猪川, (水野敬三郎) |
| 37・6 | 栃木 矢板観音堂他 | 栃木・矢板観音堂, 円満寺等の仏像調査 | 猪川 |
| 37・6 | 福島 保福寺他 | 福島・保福寺, 禅長寺, 惣善寺等の諸像調査 ・撮影 | 猪川 |
| 37・7 | 長野 福王寺他 | 長野・福王寺, 真光寺の諸像調査 | |

- 37・8 千葉 清 澄 寺 同寺の善光寺式釈迦三尊の脇侍像の調査
- 37・8 岩手 毛 越 寺 他 岩手・毛越寺、願成寺、西光寺等の諸像調査 猪川
- 37・9 新潟 円 福 寺 他 新潟・円福寺、小千谷毘沙門堂等の諸像調査
- 37・10 京都 成 願 寺 他 京都・成願寺、中道寺、奈良・秋篠寺の仏像調査 猪川
- 37・11 滋賀 常 善 寺 他 滋賀・常善寺、専念寺、真迎寺の諸像調査 猪川
- 37・12 埼玉 如意観音堂 同堂の応保銘の如意輪観音像の調査 (水野敬三郎), 猪川
- 37・12 京都 法 界 寺 他 京都・法界寺、成就院、教王護国寺の諸像調査 猪川
- 38・3 愛知 法 住 寺 他 愛知・法住寺、竜照院、和歌山・大森寺の諸像調査 (佐藤昭夫, 水野敬三郎), 猪川
- 38・3 静岡 願 成 就 院 同院諸像のX線撮影 豊石, 猪川
- 38・4 神奈川 浄 楽 寺 同寺の不動明王像のX線撮影 石川, 猪川
- 38・4 千葉 永 興 寺 茂原市永興寺の清涼寺式釈迦の調査 猪川
- 38・4 愛知 長 栄 寺 他 愛知・長栄寺、岐阜・新長谷寺、蓮華峯寺の仏像調査 (佐藤昭夫, 水野敬三郎), 猪川
- 38・5 東京 大 観 音 堂 同堂の鉄造菩薩像頭部の調査 (佐藤昭夫), 猪川
- 38・6 三重 仏 土 寺 他 三重・仏土寺、善教寺の阿弥陀像の調査 (佐藤昭夫, 水野敬三郎)
- 38・7 長野 長 福 寺 他 長野・長福寺、安楽寺、大法寺、藤尾観音堂の仏像調査
- 38・8 鳥取 兵庫, 和歌山 鳥取・長楽寺、観音寺、大日寺、兵庫・達身寺、高野山竜光院諸像調査 猪川, (永井信一)
- 38・10 埼玉 善 空 寺 同寺の仏像調査 猪川
- 38・11 和歌山, 京都, 奈良 和歌山・大森寺, 勝楽寺, 京都・甘露寺, 大宮神社, 奈良・本長谷寺の諸像調査 (水野敬三郎, 佐藤昭夫), 猪川
- 39・4 京都, 滋賀 京都・遍照寺, 滋賀・石馬寺, 善明寺の諸像調査 猪川
- 39・7 長野 清 水 寺 他 長野・清水寺, 埴科・清水寺の諸像調査 猪川, (永井信一)
- 39・11 東京 小 栗 氏 同氏所蔵の菩薩半跏像の調査
- 39・11 群馬 山王庵寺趾他 群馬・山王庵寺趾外出土の塑像頭部等の調査 (永井信一), 猪川
- 39・12 静岡 西 琳 寺 伊豆西琳寺の石造弥勒像の調査
- 40・2 東京 堀 口 氏 同氏所蔵の善田作地藏菩薩像の調査
- 40・3 神奈川 法 輪 寺 小田原・法輪寺薬師三尊像の調査 猪川
- 40・3 滋賀 福 寿 寺 他 滋賀・長命寺, 福寿寺, 浄蔵寺等の仏像調査 (水野敬三郎)
- 40・3 大阪 勝 軍 寺 同寺の半跏思惟像の調査

IV 調 査 研 究

- 40・6 熱海美術館 同館所蔵の小金銅仏及び木彫の調査・撮影 猪川, (水野敬三郎)
- 40・6 和歌山 慈尊院 同院弥勒仏像の調査・撮影 猪川
- 40・7 新潟 医王寺 高田市医王寺如来坐像の調査
- 40・9 神奈川 松田氏 小田原市松田福一郎氏所蔵の仏像調査 猪川
- 40・10 東東 小西大閑堂 同所所蔵の金銅仏及び埴仏の調査
- 40・10 静岡 摩訶邪寺 同寺の不動明王像の調査
- 40・11 徳島 雲辺寺 同寺の毘沙門天像等の調査撮影 (佐藤昭夫), 猪川
- 41・2 神奈川 岩井氏 横浜市岩井氏所蔵の彫刻調査 猪川

柳 沢 孝

- 33・5 京都 醍醐寺 五重塔壁画の調査撮影 高田
- 33・5 奈良 靈山寺 本尊薬師三尊像板光背並びに三重塔壁画調査 高田, 久野
- 33・8 京都 醍醐寺 五重塔壁画の調査 高田, 上野, 宮 (山崎一雄)
- 33・8 奈良 当麻寺 板光背関係の調査 高田, 上野, 宮 (山崎一雄)
- 33・8 天理市 永久寺旧蹟並びに永久寺関係資料の調査 高田
- 33・10 京都 醍醐寺 五重塔壁画の調査 宮
- 33・11 京都 教王護国寺 真言七祖像の調査撮影 川上, 宮
- 33・11 京都 菊池氏 白描真言七祖像の調査撮影
- 33・11 京都 醍醐寺 五重塔壁画の調査撮影 高田, 上野, 宮
- 34・1 京都 醍醐寺 五重塔壁画の調査撮影
- 34・5 白描両界曼荼羅の調査 高田
- 34・6 奈良 岡寺 如意輪観音像の光背板絵と両部大経感得図の調査 秋山
- 34・6 奈良 当麻寺 曼荼羅堂厨子柱絵並びに板光背類の調査 高田, 秋山, (山崎一雄)
- 34・6 天理市 永久寺関係の調査
- 34・11 滋賀 石山寺 多宝塔柱絵の調査撮影 高田, 秋山
- 34・11 京都 富岡氏 為恭筆真言八祖行状図の調査撮影
- 35・1 一字金輪曼荼羅の調査撮影
- 35・4 京都 海住山寺 五重塔内陣装飾面の調査 高田, 上野, 宮

| | | | |
|-------|------------|------------------------|-------------------|
| 35・4 | 京都 知 恩 院 | 法然上人絵巻の調査撮影 | 宮 |
| 35・5 | 京都国立博物館 | 日本説話画の調査 | 高田, 宮 |
| 35・8 | 富山 本 法 寺 | 法華経曼荼羅図の調査撮影 | (梅津次郎) |
| 35・10 | 京 都 御 所 | 北斗曼荼羅の調査撮影 | |
| 35・11 | | 細見氏蔵青蓮院旧蔵十二天図調査撮影 | |
| 36・3 | 奈良 当 麻 寺 | 当麻曼荼羅の調査 | 文化財保護委員会事務局の調査に参加 |
| 36・5 | 京都 教王護国寺 | 十二天・五大尊像の調査撮影 | 高田, 秋山, 宮 |
| 36・5 | 大阪 藪 本 氏 | 法成寺屏絵の調査撮影 | 秋山, 宮 |
| 36・5 | 京都 法金剛院 | 厨子屏絵の調査撮影 | 高田, (福山敏男) |
| 36・7 | 岩手 中 尊 寺 | 金色堂柱絵並びに宝塔曼荼羅の調査撮影 | 上野, 宮 |
| 36・7 | 山形 上杉神社 | 紺綾金銀泥両界曼荼羅図の調査撮影 | 上野 |
| 36・9 | | 藏山氏・細見氏所蔵普賢菩薩像二作品の調査撮影 | |
| 36・10 | 高野山霊宝館 | 仏涅槃・聖衆來迎図の調査撮影 | 秋山 |
| 36・11 | 大阪 村 山 氏 | 仏画の調査 | (鈴木進) |
| 36・11 | 奈良 法 隆 寺 | 仏画の調査 | |
| 36・11 | 奈良 東 大 寺 | 四聖御影の調査 | |
| 37・3 | 京都 淨 瑠 璃 寺 | 三重塔壁画, 屏絵並びに装飾文様の調査撮影 | 高田, 秋山, 上野 |
| 37・3 | 奈良国立博物館 | 清凉院厨子絵の調査 | 秋山 |
| 37・5 | 京都 金 胎 寺 | 多宝塔板絵の調査 | 秋山, (山崎一雄) |
| 37・5 | 京都 海住山寺 | 五重塔板絵の調査 | 秋山 |
| 37・5 | 奈良 興 福 寺 | 三重塔板絵の調査 | 秋山 |
| 37・5 | 大阪 孝 恩 寺 | 板絵の調査撮影 | 秋山 |
| 37・8 | 富山 本 法 寺 | 法華経曼荼羅の調査 | 秋山 |
| 37・8 | 京都 松 尾 寺 | 終南山曼荼羅の調査撮影 | |
| 37・8 | 京都 醍 醐 寺 | 白描圖像の調査 | |
| 37・8 | 静 嘉 堂 | 法華経変相の調査撮影 | |
| 37・10 | 京都 法 界 寺 | 阿弥陀堂壁画の調査撮影 | 秋山 |
| 37・10 | 兵庫 某 氏 | 真言八祖行状図の調査撮影 | 秋山 |
| 37・11 | 大阪市立美術館 | 太山寺両界曼荼羅並びに高山寺転法輪筒の調査 | |

IV 調 査 研 究

| | | | |
|-------|-------------|-----------------------------|-------------------|
| 37・11 | 天理市 | 永久寺関係資料調査 | |
| 37・12 | 埼玉 慈光寺 | 法華經の調査撮影 | 秋山, 宮 |
| 38・2 | | 東京芸術大学蔵吉祥天厨子調査撮影 | 秋山 |
| 38・3 | 天理市 | 永久寺旧蹟の調査 | 田中, 秋山 |
| 38・3 | 大阪 井植氏 | 永久寺旧蔵の石彫不動明王の調査 | (毛利久) |
| 38・5 | 京都 醍醐寺 | 仏画の調査 | 田中, 高田, 秋山 |
| 38・7 | 奈良 興福寺 | 北円堂内陣装飾画の調査 | 秋山 |
| 38・7 | 大阪市立博物館 | 高山寺転法輪筒, 大山寺両界曼荼羅の調査撮影 | |
| 38・7 | 京都 高山寺 | 高山寺転法輪筒に関する資料調査 | |
| 38・8 | 熱海美術館 | 不動明王二童子像の調査撮影 | |
| 38・9 | 京都 仁和寺 | 金銅転法輪筒の調査撮影 | 商 |
| 38・11 | | 久保氏所蔵絵巻物類の調査撮影 | 秋山, 宮 |
| 38・12 | 大阪, 京都 | 久保氏, 戴本氏, 山岡氏所蔵の仏画, 白描図像の調査 | 田中 |
| 39・3 | | 細見氏墨描転法輪筒の調査 | |
| 39・8 | 京都 浄瑠璃寺 | 三重塔壁画と建築構造の調査 | 秋山, (太田博太郎, 伊藤延男) |
| 39・8 | 京都 法界寺 | 阿弥陀堂壁画と建築構造の調査 | 秋山, (伊藤延男) |
| 39・8 | 奈良 室生寺 | 板絵の調査 | 秋山 |
| 39・10 | 京都国立博物館 | 神護寺両界曼荼羅の調査撮影 | 高田, 秋山, 宮 |
| 39・10 | 京都 神護寺 | 神護寺文書の調査撮影 | 高田 |
| 39・11 | | 組田氏蔵亮恵上人画像の調査撮影 | |
| 40・3 | 熱海美術館 | 仏伝図, 法華経見返し絵の調査撮影 | 宮, 江上 |
| 40・3 | 静岡 本興寺, 妙立寺 | 法華経見返し絵の調査撮影 | 宮, 江上 |
| 40・4 | 静岡 本門寺 | 金字法華経見返し絵調査撮影 | 宮 |
| 40・5 | 京都 仁和寺 | 宝相華蒔絵宝珠箱附属彩絵四天王像調査撮影 | 秋山, 江上 |
| 40・5 | 藤田美術館 | 額装本華嚴五十五箇所絵調査撮影 | (田中一松), 秋山, 宮 |
| 40・5 | 奈良 東大寺 | 額装本華嚴五十五箇所絵調査撮影 | (田中一松), 秋山, 宮 |
| 40・5 | 奈良国立博物館 | 東大寺蔵額装本華嚴五十五箇所絵調査撮影 | (田中一松), 秋山, 宮 |
| 40・6 | 和歌山 慈尊院 | 弥勒仏及び台座蓮弁彩色並びに落書調査撮影 | (西川新次), 秋山 |

| | | | |
|-------|---------|------------------------|--------|
| 40・6 | 高野山靈宝館 | 金剛峯寺藏紺紙金字法華一品經見返し絵調査撮影 | 秋山 |
| 40・6 | 五条市 栄山寺 | 八角堂装飾画調査撮影 | 秋山 |
| 40・7 | 京都 醍醐寺 | 白描図像の調査 | (佐和隆研) |
| 40・10 | 大阪 四天王寺 | 扇面法華經調査撮影 | 秋山、宮 |
| 40・10 | 高松 松平氏 | 法華經紫紙彩絵見返し絵調査撮影 | 秋山 |
| 40・10 | 香川 道隆寺 | 星曼荼羅図調査撮影 | 秋山 |

田村悦子

| | | | |
|-------|-----------|--|----|
| 33・10 | 京都 御所 | 御物古筆切・消息類の調査(御物和漢朗詠集、 秀子本和漢朗詠集、粘葉本和漢朗詠集、金沢本万葉集、 安宅切一巻、本阿弥切、大江切及び西行為家等の消息) | 伊東 |
| 33・10 | 京都 高山寺 | 同寺藏聖教冊子唐紙資料の調査 | 伊東 |
| 33・10 | 京都 光悦寺 | 同寺藏本阿弥光悦書状調査及び写真撮影 | |
| 33・10 | 京都 里見忠三郎氏 | 同氏藏光悦関係資料調査及び写真撮影(書状、色紙、謄本、短冊等) | 伊東 |
| 33・10 | 熱海美術館 | 同館藏光悦及び関係資料調査・写真撮影 | 伊東 |
| 34・10 | 京都 高山寺 | 同寺藏聖教冊子唐紙資料の調査及び写真撮影 | 伊東 |
| 34・10 | 東大寺図書館 | 仮名文字資料調査及び写真撮影(同館藏法華義疏紙背三性唱義記、百法顯幽抄等) | 伊東 |
| 34・10 | 正倉院 | 仮名文字資料調査及び写真撮影(正倉院東南院文書) | 伊東 |
| 34・10 | 京大図書館 | 仮名文字資料調査及び写真撮影(蘇悉地羯羅經略疏等) | 伊東 |
| 35・10 | 京大図書館 | 京都大学藏兵範記調査及び写真撮影 | 伊東 |
| 35・10 | 京都 教王護国寺 | 同寺藏松扇調査及び写真撮影 | 伊東 |
| 35・10 | 京都 高山寺 | 同寺藏聖教冊子唐紙資料の調査及び写真撮影 | 伊東 |
| 35・10 | 藤田美術館 | 西行及び関係資料調査ならびに写真撮影(金剛峯寺藏高野山宝篋集卷廿三僧位書状、三位局消息、春日局消息、五辻斎院寄文等、同卷廿五辻斎院女房(?)奉書、少納言局奉書) | |
| 35・10 | 京都 上田堪一郎氏 | 西行及び関係資料調査ならびに写真撮影(国宝一品經和歌懷紙) | |
| 35・10 | 大阪 弘川寺 | 西行関係調査 | |
| 36・10 | 梅沢彦太郎氏 | 同氏藏古筆類の調査(石山切、高野切、関戸朗詠、筋切等) | |
| 36・10 | 五島美術館 | 同館藏古筆類の調査(継色紙、寸松庵色紙、関戸古今、高野切、俊頼古今等) | |
| 36・10 | 田中親美氏 | 同氏藏古筆類、写經類(無量寿經)調査 | |

IV 調 査 研 究

- | | | | |
|-------|-----------|--|------------|
| 36・10 | 前 田 育 徳 会 | 同会蔵古筆類の調査（南都大仏再造願文，十五番歌合，手鑑「野べのみどり」等） | |
| 36・10 | 東京国立博物館 | 古筆の調査（大倉喜七郎氏蔵古今集序一卷）写真撮影 | |
| 37・4 | 陽 明 文 庫 | 同文庫蔵入車記，和漢抄，大手鑑等の調査及び写真撮影 | 伊東 |
| 37・4 | 天 理 図 書 館 | 同館蔵俊成・西行関係資料及び古筆類調査（千載和歌集写本永版・文明版，俊成昭和切其の他，伝寂蓮西行問書，伝鴨長明色葉集等） | |
| 37・4 | 天 理 図 書 館 | 同館蔵中右記（九条家本）調査 | 伊東 |
| 37・4 | 京都国立博物館 | 藤田美術館蔵法相秘事絵詞調査 | 伊東 |
| 37・4 | 前 田 育 徳 会 | 同会蔵男衾三郎絵詞模本調査 | |
| 38・10 | 京 都 御 所 | 古筆類調査（御物手鑑，屏風 ^土 代等） | （伊東卓治，桃裕行） |
| 39・6 | | 五島美術館蔵手鑑「豪戦」「筆陣」「古筆集」「染紙帖」調査 | |
| 39・9 | 藤 田 美 術 館 | 同館蔵手鑑「野草芳」調査写真撮影 | |
| 39・9 | 白 鶴 美 術 館 | 同館蔵手鑑「白鶴帖」調査写真撮影 | |
| 39・9 | 熱 海 美 術 館 | 同館蔵国宝手鑑「翰墨城」調査写真撮影 | |
| 39・10 | 東京国立博物館 | 酒井忠博氏蔵国宝手鑑「見ぬ世の友」写真撮影調査 | |
| 39・11 | | 陽明文庫蔵国宝手鑑「大手鑑」上下二帖，「古筆鑑」，「予楽院写手鑑」調査 | |
| 40・5 | 東京 酒井宇吉氏 | 同氏蔵古筆手鑑類調査 | |
| 40・8 | 京都国立博物館 | 同館保管国宝手鑑「藻塩草」及び古筆類調査 | |
| 40・9 | 前 田 育 徳 会 | 重文貞元華嚴経，重文九条兼実仏舎利奉納願文，国宝宝積経要品，重文定家筆源氏物語花散里・柏木2帖，伝二条為家筆源氏物語10帖等調査 | |
| 40・10 | 五 島 美 術 館 | 同館蔵古筆類調査 | |

猪 川 和 子

- | | | | |
|-------|-------------|---------------------|------------|
| 33・5 | 奈良 靈 山 寺 | 薬師三尊像他の調査撮影 | 高田，福山，久野 |
| 33・5 | 四国 | 四県の諸仏の調査撮影 | 久野，（佐藤昭夫） |
| 33・9 | 京都 六波羅蜜寺 | 十一面観音像の調査撮影 | |
| 33・12 | 藤 田 美 術 館 他 | 中国の仏像の調査撮影 | 久野，（松原三郎） |
| 34・2 | 奈良 法 華 寺 他 | 法華寺本尊，東大寺阿弥陀像他の調査撮影 | 久野，（水野敬三郎） |
| 34・4 | 神奈川 浄 楽 寺 | 阿弥陀三尊他の調査撮影 | 熊谷，久野 |

| | | | |
|------------|------------|--------------------------|------------------|
| 34・5 ～6 | 神奈川 | 三浦、鎌倉の諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫, 水野敬三郎) |
| 34・7 | 千葉 | 蓮蔵院他の諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 34・9 | 群馬 | 長谷寺他の諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫, 永井信一) |
| 34・9 | 三重 | 朝田寺他の諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫, 水野敬三郎) |
| 34・10 | 茨城 | 小松寺他の諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 35・2 | 静岡 | 南禅寺他諸像の調査撮影 | 久野、(田枝幹宏) |
| 35・3 | 東京, 神奈川 | 百草園, 真福寺諸像の調査撮影 | 久野 |
| 35・3 | 京都 浄瑠璃寺 | 九体阿弥陀他諸像の調査撮影 | |
| 35・4 | 滋賀, 京都, 広島 | 闍城寺他諸像の調査撮影 | 久野 |
| 35・6 | 福島 | 勝常寺他諸像の調査撮影 | |
| 35・6 ～7 | 神奈川, 千葉 | 神奈川・保福寺他, 千葉・報恩寺他諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 35・7 | 富山 | 日石寺他諸像の調査撮影 | |
| 35・8 | 神奈川 | 箱根興福院他諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 35・8 | 栃木 | 中禅寺, 大谷石仏他諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 35・9 | 茨城 | 不動院他諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 35・10 | 東京 | 塩船観音堂諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 35・12 | 栃木, 千葉 | 栃窪薬師堂他, 千葉観音寺他諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 36・2 | 茨城 | 薬王院他諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 36・3 | 栃木 | 清流寺他諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 36・4 | 千葉 | 莊厳寺他諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 36・4 | 滋賀 | 石山寺他諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 36・5 | 北海道 | 天融寺他諸像, 主として円空像の調査撮影 | 久野、(田枝幹宏) |
| 36・6 | 神奈川 | 東学寺他諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 36・6 | 東京 | 大島薬師堂諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫) |
| 36・7 | 岩手, 秋田 | 中尊寺, 秋田観音堂他諸像の調査撮影 | 田沢, 久野 |
| 36・8 | 群馬, 千葉 | 妙義神社, 千葉笠森寺他諸像の調査撮影 | 久野、(佐藤昭夫, 永井信一) |

IV 調 査 研 究

| | | | |
|-------|-------------|--------------------------|-------------------|
| 36・9 | 茨城, 福島 | 茨城西光院, 福島弘安寺他諸像の調査撮影 | 久野, (佐藤昭夫) |
| 36・10 | 埼玉 | 養寿院他諸像の調査撮影 | 久野, (佐藤昭夫) |
| 36・12 | 東京 | 豪徳寺他諸像の調査撮影 | 久野, (水野敬三郎) |
| 37・1 | 広島 | 不動院, 西国寺他諸像調査撮影 | 久野 |
| 37・3 | 静岡 | 智満寺他諸像調査撮影 | 久野, (田枝幹宏) |
| 37・3 | 京都 浄瑠璃寺 | 本尊等調査撮影 | 秋山, 久野 |
| 37・4 | 京都, 奈良, 大阪 | 峯定寺, 大阪明王寺, 奈良大沢寺他諸像調査撮影 | 久野, (水野敬三郎) |
| 37・6 | 栃木, 福島 | 矢板観音堂, 福島保福寺他諸像調査撮影 | 久野, (佐藤昭夫) |
| 37・8 | 岩手 | 毛越寺他諸像調査撮影 | 久野 |
| 37・10 | 京都 | 成願寺, 中道寺他諸像調査撮影 | 久野 |
| 37・11 | 滋賀 | 常善寺, 専念寺他諸像調査撮影 | 久野 |
| 37・12 | 埼玉 | 如意観音堂諸像の調査撮影 | 久野, (水野敬三郎) |
| 37・12 | 京都 | 法界寺他諸像の調査撮影 | 久野 |
| 38・1 | 東京 | 加住御嶽神社諸像の調査撮影 | (佐藤昭夫, 水野敬三郎) |
| 38・3 | 奈良 | 南明寺の諸像調査撮影 | |
| 38・3 | 愛知 | 法住寺他諸像調査撮影 | 久野, (佐藤昭夫, 水野敬三郎) |
| 38・3 | 静岡 | 願成就院諸像の調査撮影 (X線) | 登石, 久野 |
| 38・4 | 神奈川 | 浄楽寺諸像の調査撮影 (X線) | 久野, 石川 |
| 38・4 | 千葉 | 永興寺諸像の調査撮影 | 久野 |
| 38・4 | 愛知 | 長栄寺他諸像の調査撮影 | 久野, (佐藤昭夫, 水野敬三郎) |
| 38・5 | 東京 | 大観音堂諸像の調査撮影 | 久野, (佐藤昭夫) |
| 38・7 | 神奈川 | 東光院他諸寺の調査撮影 | |
| 38・8 | 鳥取, 兵庫, 和歌山 | 長楽寺他諸像の調査撮影 | 久野, (永井信一) |
| 38・10 | 埼玉 | 善空寺諸像の調査撮影 | 久野 |
| 38・11 | 和歌山, 京都, 奈良 | 大泰寺他諸像の調査撮影 | 久野, (佐藤昭夫, 水野敬三郎) |
| 39・4 | 大阪, 京都 | 観心寺他諸像の調査撮影 | |
| 39・4 | 滋賀 | 石馬寺他諸像の調査撮影 | 久野, (佐藤昭夫, 水野敬三郎) |
| 39・4 | 長野 | 清水寺他諸像の調査撮影 | 久野, (永井信一) |

- 39・10 兵庫, 大阪 大國寺他諸像の調査撮影
- 39・11 東京 浅草寺他諸像の調査撮影
- 39・11 奈良, 京都 東大寺他諸像の調査撮影
- 40・2 東京 堀口氏地藏他諸像の調査撮影 久野
- 40・6 静岡, 和歌山 熱海美術館, 慈尊院諸像の調査撮影
- 40・11 徳島 雲 辺 寺 同寺毘沙門天像他諸像の調査撮影

宮 次 男

- 33・8 京都 醍 醐 寺 五重塔壁面の調査 高田, 上野, 柳沢
- 33・8 奈良 当 麻 寺 板光背の調査 高田, 上野, 柳沢
- 33・10 京都 醍 醐 寺 五重塔壁面の調査 柳沢
- 33・11 京都 教王護国寺 真言七祖像の調査 上野, 柳沢, 川上
- 33・11 京都 醍 醐 寺 五重塔壁面の調査 上野, 柳沢, 高田
- 34・5 藤 田 美 術 館 紫式部日記絵巻の調査
- 34・10 京 都 御 所 絵巻物の調査
- 35・4 京都 海住山寺 五重塔壁面の調査 高田, (山崎一雄), 上野, 柳沢
- 35・4 京都 知 恩 院 法然上人絵伝の調査 柳沢
- 35・10 大阪 朝日新聞社 上野氏蔵法華経冊子の調査 秋山
- 35・11 京都 亀 岡 深海氏蔵中国画, 日本文人画の調査 川上
- 36・5 京都 教王護国寺 五大尊・十二天画像の調査 高田, 秋山, 柳沢
- 36・7 岩手 中 尊 寺 金色堂柱絵及び十界宝塔曼荼羅調査 上野, 柳沢
- 36・10 京 都 御 所 春日権現験記絵の調査
- 37・1 奈良国立博物館 談山神社蔵法華経の調査
- 37・1 京都国立博物館 長福寺蔵金光明経の調査
- 37・9 静岡 本 興 寺 法華経の調査
- 37・11 京都国立博物館, 奈良国立博物館, 大阪市立美術館 各館寄託中の法華経及び中尊寺経の調査
- 37・12 埼玉 慈 光 寺 法華経の調査 秋山, 柳沢
- 38・5 九 州 地 方 九州における蒙古襲来絵詞模本の調査及び元寇遺蹟の踏査
- 38・5 広島 厳島神社 法華経の調査

IV 調 査 研 究

- | | | | |
|-------|--------------------|---------------------------------|--------------------------|
| 38・5 | 大阪 | 往生要集絵巻(個人蔵)の調査 | |
| 38・10 | 京 都 御 所 | 蒙古襲来絵詞の調査 | |
| 38・11 | | 久保氏蔵絵巻物の調査 | 秋山, 柳沢 |
| 39・3 | 金沢市 | 宝集寺蔵高野大師行状絵の探索 | |
| 36・3 | 京都国立博物館 奈良国立博物館 | 寄託中の弘法大師絵伝の調査(東寺本, 延暦寺本, 安楽寿院本) | |
| 39・3 | 池田市 寿 命 寺 | 行基菩薩伝縁起絵巻の調査 | |
| 39・5 | 京都 西本願寺 | 慕帰絵・善信上人絵伝の調査 | (源豊宗, 谷信一) |
| 39・7 | 白 鶴 美 術 館 | 高野大師行状絵の調査 | |
| 39・7 | 高 野 山 靈 宝 館 | 地藏院本高野大師行状絵の調査 | |
| 39・10 | 京都国立博物館 | 高雄曼荼羅の調査 | 高田, 秋山, 柳沢 |
| 40・3 | 熱 海 美 術 館 | 仏伝図及び法華経の調査 | 柳沢, 江上 |
| 40・3 | 静岡 本興寺, 妙立寺 | 法華曼荼羅及び法華経の調査 | 柳沢, 江上 |
| 40・4 | 静岡 本 門 寺 | 法華経の調査 | 柳沢 |
| 40・5 | 大阪市立美術館 | 延暦寺蔵法華経三種の調査 | 秋山, 柳沢, 江上 |
| 40・5 | 藤 田 美 術 館 | 華嚴五十五所絵・浄土五祖 ^依 絵の調査 | (田中一松), 秋山, 柳沢, 江上 |
| 40・5 | 奈良 奈良国立博物館, 東大寺 | 華嚴五十五所絵の調査 | (田中一松), 秋山, 柳沢, 江上 |
| 40・9 | 京都 東福寺, 京都国立博物館 | 明兆画の調査 | (田中一松, 米沢嘉圃, 鈴木敬) 川上, 戸田 |
| 40・10 | 大阪 四天王寺 | 扇面法華経の調査 | 秋山, 上野, 柳沢 |
| 40・11 | 広島 厳島神社 | 紺紙金泥法華経七種の調査 | |
| 40・11 | 山口 赤間神宮 | 平家物語絵の調査 | |
| 41・3 | 栃木 東照宮, 輪王寺 | 徳川家康画像, 東照宮縁起の調査 | |

戸 田 禎 佑 (昭和37年6月1日就職)

- | | | | |
|-------|-----------|--------------------------|-----------------|
| 37・8 | 静 嘉 堂 | 岩崎氏所蔵中国画及び日本中世漢画, 近世南画調査 | 田中, 川上, 辻 |
| 37・8 | 京都 智 積 院 | 長谷川派袈裟絵調査及び同寺所蔵中国画調査 | (米沢嘉圃, 山根有三), 辻 |
| 37・10 | 根 津 美 術 館 | 瀟湘八景展出陳作品の調査及び撮影 | 川上 |
| 38・6 | 藤 田 美 術 館 | 同館所蔵禅月模羅漢図調査撮影 | 川上 |
| 38・8 | 高槻市 | 橋本末吉氏所蔵中国画調査撮影 | (鈴木敬) |

- | | | | |
|-------|------------|------------------------------|-----------------|
| 38・8 | 泉大津市 | 正木孝之氏所蔵中国画及び日本中世漢画調査撮影 | (鈴木敬) |
| 38・8 | 藤井有鄰館 | 同館所蔵中国画の調査撮影 | (米沢嘉圃, 鈴木敬), 川上 |
| 38・11 | 神戸市 | 雨宮実氏所蔵中国画の調査撮影 | 川上, (鈴木敬) |
| 39・2 | 神奈川県立近代美術館 | 旧阿倍コレクション中国画展出陳作品の調査撮影 | 川上 |
| 39・3 | 京都 妙心寺東海庵 | 同院所蔵陳子和作花鳥図他中国画調査 | 川上 |
| 39・7 | 京都国立博物館 | 旧上野有竹斎コレクション中国画の調査 | (米沢嘉圃, 鈴木敬), 川上 |
| 39・7 | 根津美術館 | 同館所蔵仏画, 羅漢画の調査 | 田中, (吉沢忠) |
| 39・8 | 東京 | 平木氏所蔵中国絵画の調査, 撮影 | (鈴木敬) |
| 39・10 | 京都国立博物館 | 高雄曼荼羅の調査, 撮影 | 高田, 秋山 |
| 39・10 | 大阪市立美術館 | 水墨画展の出陳作品の調査 | 田中 |
| 39・10 | 芦屋市 | 山田氏所蔵障屏画の調査 | 田中, (白畑よし), 辻 |
| 40・1 | 東京 高島屋 | 障屏画展の出陳作品の調査及び撮影 | 辻 |
| 40・9 | 京都 東福寺 | 東福寺所蔵中国画及び室町絵画の調査, 撮影 | 川上, 辻, 宮 |
| 40・9 | 京都国立博物館 | 京都国立博物館所蔵及び寄託の中国画, 室町絵画の調査撮影 | 川上, 辻, 宮 |

第二研究室

隈元 謙次郎 (第二研究室長)

- | | | | |
|-------|----------|---|----------|
| 34・3 | 神戸市, 芦屋市 | 神戸市立美術館, 山本清雄氏訪問, 近世洋風画, 西洋画, 佐伯祐三等作品調査撮影 | 岡, 関, 坂本 |
| 34・12 | 愛知県知多町 | 高野時次氏訪問, 浅井忠作品約60点, その他高橋由一作品調査撮影 | 関, 坂本 |
| 35・2 | 東京都 | 団伊能氏訪問, 五姓田義松の油絵・写生帖, 国沢新九郎, 百武兼行等油絵調査 | |
| 35・3 | 京都市, 神戸市 | 京都市加藤源兵衛氏訪問, 浅井忠作品調査, 撮影。神戸市美術館訪問, 高橋由一, 司馬江漢, 田善, ワークマン, ビゴー作品調査撮影 | |
| 36・2 | 鎌倉市 | 神奈川県立近代美術館に於ける「明治初期洋画展」の企画に参加, 陳列品調査撮影 | |
| 36・5 | 東京都 | 蔵本氏訪問, 近世初期及び江戸期, 明治初期洋画調査, 一部撮影 | 坂本 |
| 36・2 | 東京都 | 毎日新聞主催「黒田清輝名作展」企画参加, 作品調査撮影 | |
| 36・4 | 東京都 | 朝日新聞主催「和田英作展」企画参加, 作品調査 | |

IV 調 査 研 究

| | | | |
|-------|------------|--|-------|
| 36・10 | 東京都 | 毎日新聞主催「藤島武二展」企画参加, 作品調査, 撮影 | |
| 37・1 | 神奈川県大磯町 | 安田鞠彦氏訪問, 岡倉天心につき談話聴取 | |
| 37・8 | 鎌倉市 | 神奈川県立近代美術館「万鉄五郎展」作品調査, 撮影 | |
| 37・10 | 東京都 | 東京芸術大学, 朝日新聞共催「生誕百年記念岡倉天心展」企画参加, 陳列資料調査, 撮影 | |
| 37・ | 東京都 | この年岡倉天心資料収集のため, 岡倉古志郎清水氏, 由良哲次氏等を訪問 | |
| 38・1 | 東京都 | 浅草寺訪問, 川辺御橋, 尾形月耕, 山岡米華等の作品調査 | |
| 38・3 | 東京都 | 津田青楓氏訪問, 明治末京都画壇につき談話聴取 | 関 |
| 38・9 | 京都市 | 加藤源兵衛氏訪問, 浅井忠作品再調査 | |
| 38・9 | 京都市 | 黒田重太郎, 中井宗太郎, 小野竹喬氏訪問, 浅井忠並びに明治末京都画壇につき談話聴取 | 関 |
| 38・9 | 京都市 | 秦テロオ作品11点調査, 撮影 | 関 |
| 38・9 | 福井, 京都, 奈良 | 岡倉天心資料収集 | |
| 38・11 | 茨城県大津 | 五浦研究所訪問, 天心遺蹟調査 | |
| 38・11 | 東京都 | 蔵本氏訪問, 初期洋画調査 | 坂本 |
| 38・11 | 京都市 | 京都市美術館訪問, 「国画創作協会回顧展」調査 | |
| 39・5 | | 日本美術院所蔵岡倉天心資料多数を借用, マイクロ・フィルムに収め, 整理, 調査 | 関 |
| 39・5 | 鎌倉市 | 神奈川県立近代美術館「高橋由一展」の企画に参加, 同展出陳作品を調査撮影 | 関 |
| 39・9 | | 起立工商会社旧蔵の図案, 下絵類を調査, マイクロ・フィルムに収む | |
| 39・9 | 京都市 | 国立近代美術館京都分館「浅井忠展」の企画に参加, 出陳作品調査, 撮影 | |
| 39・10 | 鎌倉市 | 前田青邨氏訪問, 天心その他について談話聴取 | |
| 40・2 | 東京都 | 平橋田中氏訪問, 天心を中心とする談話を録音 | |
| 40・3 | 秋田市, 湯沢市 | 秋田市平野コレクションの中, 藤田嗣治, 明治洋画, 西洋画を調査。また奈良コレクションの平福百穂, 前田青邨, 江戸末期洋画等を調査。湯沢市の高橋由一, 平福穂庵, 同百穂等作品調査, 撮影 | 関, 坂本 |
| 40・6 | 長尾一平氏 | 山本芳翠資料調査 | |
| 40・7 | 宮内庁 | 山本芳翠作品10点調査, 撮影 | |
| 40・10 | ブリヂストン美術館 | ブリヂストン美術館, 日本経済新聞社主催「黒田清輝展」作品調査, 撮影 | |
| 40・11 | 京都市美術館 | 「京都洋画発達史展」調査, 撮影 | |

- 41・2 「黒田清輝日記」発刊の爲編集に着手 岡
- 41・3 国立近代美術館 岸田劉生作品調査 岡

岡 畏三郎（主任研究官）

- 33・ 東京 東京国立博物館所蔵初期浮世絵版画の調査
- 34・3 大阪、神戸 大阪及び神戸市立美術館、山本氏蔵初期版画の調査
- 35・3 山形 同地所蔵家の明治・大正洋画並びに初期版画の調査
- 36・3 大阪、京都 同地美術館所蔵の明治・大正期絵画の一部調査
- 37・8 鎌倉市 神奈川県立近代美術館万鉄五郎展の全作品調査
- 37・11 大阪 現代関西洋画界及び小出櫓重作品調査
- 38・2 茨城 県立美術館所蔵品（近代美術）及び中村彝の作品調査
- 38・6 東京 大正期における版画作品の調査
- 38・11 京都市 国画創作協会回顧展における作品調査及び小出櫓重の資料調査
- 39・1 鎌倉市 大正初期洋画展に於ける作品の調査研究
- 40・1 鎌倉市 司馬江漢展出品作品の調査研究
- 40・4～
41・3 草土社の創立とその絵画運動についての調査研究
- 41・2
～3 東京、京都、大阪 官展の編年史的調査研究。幕末、明治期版画資料蒐集調査
- ～41・3 現代美術界の動向調査 第二研究室全員

中 村 伝三郎

- 35・2 京都、大阪 近世絵画四条派の調査
- 36・3 京都、大阪 明治期官設展覧会の出品作品の調査並びに現存関係者の談話聴取
- 38・2 大阪、神戸 関西方面の美術界の調査
- 38・10 山口県宇部市 宇部市野外彫刻美術館を中心に山陽地方の観覧施設の調査
- 36・3 倉敷市、京都、大阪 倉敷市大原美術館を中心に、及び京都、大阪に於ける西洋・日本近代彫刻の調査
- 40・2 京都 京都を中心とする関西彫刻界の調査
- 40・2 長野 荻原碌山館の調査
- ～40・1 東京都内、近県 日本美術年鑑編纂に使用する資料蒐集のため常時現代美術関係諸展の調査に費し、殊に現

IV 調 査 研 究

代日本彫刻の動向を見極めるため、都内及び近県の諸ギャラリーを殆んど毎週観覧調査
宇部市野外彫刻美術館における「第1回現代日本彫刻展」の選定審査委員として出席、並びに山口県の観覧施設を調査

40・10 山口県宇部市

関 千 代

- | | | | |
|---------------|------------|-------------------------------------|-----------|
| 34・3 | 芦屋市, 神戸市 | 山本(清雄)氏藏品, 神戸市立美術館蔵初期洋画作品の調査 | 限元, 岡, 坂本 |
| 34・9 | 愛知県知多町 | 高野(時次)氏蔵浅井忠作品調査・撮影 | 限元, 坂本 |
| 38・3 | 東京都 | 津田(青楓)氏訪問, 明治末京都画壇の事情聴取 | 限元 |
| 38・9 | 京都市 | 黒田(重太郎)氏, 中井(宗太郎)氏, 小野(竹斎)氏訪問, 談話聴取 | 限元 |
| 38・9 | 京都市 | 秦テルオ作品調査・撮影 | 限元 |
| 38・11 | 京都市美術館 | 国画創作協会回顧作品の調査・撮影 | 限元 |
| 39・5 | 鎌倉 近代美術館 | 高橋由一作品調査・撮影 | 限元 |
| 39・5 | 日本 美術 院 | 岡倉天心関係資料の調査 | 限元 |
| 40・3 | 秋田県 | 奈良氏他秋田県下収蔵の平福百穂, 同穂庵作品並びに秋田蘭画の調査 | 限元, 坂本 |
| 40・3 | 鎌倉 近代美術館 | 司馬江漢他初期洋画関係の作品調査・撮影 | 限元, 坂本 |
| 40・4 ~41・3 | 東京都内並びに 近県 | 現代日本画の諸展調査(日展・院展他) | |
| 40・3 | 宮内庁書陵部 | 九鬼隆一等宮内庁関係資料調査 | |
| 40・11 | 剣 持 氏 | 岡倉天心, 横山大観, 菱田春草他作品調査 | |
| 40・8 | 野 長 瀬 氏 | 野長瀬晩花遺作調査 | |
| ~41・3 | 東京都内, 神奈川県 | 現代日本美術関係諸展の調査並びに資料蒐集 | |

坂 本 満(昭和33年6月1日就職)

- | | | | |
|-------|------------|-------------------|----------|
| 34・9 | 愛知県 | 浅井忠作品調査 | 限元, 関 |
| 35・3 | 神戸市 | 日本版画, 洋画及び初期洋風画調査 | 限元, 岡, 関 |
| 35・12 | 大阪, 神戸, 京都 | 日本現代絵画と西洋絵画調査 | |
| 38・2 | 酒田市 | 日本近代美術調査 | |
| 38・3 | 大阪 | 地方美術団体と作家調査 | |
| 39・3 | 神戸市, 倉敷市 | 初期洋風画と近代西洋画調査 | |
| 40・1 | 横浜市 | 丹波コレクション調査 | |

- | | | | |
|----------------|---------------|-------------------|-------------|
| 40・2 | 鎌倉市 | 司馬江漢とその時代展調査 | 隈元, 岡, 関, 辻 |
| 40・3 | 神戸市, 倉敷市 | 初期洋風画と近代西洋画調査 | |
| 40・3 | 秋田市, 湯沢市, 函館市 | 平野コレクション及び秋田洋風画調査 | 隈元, 関 |
| 33・10 ~41・3 | | 現代美術の動向調査 | |

資 料 室

中 川 千 咲 (資料室長)

- | | | |
|-------|-------------|---------------------------------------|
| 33・10 | 名古屋地方 | 古瀬戸発掘品の調査撮影 |
| 34・10 | 金沢地方 | 古丸谷作品の調査 |
| 35・11 | 能登地方 | 能登地方における陶磁の調査 |
| 36・11 | 常滑・信楽 | 常滑にて主として須恵器, 信楽にて中世陶器の調査 |
| 38・5 | 有田地方 | 初期伊万里及び伝統的大物ロクロ技術の調査撮影, 唐津にて新たな発掘品の調査 |
| 39・11 | 京都 高台寺, その他 | 高台寺霊屋厨子, その他桃山時代漆芸品の調査 |
| 41・2 | 福岡市 | 同地所在の唐津, 古伊万里及び上野窯発掘品の調査 |

上 野 ア キ

- | | | | |
|--------------|--------|------------------|---------------|
| 33・8 | 京都, 大阪 | 醍醐寺壁画, 当麻寺板光背調査 | 高田, 柳沢, 宮 |
| 33・11 | 名古屋 | 橘氏蔵大谷コレクション総合調査 | 熊谷 |
| 33・11 | 京都 | 醍醐寺壁画, 東寺真言七祖像調査 | 柳沢, 宮 |
| 34・2 | | 木村氏蔵大谷コレクション調査 | 熊谷 |
| 35・4 | 京都 | 海住山寺五重塔壁画調査 | 高田, 柳沢, 宮 |
| 36・7 | 岩手 | 中尊寺柱絵調査 | 柳沢, 宮 |
| 37・3 | 京都 | 浄瑠璃寺塔内壁面調査 | 高田, 秋山, 柳沢, 宮 |
| 37・3 | 名古屋 | 橘氏蔵大谷コレクション調査 | |
| 37・10 | 奈良 | 天理参考館大谷コレクション調査 | |
| 38・10 ~11 | 東京 | 木村氏蔵大谷コレクション総合調査 | (熊谷宣夫) |

IV 調 査 研 究

- 39・3 京都 竜谷大学蔵大谷コレクション文書調査
- 39・ 中国における戦後発掘墓室画資料調査
- 40・ 中国における戦後発掘明器資料調査

田 実 栄 子

- 33・4 東京・京都 国立博物館、長尾美術館、日本繊維意匠センター 円山四条派の染織工芸に及ぼした影響の調査
～35・3 国立近代美術館、京都・田畑氏等 研究
- 33・8 増上寺 徳川将軍家墓 徳川将軍家墓地発掘品の調査研究 (山辺知行、鈴木尚)
- ～36・5 地、東京国立博物館
- 33・4 現代美術、とくに工芸関係の調査
～38・3
- 34・4 藤原三代棺内発見の染織品の調査研究 (山辺知行)
- ～37・3
- 34・4 仙台市、秋田県花輪 仙台平、東北地方の藍型染、紫根染、茜染の現地調査
- 34・8 宮城県 栗駒郡文字村 藍の冷染、紙布織、紙布の現地調査
白石市
- 34・8 片倉家伝来黒絹子小袖、並びに同小紋胴服の調査研究
～10 白石市
- 35・1 新潟県 六日町小千谷地方 越後上布、小千谷縮の現地調査
- 35・4 能登地方、東京国立博物館 近世都市工芸の伝播—能登地方—の調査において染織工芸の分野を担当 (山辺知行、今永清二郎)
- ～36・3 東京国立博物館、前田育徳会、徳川美術館、小千谷市・西脇新次郎氏、日本繊維意匠センター
- 35・4 所謂名物裂の調査研究
～40・3
- 35・9 米沢市、東京国立博物館 上杉神社服飾類の調査研究
～
- 35・4 明治以降官設展覧会の研究 (美術工芸を分担) 隈元
～36・3
- 36・4 小西家旧蔵光琳資料の呉服商雁金屋関係、能装束関係資料の解説及び註記 (山根有三)
- ～9 東京都 組田氏
- 36・3 日本芸術院史工芸関係調査 隈元
～37・3
- 37・2 東京国立博物館 「日本服飾美術展」のための調査、陳列
～12
- 37・4 八丈島 「黄八丈」並びに「かっぱた織」の現地調査
- 39・8 上野・東照宮、東京国立博物館 上野・東照宮蔵伝徳川家康所用辻ヶ花染胴服並びに紫縮緬陳羽織の調査研究
- ～40・8
- 40・4 東京国立博物館 正倉院裂の調査
～41・3
- 40・10 奈良国立博物館 正倉院裂の調査
～11

- 40・9～ 米沢市 上杉神社蔵伝上杉謙信・上杉景勝所用服飾類
 41・11 仙台市博物館 の調査研究（主として胴服，陣羽織，鎧下着）
 40・11 仙三沢初子服飾類の調査研究
 京都国立博物館 絵画資料を通しての桃山時代の染織・服飾・
 （洛中洛外図展） 風俗の調査

辻 惟 雄（昭和37年6月1日就職）

- 37・8 京都市 智積院障壁画の調査 戸田，（山根有三
 堤玲子，水尾博）
 37・9 福井市及びその近 岩佐又兵衛関係資料の調査
 38・5 福井市及びその近 岩佐又兵衛関係資料の調査
 39・10 京都国立博物館 狩野元信作品の調査

江 上 綴（昭和38年5月1日就職）

- 38・10 京都御所 御物調査（手鑑など） 田村
 39・7 大津市 明徳院 無動寺本「祇園経山水并野形図」調査
 39・10 京都国立博物館 高雄曼荼羅調査 高田，秋山，柳
 39・11 五島美術館 源氏物語絵巻関係資料の調査 秋山，柳沢，宮
 40・3 静岡 熱海美術館，本興寺など仏教説話画調査 柳沢，宮
 40・5 大阪，奈良 藤田美術館，奈良国立博物館仏教説話画調査 秋山，柳沢，宮
 40・9 ホノルル ホノルル美術館陳列品及び所蔵品調査
 40・12 サンフランシスコ ブランデー・コレクションの調査
 40・12 シアトル シアトル美術館陳列品の調査

C 主 要 研 究 業 績

①は著書，②は論文，③は解説，④は研究発表，⑤は講演・放送，⑥はその他等の種別を示し，題名，発表場所（発行所，掲載誌，講演場所，放送局等），発表年・月の順序に記す。

田 中 一 松（前所長，昭和40年3月31日退職）

- ①日本絵画史の展望 美術出版社 33・6
 光琳（編） 日本経済新聞社 34・1
 池大雅作品集（共編） 中央公論美術出版 35・3

IV 調 査 研 究

- 日本・仏教絵画（世界名画全集18） 平凡社 35・4
- ②雪村筆四季山水図屏風について 美術研究 198 33・5
- 光琳への道程 日本経済新聞社、光琳 34・1
- 勝利寺本絵因果経について 国華 810 34・9
- 与可心交賛文殊像について 国華 812 34・11
- 俊賀法橋筆真言八祖影について 国華 818 35・5
- 雲谷派特輯について 国華 820 35・7
- 隠岐島配流図屏風について 国華 824 35・11
- 古代絵画の史的展開 講談社、日本美術大系Ⅲ・古代絵画 35・11
- 古代の絵画 日本の文化財 1 35・12
- 園城寺黄不動尊画像について 国華 827 36・2
- 宗達をめぐる二三の問題——新出作品の紹介を中心として—— 美術研究 215 36・3
- 伴大納言絵詞 角川書店、日本絵巻物全集 4 36・4
- 岡倉天心誕生記念の特輯に当って 国華 835 36・10
- 長賀作品の一考察——杢渥羅制吒迦二童子像の解説に因んで—— 美術史44 37・3
- 明極楚俊賛南叟慧居士寿像 国華 840 37・3
- 中世芸術の形成 角川書店、世界美術全集 6 37・4
- 建長寺大覚禅師の画像について 国華 843 37・6
- 徳川美術館収蔵の古画 東京中日新聞社、徳川美術館 37・9
- 東福寺蔵明兆筆大涅槃図について 国華 849 37・12
- 日本画の流れを一瞥して 平凡社、家庭美術館・日本 38・3
- 原始・飛鳥・奈良時代の絵画 平凡社、家庭美術館・日本 38・3
- 絵因果経の伝統 美術出版社、鑑賞美術 38・8
- 雪村自賛画像の一考察 国華 859 38・10
- 村山家毘沙門天画像について 国華 868 39・7
- 古代絵画序説 月刊文化財11 39・8
- 古代・中世の秘画巻 国文学解釈と鑑賞29-12 39・12
- 画人心叟をめぐる諸問題 国華 875 40・2
- 鏡堂覚円着賛の諸作品をめぐる 国華 881 40・8

| | | |
|-------------------------|---------------|-----------|
| 浄土変相と来迎芸術の史的展望——古代から中世へ | 筑摩書房, 日本文化史 3 | 41・1 |
| 等春画説上 | 国華 | 888 41・3 |
| ③与可心交賛木筆繩衣文殊像 | 国華 | 813 34・12 |
| 雪村筆猿猴図 | 国華 | 815 35・2 |
| 祥啓筆寒山拾得図 | 国華 | 816 35・3 |
| 古兵宗亘賛普化和尚振鈴図 | 国華 | 817 35・4 |
| 徳力善雪筆瀟湘八景図巻 | 国華 | 819 35・6 |
| 雪村筆蔬果図 | 国華 | 821 35・8 |
| 仏涅槃図 | 国華 | 834 36・9 |
| 熊野曼荼羅 | 国華 | 836 36・11 |
| 金剛薩埵図 | 国華 | 836 36・11 |
| 兆菴筆雪景山水図 | 美術史46 | 37・9 |
| 羅漢図 | 国華 | 851 38・2 |
| 虎関師錬賛文殊騎獅像 | 国華 | 852 38・3 |
| 明兆筆五百羅漢図 | 国華 | 853 38・4 |
| 天隠竜沢賛渡唐天神像 | 国華 | 856 38・7 |
| 毘沙門天像 | 国華 | 868 39・7 |
| 石清水八幡宮曼荼羅 | 国華 | 873 39・12 |
| 陸信忠筆十王図 | 国華 | 878 40・5 |
| ④ヨーロッパ巡回日本古美術展の旅 | 美術部研究会 | 34・5 |
| 伊年草花図屏風 | 美術部研究会 | 34・7 |
| 与可心交賛の諸画蹟 | 美術部研究会 | 35・2 |
| 隠岐配流図屏風について | 美術部研究会 | 36・2 |
| 宗達の諸問題 | 美術部研究会 | 36・7 |
| 十王図の諸作品 | 美術部研究会 | 36・7 |
| 新出の普賢菩薩画像について | 美術部研究会 | 36・9 |
| 送行図について | 美術部研究会 | 36・9 |
| 光琳の百人一首 | 美術部研究会 | 36・12 |
| 南叟慧居士像と蓮聖居士像 | 美術部研究会 | 37・5 |

IV 調 査 研 究

| | |
|-------------------------|--------------|
| 長谷川左近の禅機図屏風 | 美術部研究会 37・9 |
| 玉澗様の諸作品 | 美術部研究会 37・10 |
| 渡唐天神論 | 美術部研究会 38・7 |
| 明清画に対する江戸画壇の動向 (一), (二) | 美術部研究会 38・10 |
| 稀覯絵巻物展の展示品について | 美術部研究会 38・11 |
| いわゆる蛇足の作品について | 美術部研究会 39・3 |
| 狩野内膳とその作品 | 美術部研究会 40・2 |
| 寄堂と李堯夫 | 美術部研究会 40・2 |

高 田 修 (美術部長)

| | |
|---------------------|----------------------|
| ① 醍醐寺五重塔の壁画 (編) | 吉川弘文館 34・3 |
| パキスタン古代美術 (共編) | 毎日新聞社 36・7 |
| タイ国の美術 (編) | 日本経済新聞社 37・7 |
| インド美術 (上野照夫と共著) | 日本経済新聞社 40・11 |
| ② インド古代・中世の壁画 | 平凡社, 世界名画全集16 34・11 |
| インドの石窟寺院 | 仏教芸術41 34・12 |
| インド・東南アジアの建築 | 平凡社, 世界建築全集 4 34・12 |
| 地獄と地獄絵 | 角川書店, 日本絵巻物全集 6 35・3 |
| バンテアイ・スレイの女神 | 美術研究 207 35・3 |
| 醍醐寺五重塔の壁画について | 仏教芸術42 35・4 |
| ガンダーラ美術における仏像の出現 | 美術研究 212 36・2 |
| 東寺の両界マンダラ図 | 仏教芸術47 36・11 |
| 観仏・観像について | 国華 840 37・3 |
| マウリヤ時代の神像彫刻 | 美術研究 219 37・8 |
| 苦行釈迦像について | 大和文華38 37・10 |
| 台密の両界曼荼羅 | 田山方南華甲記念論文集 38・10 |
| ヒンドゥー教美術 | ミュージアム 153 38・12 |
| インドの女神像について | 国華 863 39・2 |
| クシャーナ時代マトゥラー仏の編年的研究 | 美術研究 234 40・3 |

| | | |
|-----------------|-------------------|-------------|
| ガンダーラの菩薩思惟像 | 美術研究 235 | 40・3 |
| アンコールの美術 | 仏教芸術58 | 40・9 |
| パールフットの仏教説話図 | 美術研究 242 | 41・3 |
| ③インドの美術、建築 | 誠文堂新光社, 世界史大系 6 | 34・12 |
| インド仏教美術の隆盛 | 角川書店, 図説世界文化史大系14 | 35・2 |
| ブッダの文化圏 | 角川書店, 図説世界文化史大系26 | 35・7 |
| パキスタン展について | 毎日新聞(東京, 朝刊) | 36・3 |
| インドの仏教美術 | インド古代美術展目録 | 38・10 |
| 大いなる遺産インド古代美術 | 日本経済新聞(夕刊) | 38・10 |
| インド古代美術, 独特の官能美 | 朝日ジャーナル5-46 | 38・11 |
| マトゥラーの彫刻2点 | 美術研究 229 | 39・3 |
| 玄奘三蔵とインド紀行 | 読売新聞(朝刊) | 39・3 |
| ④インド仏跡調査報告(3回) | 美術部研究会 | 34・5 ~ 6 |
| アンコール遺跡 | 美術部研究会 | 34・7 |
| 仏教の地獄と地獄絵 | 美術部研究会 | 34・12 |
| バンチアイ・スレイ | 美術部研究会 | 35・3 |
| 仏像の起源論をめぐって | 東洋文庫東洋学講座 | 35・6 |
| スルフ・コタル | 美術部研究会 | 35・6 |
| インダス文明とガンダーラ美術 | 美術部研究会 | 36・3 |
| タイの美術について | 美術部研究会 | 36・5 |
| カンボジャの彫刻 | 美術部研究会 | 38・5 |
| 西北インドの紀元問題 | 京大人文学研究所 | 38・5 |
| 台密の両界曼荼羅 | 美術部研究会 | 38・6 |
| アフガニスタンの古美術 | 美術部研究会 | 38・9 |
| インドの彫刻 | 美術部研究会 | 38・11 |
| ⑤インドの女性彫刻 | 東方学会国際東洋学会会議 | 34・5 |
| インドの仏教史蹟 | 東大印智梵文研究例会 | 34・5 |
| インドの美術 | 東大東洋文化研究所 | 34・6 |
| インドの風土と美術 | 東大美術史談話会 | 34・7 |

IV 調 査 研 究

仏蹟をたどる (3回)

NTV 34・7
~ 9

醍醐寺五重塔の壁画

日本学術振興会 35・5

仏伝図の源流

京都国立博物館講座 35・5

醍醐寺五重塔の壁画について

東京国立博物館友の会 35・6

文明の起源, インドス文明

NHK教育テレビ 35・8

文明の起源, インド文明

NHK教育テレビ 35・8

カルカッタ博物館

ブリヂストン美術館講座 35・9

パキスタンの文化

KRTラジオ 36・3

パキスタンの古代文化

工業倶楽部 36・3

仏像の美術史的展開

駒沢大学 36・5

インドの古代美術

NHK教育テレビ 36・6

仏教美術

在家仏教夏期講座 36・7

インドの宗教と美術

第一生命ホール 38・11

インドの彫刻

工業倶楽部 38・11

インド美術史の展開

東京国立博物館 38・11

インド古代美術展

NHK教育テレビ 38・12

インド古代美術

三田芸術学会 38・12

インドの女神像

美術史学会公開講演 39・5

インド古代美術 (2回)

ブリヂストン美術館講座 40・1

田 沢 坦 (前美術部長, 昭和37年4月15日退職)

②薬師寺の絵画

実業之日本社, 薬師寺 35・5

鎌倉大仏に関する史料集成稿

美術研究 217 37・3

大陸文化の影響

角川書店, 世界美術全集 6 37・4

③東大寺中性院木造菩薩 (弥勒) 像

美術研究 212 36・2

④吉祥天修理について

美術部研究会 35・5

⑤俊乗坊重源

東京国立博物館友の会 36・3

鎌倉大仏に関する史料

研究所開所記念講演会 36・11

福山敏男(元美術部長, 昭和34年4月16日退職)

- ①葉師寺(久野健と共著) 東京大学出版会 33・11
 神護寺・高山寺 美術出版社, 日本の寺 33・10
 唐招提寺 美術出版社, 日本の寺 33・12
 ②観自在王院第三次発掘調査略報 建築史研究26 33・5
 室町時代の建築と服装 標準日本史掛図別集 5 33・6
 江戸時代の建築と服装 標準日本史掛図別集 6 33・9
 出雲大社の社殿 千家尊宜先生還暦記念神道論文集 33・9
 東福寺月下門 ミュージアム90 33・9
 皇大神宮正殿について 神光10 33・10
 年中行事絵巻の法会の一場面——葉師寺講堂か法勝寺金堂か—— 大和文華28 33・12
 神護寺諸堂記の修正 仏教芸術37 33・12
 神社建築史における流造り 新建築34-3 34・3
 ③信貴山縁起解説・建築 角川書店, 日本絵巻物全集 2 33・8
 ④大阪市立大学難波宮址研究会編「難波宮址の研究」(書評) 日本上古史研究19 33・7

第一研究室

秋山光和(第一研究室長)

- ①源氏物語絵巻(編, 日本絵巻物全集 1) 角川書店 33・6
 Peinture Japonaise スイス・スキラ書房 36・12
 平安時代世俗画の研究 吉川弘文館 39・3
 ②源氏物語絵巻の特質 大和文華32 35・1
 平安時代の「すみがき」について 美術研究 208 35・3
 地獄草紙・餓鬼草紙・病草紙の絵画 角川書店, 日本絵巻物全集 6 35・3
 敦煌における変文と絵画 美術研究 211 35・12
 ミーラン第五古址回廊北側壁画 美術研究 212 36・2
 長安の唐墓壁画 三彩 135 36・2
 「隆房卿艶詞絵」をめぐって

IV 調査研究

- いわゆる「藤波絵草紙の出典とその性格」——
 美術研究 215 36・3
- 源氏物語の絵画論
 国文学解説と鑑賞26—12 36・10
- 日本上代絵画における紫色とその顔料
 美術研究 220 37・10
- 藤原文化
 岩波講座 日本歴史 4 37・10
- 鳥海氏蔵法華経普門品見返し絵について
 美術研究 224 38・3
- 弥勒下生経変白描紛本と敦煌壁画の製作
 西域文化研究第6 38・3
- 平等院鳳凰堂の文暦修理銘について
 美術史48 38・3
- 白描絵入源氏物語、浮舟・蜻蛉の巻について
 美術研究 227 39・3
- 日本芸術の展開
 人文書院、哲学大系 4 39・4
- Formation du Style National dans l'Art Japonais (IXe-XIIe siècles).
 L'Information d'Histoire d'Art Paris, 1958
- Le Rinceau de Vigne dans l'Art Japonais Ancien.
 UNESCO, 東西文化交流シンポジウム紀要 Tokyo, 1959
- Les Rouleaux Enluminés (e-maki) au Japon Médiéval.
 France-Asie No. 172 Tokyo, 1962
- やまと絵
 筑摩書房、日本文化史 3 40・8
- 敦煌画「虎をつれた行脚僧」をめぐる考察
 美術研究 238 41・2
- ペリオ将来絹絵二遺品の紹介を中心に——
 美術研究 239 41・3
- 病草紙（不眠の女）
 美術研究 239 41・3
- ③ヨーロッパ巡回日本古美術展の総決算
 芸術新潮10—5 34・5
- ル・コックコレクションの復活
 芸術新潮10—6 34・6
- ミーラン第五古址壁画／コートン、バラッステ出土壁画
 平凡社、世界名画全集16 34・11
- 樹下美人図の系譜
 ミュージアム 104 34・11
- 光の壁（ステンドグラス）——抽象芸術の新しい場——
 美術手帖 171 35・4
- 新中国の博物館陳列
 博物館ニュース 159 35・8
- 中国美術の印象
 美術手帖 178 35・9
- 飛鳥・白鳳時代の絵画
 角川書店、世界美術全集2 36・2
- 奈良時代の絵画
 角川書店、世界美術全集3 36・5

| | | |
|--------------|----------------|-------|
| 平安時代後期美術の概観 | 角川書店, 世界美術全集 5 | 37・1 |
| 平安時代後期の世俗画 | 角川書店, 世界美術全集 5 | 37・1 |
| 日本人の日本美術への感覚 | 芸術新潮13—2 | 37・2 |
| 西域の美術 | 太陽 4 | 38・10 |
| 墳墓装飾の絵画 | 講談社, 中国美術 1 | 38・12 |
| 敦煌千仏洞 | 講談社, 中国美術 2 | 39・5 |

Nocturnal Attack on the Palace of Sanjō

UNESCO, Man through his Art, War and Peace Paris, 1963

L'Art Japonais—Sculpture et Peinture—dans l'Antiquité et au Moyen-Age.

Jardin des Arts, No. 44 Paris, 1958

| | | |
|-------------------------|-------------|------------|
| ④ヨーロッパ巡回日本古美術展の旅(一)～(四) | 美術部研究会 | 34・5 ～7 |
| コートン画の諸相 | 美術史学会東京支部大会 | 34・6 |
| ギメー美術館の東洋画 | 美術部研究会 | 34・9 |
| ヨーロッパ所在の中央アジア美術資料 | 美術史学会総会 | 34・10 |

Le Rinceau de Vigne dans l'Art Japonais Ancien

ユネスコ主催東西文化交流シンポジウム 34・11

| | | |
|---------------------|-----------------|-------|
| 中国の文化財保存と美術史研究 | 美術部研究会 | 35・7 |
| 中国古美術見学 | 美術部研究会 | 35・7 |
| 所謂「藤波絵草紙」の出典とその性格 | 美術部研究会 | 36・1 |
| 平安時代の「紫」 | 美術部研究会 | 36・11 |
| 敦煌変文と絵解の問題 | 平安文学会・説話文学会合同総会 | 36・11 |
| 浄瑠璃寺の三重塔及び本堂の絵画と彫刻 | 美術部研究会 | 37・4 |
| 日本古代・中世絵画における空間構成 | 美術史学会総会シンポジウム | 37・5 |
| 絵解きの伝統と現存例——道成寺と本法寺 | 美術部研究会 | 38・4 |
| ギメー美術館の敦煌画(一)～(三) | 美術部研究会 | 40・4 |
| ベリオ将来, 敦煌画中の新資料二種 | 美術史学会総会 | 40・5 |
| スペイン紀行 | 美術部研究会 | 40・9 |

| | | |
|----------------------|-------------|------|
| ⑤平等院鳳凰堂——その来迎図を中心に—— | 東京国立博物館文化講座 | 35・3 |
| 西域の絵画 | 京都国立博物館夏期講座 | 35・7 |

IV 調 査 研 究

- 中国の博物館と文化財保護に就いて 神奈川県博物館協会総会 35・8
- 中国歴史博物館と故宮博物院 京都国立博物館友の会講演会 35・10
- 中国の美術館と博物館 ブリヂストン美術講座 36・10
- 源氏物語絵巻 TBSテレビ 37・10
- 鳥獣戯画 TBSテレビ 38・1
- 道成寺縁起とわが国における絵解きの伝統 五島美術館講座 38・4
- 源氏物語絵巻の絵画 五島美術館講座 39・11
- Deux Mille Ans dans l'Art Japonais Maison du Japon, Paris 1958・5
- Rouleaux Enluminés du Roman de Genji Musée Guimet, Paris 1958・6
- Formation du Style National dans l'Art Japonais
- Université de Paris 1958・5
- ISMEO, Roma 1959・2
- Protection du Patrimoine Culturel au Japon NHK, Oversea broadc. 1961・5
- Les Dernières Trouvailles d'Archéologie Chinoise et le Nouveau Musée de Pékin (1. 2). Institut Franco-Japonais, Tokyo 1) 1961・11
2) 1962・2
- Traditions et Créations dans l'Art Japonais.
- Université de Copenhagen 1965・1
- Société des Amis des Arts, Rabat et Casablanca. 1965・2
- Histoire de l'art Japonais Université de Barcelone 1965・2
- Université de Lisbon 1965・2
- L'Art au Japon Université de Madrid 1965・2
- Rouleaux Enluminés au Japon Médiéval Istituto Giapponese, Roma 1965・2
- Musée Guimet, Paris 1965・2
- Les Peintures Nouvellement Découvertes dans les Tombes de l'Epoque T'ang et leurs Rapports avec la Peinture Japonaise
- Musée Guimet, Paris 1965・3
- Musée Royal d'Art et d'Histoire, Bruxelles 1965・3

伊 東 卓 治 (前第一研究室長, 昭和38年3月31日退職)

- ②書と料紙 角川書店, 日本絵巻物全集 1 33・6
- ↑ 初層天井板の落書 吉川弘文館, 醍醐寺五重塔の壁画 34・3
- 本阿弥光悦活画下絵歌巻 美術研究 204 34・5
- 醍醐寺五重塔発見の仮名 ミュージアム 114 35・9
- 正倉院御物東南院文書紙背仮名消息 美術研究 214 36・1
- 宋元展を見て——漢民族の精神性 博物館ニュース 169 36・6
- 書と料紙 角川書店, 世界美術全集 4 37・1
- ④光悦について 美術部研究会 34・10
- ⑤三十六人歌集——国宝西本願寺秘蔵歌集 KRTテレビ 34・10

熊 谷 宣 夫 (元第一研究室長, 昭和37年3月31日退職)

- ②コオタン将来の金銅仏頭 美術研究 200 34・3
- 中国初期金銅仏の二三の資料 美術研究 203 34・3
- 太和八年銘丁柱造金銅蓮華手菩薩像考 美術研究 208 35・3
- 甲寅銘王延孫造光背考 美術研究 209 35・3
- 橘師将来吐魯番出土紀年文書 美術研究 213 36・3
- 大谷コレクションの誓願画資料 美術研究 218 37・3
- 西域の美術 西域文化研究 5 37・3
- ③雪舟の肖像——雲谷等方本の紹介—— 萌春83 35・9
- ※ 兌未銘宝華造金銅三尊仏像 美術研究 209 35・3
- ベゼクリク第20窟寺将来楽人図 美術研究 218 37・3
- シルクロードの美術 シルクロード美術展目録 38・3
- 室町時代の絵画 平凡社, 家庭美術館・日本 38・3
- ④王延孫造の甲寅銘の光背について 美術部研究会 35・2
- Ordek's Necropolis 美術部研究会 35・4
- スタイン著書使用のエンブレムについて 美術部研究会 36・3
- ⑤西域の美術 名古屋中日 33・4

IV 調 査 研 究

川 上 涇

- ②中国 絵 画
- 玉川百科大辞典17 36・5
- 牧溪・玉潤・梁楷 みづゑ 675 36・7
- 送源永春還国詩画卷と王譔 美術研究 221 36・11
- Fine Arts Recent Trends of East Asian Studies in Japan 37・3
- 1962年の歴史学界（日本史・中世・美術の部） 史学雑誌72—5 38・5
- 明清画の資料——研究と鑑蔵の一側面 ミュージアム 150 38・9
- 華岳の秋声賦意図 美術研究 236 40・3
- 新羅山人早期の作品付華岳略年譜 ミュージアム 174 40・3
- 日宋文化交流の一側面 筑摩書房, 日本文化史3 41・1
- 中国人の絵画観——古代の気韻—— 漢文教室75 41・3
- ③祁 𣎵 佳筆山水図 国華 794 33・5
- 伝夏珪筆山水図 美術研究 213 36・3
- 管道昇筆墨竹図 国華 830 36・5
- 戴明説筆墨竹図 美術研究 216 37・1
- 潘賜筆墨梅図 美術研究 226 38・10
- 王譔筆山水図 美術研究 232 39・10
- ④道沖賛の一画蹟 美術部研究会 35・2
- 故宮博物院調査談 美術部研究会 35・6
- 中村氏蔵伝夏珪筆山水図 美術部研究会 36・2
- 閻秀の墨竹 美術部研究会 36・7
- 送源永春還国詩画卷 美術部研究会 36・9
- 送源永春還国詩巻 美術史学会総会 36・10
- 再び送源永春還国詩画卷について 美術部研究会 37・10
- 明清展の絵画 美術部研究会 38・9
- 四 王 呉 惲 美術部研究会 38・10
- 四 王 呉 惲 東大東洋文化研究所研究会 38・10
- 新出の王譔筆山水図 美術部研究会 39・2
- 華岳と離垢集 美術部研究会 40・6

| | | |
|-------------------------|-----------|-----------|
| 中国古代の気韻 | 美術部研究会 | 41・2 |
| ⑤故宮博物院 | ブリヂストン美術館 | 35・8 |
| 牧溪と梁楷 | NHK教育テレビ | 35・8 |
| 故宮博物院の藏画の二三について | 美術史学会総会 | 35・10 |
| 潘賜と源永春 | 東洋文庫東洋学講座 | 39・6 |
| 顧愷之と呉道玄 | ブリヂストン美術館 | 40・2 |
| ⑥本年の美術史学界を顧みて(1959年の回顧) | ミュージアム | 105 34・12 |
| 故宮博物院を訪れて | 萌春83 | 35・9 |
| ある蒐蔵家 | 博物館ニュース | 163 35・12 |
| 故宮博物院の宋元画 | 博物館ニュース | 167 36・4 |
| 清代絵画の理解のために | 博物館ニュース | 196 38・9 |

久野 健

| | | |
|-------------------------------|----------|--------------------|
| ①法隆寺の彫刻(長谷川伝次郎と共著) | 中央公論美術出版 | 33・4 |
| 薬師寺(福山敏男と共著) | 東京大学出版会 | 33・11 |
| 日本の彫刻 | 吉川弘文館 | 34・9 |
| 仏 像 | 学生社 | 36・11 |
| A Guide to Japanese Sculpture | 繭山竜泉堂 | 38・8 |
| 神 護 寺 | 中央公論美術出版 | 39・9 |
| 続日本の彫刻(全6巻, 田枝幹宏と共著) | 美術出版社 | 39・2 ~40・1 |
| ②正花寺菩薩立像 | 国華 | 800 33・11 |
| 板光背像について | 美術研究 | 199 33・12 |
| 鉦彫と未完成像 | 美術研究 | 203 34・3 |
| 法華寺の仏像 | 南都弘教 | 6 34・6 |
| 浄楽寺の仏像と運慶 | 美術研究 | 204 35・1 |
| 三浦古寺の彫像 | 国華 | 818 35・5 |
| 東北古代彫刻史論上, 下 | 美術研究 | 210, 211 35・5, 7 |
| 檀像彫刻の展開 | 仏教芸術 | 43 35・7 |
| 運慶様式の成立上, 下 | ミュージアム | 115, 116 35・10, 11 |

IV 調 査 研 究

| | |
|----------------------|----------------------------------|
| 貞観木彫の誕生 | 国華 824 35・11 |
| 唐招提寺の彫刻 | 近畿日本叢書, 唐招提寺 35・12 |
| 葉師寺葉師三尊の造立年代について | 日本歴史 154 36・4 |
| 関東彫刻史からみた円空 | 三彩 146 37・1 |
| 行者系の彫刻 | ミュージアム 130 37・1 |
| 立木仏について | 美術研究 217 37・3 |
| 中尊寺彫刻とその周辺 上, 中, 下 | 美術研究 222, 225, 228 38・2 ~39・3 |
| 応保二年銘如意輪観音像 | 史迹と美術 333 38・4 |
| 北条政子追福の地藏菩薩像 | ミュージアム 146 38・5 |
| 寄木造について | 国華 843 38・6 |
| 古代彫刻論 | 岩波講座, 日本歴史 38・8 |
| 高知県の古代彫刻 | 仏教芸術 53 39・2 |
| 関東古代彫刻史論 | 学生社, 関東彫刻の研究 39・10 |
| 関東の近世彫刻 | 学生社, 関東彫刻の研究 39・10 |
| 関東の泥彫について | 学生社, 関東彫刻の研究 39・10 |
| 銅製の垂髪をもつ菩薩半跏像について | 美術研究 234 40・3 |
| 誕生仏について | 古美術 10 40・9 |
| 二つの古代銅像——朝鮮三国仏と白鳳仏—— | 史迹と美術 359 40・11 |
| 飛鳥仏 | 古代史講座 12 40・11 |
| 大仏師善円とその作品 | 美術研究 240 41・3 |
| ③面の表情 | 婦人之友 52-5 33・5 |
| 白鳳論争 | 芸術新潮 9-8 33・8 |
| 飛鳥時代 | 美術手帖 147 33・9 |
| 東京近郊の彫刻 | 芸術新潮 9-9 33・9 |
| 奈良時代の美術 | 日本歴史大辞典 34・1 |
| 日本の面 | アトリエ 384 34・2 |
| 白鳳時代 | 日本歴史大辞典 34・3 |
| いかるがの生活他 | 日本の歴史 2 34・3 |
| 落書からみた奈良時代の生活 | 日本の歴史 3 巻月報 34・3 |

| | | |
|------------------------|----------------|-------|
| 仏教美術の神秘化 | 日本の歴史 3 | 34・4 |
| 玉虫厨子は密陀絵か | 日本史の研究 25 | 34・5 |
| 力のこもった美術 | 日本の歴史 4 | 34・5 |
| みちのくの仏像 | 仏教芸術 39 | 34・6 |
| 日本史図録 1 | 吉川弘文館 | 35・1 |
| 明王寺聖観音像 | 美術研究 209 | 35・3 |
| 運慶の新資料 | 仏教芸術 43 | 35・7 |
| 菩薩坐像 | 国華 824 | 35・11 |
| 東寺の兜跋毘沙門立像 | 三彩 133 | 35・12 |
| 日本史図録 2 | 吉川弘文館 | 35・12 |
| 彫刻作家と造像法 | 角川書店, 世界美術全集 2 | 36・2 |
| 筆のたわむれ | 角川書店, 世界美術全集 3 | 36・5 |
| 日本史図録 3 | 吉川弘文館 | 36・11 |
| 藤原彫刻の展開 | 角川書店, 世界美術全集 5 | 37・1 |
| 東国の鎌倉彫刻 | 角川書店, 世界美術全集 6 | 37・4 |
| 朱衣金体の阿弥陀如来像 | 古美術 1 | 38・1 |
| 江戸時代前期の彫刻 | 角川書店, 世界美術全集 9 | 38・3 |
| 日本の仏像彫刻 | 東美 | 39・12 |
| 天部立像 | 国華 875 | 40・2 |
| 願成就院蔵制吒迦, 矜羯羅童子像の胎内納入物 | 美術研究 238 | 41・2 |
| ④浄楽寺の仏像と運慶 | 美術部研究会 | 34・6 |
| 北海道の彫刻 | 美術部研究会 | 36・6 |
| 十二世紀に於ける日本美術の動向 | 美術史学会総会 | 36・10 |
| 立木仏について | 美術部研究会 | 37・3 |
| 浄瑠璃寺の三重塔及び本堂の絵画と彫刻 | 美術部研究会 | 37・4 |
| 寄木造について | 美術部研究会 | 37・6 |
| 中尊寺の彫刻 | 美術部研究会 | 38・6 |
| 神像の起源 | 美術部研究会 | 39・4 |
| 大仏師善円とその作品 | 美術史学会総会 | 40・5 |

IV 調 査 研 究

⑤法 隆 寺

日本の彫刻

X線による古美術品の鑑定

関東の美術

奈良時代の美術

光学的方法による美術品の鑑識

彫刻から見た天平文化

古代の落書

運 慶

日本の美術——鎌倉以後の彫刻

関東彫刻について

鉦ぼりの話

科学の時代——仏像

芸術における日本の展開——古代彫刻

鎌倉地方彫刻について

仏像の鑑定

飛 鳥 仏

白鳳の仏たち

真 蹟

日本の美術をたずねて

⑥地方別日本美術史

日本テレビ 33・4

高知市公民館 33・4

NHKテレビ 33・6

根津美術館 34・1

NHKテレビ 34・1

ブリヂストン美術館 34・7

東京新聞文化講演会 34・11

NHK第1放送 35・2

NHKテレビ 35・5

NHKテレビ 37・10

横須賀博物館 38・3

神奈川県立金沢文庫 38・10

NHKテレビ 39・2

京都国立博物館 39・8

鎌倉国宝館 39・10

NHKテレビ 39・11

毎日放送 40・9

毎日放送 40・10

NHK第2放送 41・1

朝日放送 41・3

Enciclopedia Universale dell'Arte 33・6
(執筆)

柳 沢 孝

②壁画の図像(高田修と共同執筆)

吉川弘文館, 醍醐寺五重塔の壁画 34・3

壁画の様式と技法(宮次男と共同執筆)

吉川弘文館, 醍醐寺五重塔の壁画 34・3

一字金輪曼荼羅図について——その図像学的並びに遺品の美術史的考察——

美術研究 208 35・3

青蓮院旧蔵の立像十二天図について

国華 823 35・10

定智筆善女龍王像をめぐる資料

美術史42 36・12

- 藤原時代普賢菩薩絵像の一遺例 美術研究 220 37・1
- 益田家旧蔵の普賢菩薩絵像について 国華 847 37・10
- 大和永久寺真言堂障子絵と藤田本密教両部大経感得図——その製作年代と作家——
美術研究 224 37・9
- 転法輪筒とその絵画 美術研究 231 39・10
- 青蓮院伝来の白描金剛界曼荼羅諸尊図像上, 下 美術研究241, 242 41・3
- ③平安後期仏画 美術出版社, 日本美術全史上 34・12
- 醍醐寺美術関係文献目録 仏教芸術42 35・3
- 「古代絵画」の図版解説 講談社, 日本美術大系3 35・11
- 行基菩薩像 国華 833 36・8
- 東寺関係美術年表 仏教芸術47 36・11
- 東寺関係美術文献 仏教芸術47 36・11
- 平安後期の仏画 角川書店, 世界美術全集5 37・1
- 紺紙金字法華経及び開結経 古美術7 40・1
- 永久寺亮恵上人画像 美術研究 233 40・2
- 阿弥陀曼荼羅図 美術研究 235 40・3
- ④青蓮院旧蔵の立像十二天図 美術部研究会 35・11
- 新出の普賢菩薩画像について 美術部研究会 36・9
- 浄瑠璃寺の三重塔裝飾画について 美術部研究会 37・4
- 再び藤田本密教両部大経感得図について 美術部研究会 37・5
- 永久寺と藤田本両部大経感得図 美術史学会総会 37・5
- 永久寺伝来亮恵上人画像 美術部研究会 39・11

田村悦子

- ②西行の筆蹟資料の検討——御物本円位仮名消息をめづって—— 美術研究 294 36・3
- 藤原俊成自筆千載和歌集断簡日野切の考察とその集成 美術研究 233 40・2
- 蜻蛉日記絵の詞書断簡について 美術研究 241 41・3
- ③男衾三郎絵詞断簡 美術研究 222 38・2
- ④円位(西行)の筆蹟について 美術部研究会 35・3

IV 調 査 研 究

猪 川 和 子

- ②延久元年銘十一面観音像について 美術研究 199 33・12
- 三井寺新羅明神像 国華 800 33・11
- 浄楽寺諸像の胎内納入物と墨書 美術研究 204 35・1
- 観世音寺馬頭観音像造顕考追記 美術研究 204 35・1
- 吉祥天彫像 美術研究 210 35・9
- 大仏師康譽作大日如来像 国華 829 36・4
- 福岡東長寺千手観音立像 大和文化研究36 36・4
- 広島福智院の十一面観音像 美術研究 219 36・11
- 竜華寺と文裁寺の十一面観音像 広島県文化財ニュース20 38・10
- 地天に支えられた毘沙門天彫像 美術研究 229 38・7
- 邪鬼と地天女 日本美術工芸 312 39・9
- 土紋装飾のある仏像 学生社, 関東彫刻の研究 39・10
- 関東の清涼寺式釈迦像 美術研究 237 40・10
- 鬼神雑考 日本美術工芸 322 41・5
- 神将形二天彫像上, 下 美術研究244, 245 41・1,3
- 福井羽賀寺十一面観音像 美術研究 245 41・3
- ③解 説 学生社, 関東彫刻の研究 39・10
- 解 説 開隆堂, 美術指導資料集 40・12
- ⑤関東彫刻の名品について 神田・東電ホール 38・2

宮 次 男

- ②壁画の様式と技法(柳沢孝と共著) 吉川弘文館, 醍醐寺五重塔の壁画 34・3
- 一遍聖絵と円伊 美術研究 205 35・2
- 談山神社藏法華曼荼羅について上, 中, 下 美術研究 221, 222, 223 37・11
~38・3
- 地藏堂草紙について 国華 851 38・2
- 井上家旧藏弘法大師伝絵巻について 美術研究 232 39・10
- 蒙古襲来絵詞について 角川書店, 日本絵巻物全集 9 39・12
- 駒競行幸絵巻 角川書店, 日本絵巻物全集17 40・7

- 小野雪見御幸絵巻 角川書店, 日本絵巻物全集17 40・7
- なよ竹物語絵巻 角川書店, 日本絵巻物全集17 40・7
- 奥州十二年合戦絵の零巻について 美術研究 237 40・10
- 一遍聖絵の錯簡と御影堂本について 美術研究 244 41・1
- ③平安後期の世俗画 美術出版社, 日本美術全史上 34・12
- 山王靈驗記 国華 817 35・4
- 一遍聖絵 角川書店, 日本絵巻物全集10 35・7
- 上代の壁画 萌春83 35・9
- 函量地獄(地獄草紙のうち) 美術手帖 191 36・7
- 絵巻物の進展 角川書店, 世界美術全集 6 37・4
- 弘法大師在唐絵巻 古美術 4 39・3
- 古代中世の秘画巻(田中一松と共著) 国文学解釈と鑑賞29-12 39・12
- 玄奘三蔵絵巻 古美術 7 40・1
- 鶴の草紙 古美術 8 40・3
- 鎌倉時代の美術 小学館, 日本の美術 40・6
- ④12世紀絵画にあらわれた山水の表現について 美術部研究会 35・12
- 談山神社蔵法華曼荼羅について 美術部研究会 37・10
- 地藏堂草紙について 美術部研究会 38・2
- 細画法華経変の2・3の資料について 美術史学会総会 38・5
- 井上家旧蔵弘法大師伝絵巻の零巻について 美術部研究会 38・12
- 再び弘法大師伝絵巻について 美術部研究会 39・4
- 弘法大師伝絵巻の零巻について 美術史学会総会 39・5
- 鶴の草紙 美術部研究会 40・2
- 奥州十二年合戦絵巻について 美術部研究会 40・6
- ⑤鎌倉時代の絵画 五島美術館 40・7
- 絵巻物の展開 岩手大学 40・12

戸田 頌 佑(昭和37年6月1日就職)

- ②五代・北宋の墨竹 美術史46 37・9

IV 調 査 研 究

| | | |
|-------------------------------|----------------|-------|
| 智積院障壁画の研究 | 国華 850 | 38・1 |
| 湖州竹派について | 美術研究 236 | 39・9 |
| 道釈人物画 | 角川書店, 世界美術全集16 | 40・3 |
| 劉節筆藻魚図について | 美術研究 240 | 40・5 |
| ③倪元璐筆竹石図 | 国華 851 | 38・2 |
| 銭杜筆虞山草堂歩月図 | 美術研究 230 | 38・9 |
| 呉宏筆墨竹図 | 美術研究 236 | 39・9 |
| 陸復筆墨梅図 | 美術研究 245 | 41・3 |
| ④智積院障壁画の検討 | 美術部研究会 | 37・12 |
| 銭杜筆虞山草堂歩月図と銭杜の画論 | 美術部研究会 | 39・1 |
| 湖州竹派と北宋末党争 | 東大東洋文化研究所 | 39・10 |
| 湖州竹派について | 美術部研究会 | 39・12 |
| ⑥方聞, 中国絵画——方法に関する一見——(江上綏と共訳) | 国華 876 | 40・3 |

第 二 研 究 室

隈 元 謙次郎 (第二研究室長)

| | | |
|-----------------------|------------|-------|
| ①藤島武二の人と作品 (世界名画全集統編) | 平凡社 | 36・11 |
| 黒田清輝 (日本近代絵画全集2) | 講談社 | 37・9 |
| 浅井忠 (日本近代絵画全集1) | 講談社 | 38・12 |
| 近代日本美術の研究 | 大蔵省印刷局 | 39・6 |
| ②昭和32年美術界概観 | 日本美術年鑑33年版 | 34・3 |
| 明治初期の洋画 | 美術研究 206 | 35・3 |
| 小杉放庵の人と作品 | 萌春80 | 35・6 |
| 五姓田義松に就て | 美術研究 213 | 36・3 |
| 青木繁の「旧約物語」挿絵について | 美術研究 217 | 37・3 |
| チャールズ・ワーグマンとその周辺 | 神奈川文化 8-8 | 37・11 |
| 岡倉天心と菱田春草 | 下伊那教育68 | 40・8 |
| 明治の絵画 | 月刊文化財23 | 40・8 |

| | | |
|-------------------------|-----------|---------------|
| 山本芳翠について | 美術研究 239 | 41・3 |
| ④浅井忠の水彩画 | 美術部研究会 | 34・12 |
| 五姓田義松の作品 | 美術部研究会 | 35・2 |
| ⑤浅井忠について | 千葉県教育委員会 | 36・9 |
| 藤島武二の作品 | 伊勢丹講堂 | 36・11 |
| 岡倉天心の業績 | 東京芸術大学 | 37・10 |
| 岡倉天心 | 茨城県教育委員会 | 39・2 |
| 岡倉天心——人と思想 | NHK第2放送 | 39・10 |
| 黒田清輝 | ブリヂストン美術館 | 40・10 |
| 明治黎明期の美術 | ブリヂストン美術館 | 40・11 |
| 黒田清輝 | NHKテレビ | 40・11 |
| ⑥十三松堂日記(正木直彦著) 1～3巻(校刊) | 中央公論美術出版 | 40・9 ～41・3 |

岡 畏三郎(主任研究官)

| | | |
|---------------------------|----------------|-------|
| ①小出櫓重・岸田劉生(世界名画全集続編5, 共著) | 平凡社 | 37・3 |
| 歌 磨 | 集英社 | 40・6 |
| 国貞・英泉・国芳(共著) | 講談社 | 40・12 |
| ②近代の洋画人・岡田三郎助 | 中央公論 | 34・ |
| 近代洋画の展開と版画芸術の復興 | 平凡社, 世界名画全集23 | 35・1 |
| 大正期洋画史 | 角川書店, 世界美術全集11 | 36・9 |
| 奥村・石川派を中心とする美人画の開拓 | 講談社, 日本版画全集2 | 36・12 |
| 橋口五葉伝 | 浮世絵芸術2 | 37・8 |
| 小出櫓重の美術学校時代と初期作品 | 美術研究 223 | 38・3 |
| 大正期版画 | 浮世絵芸術4 | 38・12 |
| 小出櫓重の初期作品について | 美術研究 228 | 39・3 |
| ③浮世絵(平木コレクション) 編集, 解説 | 毎日新聞社 | 39～41 |
| ⑥小糸源太郎年譜 | 美術出版社, 小糸源太郎 | 40・10 |

IV 調査研究

中村伝三郎

- ①竹内栖鳳（日本近代絵画全集17） 講談社 38・1
- ②戦後の秀作・彫刻 国立近代美術館ニュース51 34・2
- 昭和32年美術界概観・現代彫塑 日本美術年鑑（1958年版） 34・3
- 昭和33年美術界概観・現代彫塑 日本美術年鑑（1959年版） 35・3
- 明治以後彫刻 美術出版社、日本美術全史下 35・12
- 「考える人」をめぐる（名作物語） 萌春89 36・4
- 近代社会の美術 創元社、日本文化史（美術と歴史） 36・5
- 「松村家略系」と呉春・景文伝 美術研究 216 36・5
- 彫塑界とロダン 角川書店、世界美術全集11 36・9
- 追悼・吉田三郎 三彩 149 37・4
- 日本現代彫刻の動向（上）（下） 東京新聞（夕刊） 37・8
- 木内克の彫刻 みづゑ 693 37・10
- 日本芸術院史・彫刻 日本芸術院史 38・3
- 北村西望 人と作品 国際写真情報 39・3
- 彫刻界の動き（戦後日本美術） 角川書店、世界美術全集別巻 39・7
- 荻原守衛 生涯と芸術（上） 美術研究 235 39・7
- 日本近代彫刻史上における佐藤朝山 三彩 189 40・8
- ③彫塑（日本文化・43） 毎日新聞 36・10
- 「彫刻の新世代」展目録 国立近代美術館 38・5
- 松村景文筆雪中白梅豆鳥図 国華 861 38・12
- ⑤近代の木彫 国立近代美術館 34・4
- ロダンの「考える人」……その影響 ブリヂストン美術館 36・2
- 昭和38年度美術界の回顧と展望・彫刻 ブリヂストン美術館 39・2
- ⑥日展彫塑雑感 三彩 121 34・12
- 樋口シン（彫刻新人発掘） 芸術新潮 35・3
- 日展彫塑の新芽によせる 三彩 133 35・12
- 日展彫塑の新世代に寄せる 三彩 145 36・12
- 全国彫刻コンクール（宇部市第一回応募展） 三彩 167 38・11

| | |
|----------------------------|---------------|
| 日展の彫塑 | 三彩 168 38・12 |
| 小田襲(期待する作家・4) | 美術グラフ 39・5 |
| 日展の彫塑 | 三彩 180 39・12 |
| 第1回現代日本彫刻展(宇部市常盤公園10.1~31) | みづゑ 730 40・12 |
| 現代イタリア彫刻展をみて(座談会)企画, 司会 | 三彩 136 36・3 |
| ミロのヴィーナスを語る(座談会)企画, 司会 | 三彩 173 39・5 |

関 千 代

| | |
|------------------|----------------------|
| ①上村松園(日本近代絵画全集) | 講談社 38・1 |
| ②昭和32年度現代日本画界の概観 | 日本美術年鑑(1958年版) 34・3 |
| 昭和33年度現代日本画界の概観 | 日本美術年鑑(1959年版) 35・3 |
| 鳥合会について | 美術研究 209 35・3 |
| 文 展 開 設 | 角川書店, 世界美術全集 11 36・9 |
| 松園晩年作と能について | 萌春 38・1 |
| 日本芸術院史(日本画) | 日本芸術院史 38・3 |
| 戦後の日本画 | 角川書店, 世界美術全集別巻 39・3 |
| 黒猫会・仮面会等覚書 | 美術研究 232 39・10 |
| ③狩野芳崖筆不動明王 | 国華 835 36・10 |
| 下村観山筆天心先生像画稿 | 国華 835 36・10 |
| 前田青邨筆宇治川図 | 萌春 101 37・5 |
| 鉄 斎 ほ か | 開隆堂, 美術指導資料集 40・12 |

坂 本 満(昭和33年10月1日就職)

| | |
|--|--------------------------|
| ①近代絵画の先駆者(近代世界美術全集1, 坂崎乙郎・佐々木英也と共著)社会思想社 | 39・1 |
| グレコ・ペラスケス(世界の美術) | 河出書房新社 40・3 |
| ②狩 野 山 楽 | 平凡社, 世界名画全集, 桃山の障屏画 34・9 |
| 16世紀マニエリスム絵画の問題 | 学燈 37・9 |
| ゴヤの波紋・19世紀フランス文芸思潮に及ぼした影響とスペインの後継者 | みづゑ別冊 37・11 |

IV 調 査 研 究

- マニャスコとスーティン 美術手帖 38・6
- ベラスケス 美術手帖 39・10
- 洋風画とマニエリスム 角川書店, 世界美術全集8 40・10
- 17世紀の威信 芸術新潮 41・2
- ③現代美術図版解説 講談社, 日本美術大系 35・9
- 17・8世紀の絵画 玉川百科大辞典, 西洋美術 36・9
- ティントレット, ^{ジョ}フェロネーゼ, カラヴァッジオ図版解説 講談社, 世界美術大系, イタリア美術 36・6
- 16世紀ネーデルランド美術, 概説と図版解説, フェルメール, ハルス図版解説 講談社, 世界美術大系, オランダ・フランドル美術 37・4
- グレコ論と図版解説, ゴヤの版画図版解説 講談社, 世界美術大系, スペイン美術 37・11
- 17世紀スペイン絵画, 概説と図版解説 角川書店, 世界美術全集33 38・8
- 17世紀の美術概説 小学館, 世界百科辞典別冊, 西洋近代美術 40・3
- 初期洋風画図版解説 筑摩書房, 日本文化史7 40・9
- ④ゴヤの最初の版画をめぐる 美術史学会東京支部大会 34・5
- ベラスケス作品解釈 美術部研究会 39・5
- 初期洋風画と16世紀マニエリスム 美術部研究会 40・2
- 日本初期洋風画の様式的背景 美術史学会総会 40・5
- ⑥V. L. タピエ著バロック芸術 (高階秀爾と共訳) 白水社 37・11
- ブレイク・ある幻視者の言葉 (編訳) みづゑ 38・1
~ 4
- シャルパントラ著バロック (訳書) 美術出版社 40・3

資 料 室

- 中 川 千 咲 (資料室長)
- ①古 九 谷 平凡社 33・7
- 日本の工芸 吉川弘文館 38・11
- ②青白磁水注 大和文華27 33・9

| | | |
|----------------------|------------------|-------|
| 古瀬戸の模様 | 美術研究 201 | 33・11 |
| 法花茄紫地牡丹孔雀文壺 | 大和文華31 | 34・10 |
| いわゆる祥瑞丸文装飾のある古九谷について | 美術研究 207 | 34・11 |
| 仁清作色絵けし文茶壺 | ミュージアム 111 | 35・11 |
| 仁清意匠の一考察 | 美術研究 216 | 37・1 |
| 呉須赤絵の蓮と牡丹の模様 | ミュージアム 138 | 37・9 |
| 嘉靖金欄手瓶の意匠 | 美術研究 223 | 38・3 |
| 青白磁童子模様瓶について | 美術研究 229 | 39・3 |
| いわゆる高台寺蒔絵の一硯箱と高台寺の蒔絵 | 美術研究 235 | 40・3 |
| 明治後期陶磁工芸の一動向 | 美術研究 240 | 40・5 |
| ③九谷焼 | 陶説61 | 33・4 |
| 江戸時代の工芸上・下 | 小学館, 図説日本文化史 | 33・6 |
| 柿右衛門・古伊万里・鍋島の模様 | 陶説74 | 34・4 |
| 桃山～現代の陶芸 | 美術出版社, 日本美術全史下 | 35・12 |
| 日本・東洋の陶磁 | 玉川百科大辞典, 日本・東洋美術 | 36・5 |
| 染付の文様 | ミュージアム 126 | 36・9 |
| 伝統の工芸と民芸 | 角川書店, 世界美術全集11 | 36・9 |
| 工芸と意匠—平安時代— | 角川書店, 世界美術全集5 | 37・1 |
| 近世の工芸 | 講談社, 世界美術大系12 | 39・7 |
| ④古九谷の二三の作品について | 美術部研究会 | 35・3 |
| 古瀬戸の科学的調査 | 美術部研究会 | 37・12 |
| 明清展の陶磁 | 美術部研究会 | 38・9 |
| 青白磁童子図瓶について | 美術部研究会 | 39・2 |
| ⑤明治以後の陶磁 | 国立近代美術館 | 34・6 |
| 日本陶芸の美 | オークランド美術館 | 36・2 |
| 日本陶芸の歴史 | カリフォルニア大学 | 36・2 |
| 日本の陶芸 | サンフランシスコ放送局 | 36・2 |
| 日本工芸の意匠 | 佐賀図書館 | 38・5 |
| 明治大正の焼物 | 五島美術館 | 39・6 |

IV 調査研究

古九谷と古伊万里の意匠

サントリー美術館 40・2

中国陶の意匠

五島美術館 40・4

上野アキ

②装飾文様

吉川弘文館, 醍醐寺五重塔の壁画 34・3

トルファン出土彩面紙片について

美術研究 230 38・9

古代の婦人像——正倉院樹下美人図とその周辺——

歴史教育 13-6 40・5

③喀喇和卓出土金彩狩猟文木片

美術研究 221 37・3

⑥故小林太市郎氏著作文献目録

研究34 39・3

田実栄子

②小千谷縮・越後上布——その美と伝統技術との関連性——

ミュージアム 109 35・4

伝上杉謙信所用金銀襷綴子等縫合胴服について (上)(下)

——伝上杉謙信・上杉景勝所用服飾類調査報告一——

美術研究216, 219 36・5, 11

染織品の保存と陳列について——日本服飾美術展の陳列に当って——

ミュージアム 142 38・1

伝上杉謙信所用小袖十二領

——伝上杉謙信・上杉景勝所用服飾類調査報告二——

美術研究 228 38・5

伝上杉謙信所用帷子四領

——伝上杉謙信・上杉景勝所用服飾類調査報告三——

美術研究 233 39・3

伝上杉謙信所用胴服八領 (上)(中)(下)

——伝上杉謙信・上杉景勝所用服飾類調査報告四——

美術研究242, 243, 244 40・9
~41・1

③白麻地山水風景模様茶屋帷子 (京都・田畑喜八氏蔵)

三彩 189 40・8

④徳川将軍家墓地発掘染織遺品について

東京国立博物館友の会 34・8

片倉家伝来黒縹子小袖について——近世初期小袖——

美術部研究会 34・9

片倉家伝来黒縹子小袖について

美術史学会総会 34・10

小千谷縮・越後上布——現地調査報告——

美術部研究会 35・3

伝上杉謙信所用金銀襷綴子等縫合胴服について

美術部
研究会 36・9

伝上杉謙信所用金銀襷綴子等縫合胴服について

美術史学会総会 36・10

- 「黄八丈」と「かっぺた織」——現地調査報告—— 美術部研究会 37・6
- 染織品の保存と陳列について——日本服飾美術展の陳列に当って——
- 美術史学会東京支部大会 37・12
- 伝上杉謙信所用小袖十二領 美術部研究会 38・12
- 伝上杉謙信所用帷子四領 美術部研究会 39・10
- ⑤上野・東照宮伝来の伝徳川家康所用辻ヶ花染胴服と紫縮緬陣羽織について
- 東京国立博物館 40・3
- ⑥日本染織年表
- 講談社、日本美術大系 8 35・5
- 日本染織年表 第一稿 自費ガリ版刷 35・5
- 染 色 玉川百科大辞典、造形芸術 35・11
- 光琳資料 呉服商雁金屋関係及び能装束関係の解説、註記
- 山根有三編 小西家旧蔵光琳資料とその研究資料 37・3
- 日本芸術院史の工芸分野担当 日本芸術院史 38・3
- 辻 惟 雄 (昭和37年6月1日就職)
- ②天球院障壁画の研究 (共同執筆) 国華 839 37・2
- 福井県法雲寺蔵の岩佐又兵衛関係文書 美術研究 225 37・11
- 智積院障壁画の研究 国華 861 38・1
- 岩佐又兵衛の作画範囲 美術研究 230 38・9
- ③近世初期風俗画
- 角川書店、世界美術全集 9 38・1
- 四条門山派その他 角川書店、世界美術全集10 38・12
- 桃山時代障屏画 筑摩書房、日本文化史 5 40・1
- 桃山・江戸時代の美術 小学館、日本百科大辞典、日本の美術 40・6
- 山王祭礼・加茂競馬図屏風 国華 887 41・2

江 上 綏 (昭和38年5月1日就職)

- ②The River Style Garden and the Problems of *Nosuji* in Early
Mediaeval Japan *France Asie* 180 38
- 1963年の歴史学界——回顧と展望——古代 6 (井上正と共同執筆) 史学雑誌73—5 39・5

IV 調 査 研 究

1964年の歴史学界——回顧と展望——日本古代美術 ^{杉山三郎} ~~秋山光和~~ と共同執筆

史学雑誌74—5 40・5

「童子口伝書つき山水并野形図」の成立と^{その}性格上、下 美術研究238, 239 41・1,3

④西本願寺本三十六人集の料紙装飾について 美術部研究会 38・5

西本願寺本三十六人集料紙装飾の一整理 美術史学会総会 38・5

無動寺本「山水并野形図」について 美術部研究会 39・6

⑥方間、中国絵画——方法に関する一所見——（戸田禎佑と共訳） 国華 876 40・3

2 芸 能 部

A 研 究 題 目

題目のつぎの括弧内の数字は年度を、共は共同研究題目を示す。

演 劇 研 究 室

浦 山 政 雄（演劇研究室長）

〔I〕 近世演劇の研究

- (1) 歌舞伎脚本の研究 (33～)
 - a) 未鵜刻歌舞伎脚本の研究 (33～)
 - b) 河竹黙阿弥作者年表の研究 (33～35)
- (2) 歌舞伎舞踊の研究 (33～)
 - a) 歌舞伎舞踊古曲の復元に関する研究 (33～35, 共)
 - b) 日本舞踊譜の研究 (33～35, 共)
- (3) 歌舞伎演出史の研究 (37～)
 - a) 歌舞伎画証資料の研究 (37～, 共)
- (4) 歌舞伎音楽の研究 (35～, 共)
- (5) 浄瑠璃の音楽的理法の研究 (35～, 共)
 - a) レコードによる近代義太夫節史の研究 (35～)

- b) 義太夫旋律の採譜方法の研究 (35～)
- c) 義太夫節の旋律型の研究 (35～)
- 〔Ⅱ〕 基礎資料の蒐集整理に基づく古文化財の実証的研究 (36～37, 共)
- (1) 芸能関係資料の調査研究 (36～37, 共)
- 〔Ⅲ〕 ビッチレコーダーによる日本芸能の音楽的研究 (39～, 共)

玉 木 清 子 (昭和36年4月就職, 昭和39年6月退職)

- 〔Ⅰ〕 歌舞伎劇史の研究
- (1) 初期歌舞伎の民俗学的研究 (36～37)
- (2) 明治演劇雑誌の動向の研究 (37～39)
- 〔Ⅱ〕 浄瑠璃の音楽的理法の研究 (36～39, 共)
- (1) 邦楽レコードの分類・整理・保存に関する研究 (35～39)

石 田 百合子 (非常勤, 昭和40年4月就職, 昭和41年3月退職)

- 〔Ⅰ〕 近世演劇の研究
- (1) 未鵬刻・未発表の歌舞伎脚本の所在調査とその分析研究 (40)
- (2) 浄瑠璃の音楽的理法の研究 (40, 共)

戸 部 銀 作 (非常勤, 昭和40年3月退職)

- 〔Ⅰ〕 歌舞伎の研究
- (1) 歌舞伎舞踊の研究
 - a) 歌舞伎舞踊古典の復元に関する研究 (33～40, 共)
- (2) 日本舞踊譜の研究 (33～35, 共)
- (3) 歌舞伎画証資料の研究 (38～39, 共)
- 〔Ⅱ〕 浄瑠璃の研究
- (1) 浄瑠璃の音楽的理法の研究 (35～39, 共)
 - a) 特殊化された義太夫節 (チヨボ・女義) の研究 (35～39)

音楽舞蹈研究室

横 道 萬里雄（音楽舞蹈研究室長）

〔I〕 中世芸能の音楽的・舞蹈的研究

- (1) 能の音楽的・舞蹈的研究 (33～)
- (2) 狂言の音楽的・舞蹈的研究 (33～)
- (3) 声明の研究 (35～)

〔II〕 古典芸能の単元構成の研究

- (1) 能および狂言の動作単元・リズム単元の研究 (33～)
- (2) 近世舞蹈の動作単元の研究 (33～38)
- (3) 日本舞蹈譜の研究 (33～35, 共)

〔III〕 能および狂言における音楽様式の変遷の研究 (33～)

〔IV〕 能楽資料の調査研究

- (1) 観世宗家文書の調査研究 (33)
- (2) 観世左吉家文書の調査研究 (33)

〔V〕 近世演劇の音楽的研究

- (1) 歌舞伎音楽の研究 (39～, 共)
- (2) 浄瑠璃の音楽的理法の研究 (35～, 共)
a) 義太夫節を素材としての日本声曲のメリハリの研究 (35～)

〔VI〕 基礎資料の蒐集整理に基く古文化財の実証的研究 (35～37, 共)

- (1) 芸能関係資料の調査研究 (35～37, 共)

〔VII〕 ビッチレコーダーによる日本芸能の音楽的研究 (39～, 共)

佐 藤 道 子

〔I〕 寺院芸能の研究

- (1) 各宗派声明の比較研究 (33～)
- (2) 寺院に存在する呪師芸の研究 (36～)
- (3) 密教行事の研究 (38～)

〔Ⅱ〕 近世音楽の研究

(1) 浄瑠璃の音楽的理法の研究 (35～, 共)

a) 邦楽レコード史の研究 (35～)

(2) 歌舞伎音楽の研究 (39～, 共)

〔Ⅲ〕 日本舞踊譜の研究 (33～35, 共)

〔Ⅳ〕 ビッチレコーダーによる日本芸能の音楽的研究 (39～, 共)

岸 邊 成 雄 (非常勤)

〔Ⅰ〕 能の音楽的および舞踊的研究 (34)

〔Ⅱ〕 日本音楽の比較音楽学的研究 (35～40)

〔Ⅲ〕 箏曲楽曲の史的変遷の研究 (38～)

郷土芸能研究室

三 隅 治 雄

〔Ⅰ〕 郷土芸能の研究

(1) 郷土芸能分類の研究 (33～38)

(2) 念仏芸の研究 (33～)

a) 三・信・遠国境地帯における念仏踊の研究 (33～37)

b) 念仏狂言・練供養の研究 (40～)

(3) 風流踊の研究 (35～)

a) 近畿地方に残存する風流踊とその踊歌の研究 (35～36)

b) 小町踊の研究 (38～)

(4) 田楽の研究 (37～, 共)

(5) 南島の祭祀と芸能の研究 (33～)

a) 薩南諸島の祭祀と芸能の研究 (33～)

b) 琉球列島の祭祀と芸能の研究 (33～)

(6) 郷土芸能分布の調査研究 (33～)

〔Ⅱ〕 近世芸能の研究

IV 調査研究

- (1) 日本舞踊譜の研究 (33~35, 共)
- (2) 浄瑠璃の音楽的理法の研究 (35~, 共)
 - a) 義太夫節の芸統と伝承の理法の研究 (35~)
- (3) 歌舞伎音楽の研究 (39~, 共)

〔Ⅲ〕 ピッチレコーダーによる日本芸能の音楽的研究 (39~, 共)

池 田 彌三郎 (非常勤)

〔Ⅰ〕 芸能の民俗学的研究 (33~)

- (1) 芸能伝承の論理の研究 (33~38)
- (2) 田楽の研究 (37~)
- (3) 琉球における「琉球」の研究 (40)

B 調査研究活動

年・月、場所、内容の順序に記し、末尾に共同調査者を付載。

演劇研究室

浦 山 政 雄 (演劇研究室長)

| | | | |
|---------------|----------|---------------------|----------------|
| 33・4 | 前橋市付近 | 翁三番叟撮影 | 横道, 戸部 |
| 33・6 ~35・8 | 東京 | 日本舞踊譜作成のための撮影・録音・採譜 | 横道, 三隅, 戸部, 佐藤 |
| 33・10 | 東京 国立博物館 | 日琉舞踊比較研究会撮影・録音 | 横道, 三隅, 戸部, 佐藤 |
| 33・11 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 横道, 三隅, 佐藤 |
| 34・4 | 天理大学 | 歌舞伎脚本撮影 | |
| 34・9 | 日本青年館 | 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | 横道, 三隅, 佐藤 |
| 34・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 横道, 三隅, 佐藤 |
| 35・2 | 京都大学図書館 | 歌舞伎脚本調査 | |
| 35・9 | 神戸市 安原家 | 安原コレクション邦楽レコード調査・蒐集 | 横道, 三隅, 戸部 |
| 35・7 | 神奈川県立音楽堂 | 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | 横道, 三隅, 佐藤 |
| 35・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 横道, 三隅, 佐藤 |

| | | | |
|----------------|-----------|-----------------------|-------------|
| 36・1 ～4 | 護 国 寺 | 新義真言宗豊山派声明録音 | 横道,佐藤,玉木 |
| 36・10 | 日 本 青 年 館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 横道,三隅,佐藤,玉木 |
| 36・11 | 大阪 池田文庫 | 歌舞伎資料撮影 | |
| 37・2 ～7 | 東京文化会館 | 義太夫節録音 | 横道,戸部,佐藤 |
| 37・4 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影・録音 | 横道,三隅,佐藤,玉木 |
| 37・6 | 伝 法 院 | 法華八講撮影・録音 | 横道,三隅,佐藤,玉木 |
| 37・10 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影・録音 | 横道,佐藤 |
| 37・10 | 日 本 青 年 館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 横道,三隅,佐藤,玉木 |
| 37・11 | 神戸市 | 農村舞台撮影 | |
| 38・4 | 伊 勢 丹 | 文楽首撮影 | 横道,三隅,佐藤,玉木 |
| 38・4 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影・録音 | 横道,三隅,佐藤,玉木 |
| 38・5 | 早稲田大学 | 大唄神楽録音 | 横道,三隅 |
| 38・7 | 国学院大学 | 岳神楽撮影・録音 | 横道,三隅,佐藤 |
| 38・10 | 宮内庁楽部 | 舞楽録音 | 三隅,玉木 |
| 38・10 | 共 立 講 堂 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 横道,三隅,佐藤,玉木 |
| 39・3 | 東京文化会館 | 舞楽撮影・録音 | 横道,三隅,佐藤,玉木 |
| 39・3 | 川越 氷川神社 | 万作踊撮影・録音 | 横道,三隅,佐藤 |
| 39・3 | 東京文化会館 | 狂言謠録音 | 横道,佐藤 |
| 39・10 | 東京文化会館 | オリンピック芸術展示民俗芸能大会撮影・録音 | 横道,三隅,佐藤 |
| 39・11 | 大阪 池田文庫 | 歌舞伎脚本調査 | |
| 39・12 | 東京文化会館 | 関東の神楽能撮影・録音 | 横道,三隅 |
| 39・12 ～40・3 | 東京 | 歌舞伎下座音楽録音 | 横道 |
| 40・3 | 日 本 青 年 館 | 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | 三隅 |
| 40・10 | 日 本 青 年 館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 横道,三隅,佐藤 |
| 40・12 | 大阪 池田文庫 | 歌舞伎資料撮影 | |

五 木 清 子 (昭和36年4月就職,昭和39年6月退職)

| | | | |
|------|-------|--------------|----------|
| 36・4 | 護 国 寺 | 新義真言宗豊山派声明録音 | 浦山,横道,佐藤 |
|------|-------|--------------|----------|

IV 調査研究

| | | | |
|-------|--------|-----------------|----------------|
| 36・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤 |
| 36・11 | 共済会館 | 全国青年大会郷土芸能撮影・録音 | 三隅 |
| 37・4 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影・録音 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤 |
| 37・6 | 伝法院 | 法華八講撮影・録音 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤 |
| 37・10 | 光明寺 | 御十夜法要撮影・録音 | 横道, 佐藤 |
| 37・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤 |
| 38・4 | 伊勢丹 | 文楽首撮影 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤 |
| 38・4 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影・録音 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤 |
| 38・10 | 宮内庁楽部 | 舞楽録音 | 浦山, 三隅 |
| 38・10 | 共立講堂 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤 |
| 38・11 | 久保講堂 | 全国青年大会郷土芸能撮影・録音 | 三隅 |
| 39・3 | 東京文化会館 | 舞楽撮影・録音 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤 |

戸部 銀作 (非常勤, 昭和40年3月退職)

| | | | |
|---------------|----------|---------------------|----------------|
| 33・6 ~35・8 | 東京 | 日本舞踊譜作成のための撮影・録音・採譜 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤 |
| 33・10 | 東京 国立博物館 | 日琉舞踊比較研究会撮影・録音 | 浦山, 横道, 三隅, 佐藤 |
| 35・3 | 名古屋 | 西川流伝承古典舞踊の実態調査 | 佐藤 |
| 35・9 | 神戸市 安原家 | 安原コレクション邦楽レコード調査・蒐集 | 浦山, 横道, 三隅 |
| 37・1 ~3 | 兵庫 | 兵庫県下残存舞台の調査 | |
| 37・2 ~7 | 東京文化会館 | 義太夫節録音 | 浦山, 横道, 佐藤 |
| 38・1 ~3 | 大阪, 東京 | 日本の古典芸能の養成実態についての調査 | |
| 39・1 ~3 | 兵庫, 東京 | 日本における俳優学校の歴史と現状調査 | |

音楽舞踊研究室

横道 萬里雄 (音楽舞踊研究室長)

| | | |
|------|----------------|--------|
| 33・4 | 前橋市 付近 翁・三番叟撮影 | 浦山, 戸部 |
|------|----------------|--------|

| | | | |
|---------------|----------|---------------------|----------------|
| 33・6 ～35・8 | 東京 | 日本舞踊譜作成のための撮影・録音・採譜 | 浦山, 三隅, 戸部, 佐藤 |
| 33・11 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 三隅, 佐藤 |
| 33・11 | 東京 国立博物館 | 日琉舞蹈比較研究会撮影・録音 | 浦山, 三隅, 戸部, 佐藤 |
| 34・9 | 日本青年館 | 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 三隅, 佐藤 |
| 34・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 三隅, 佐藤 |
| 35・7 | 神奈川県立音楽堂 | 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 三隅, 佐藤 |
| 35・9 | 神戸市 安原家 | 安原コレクション邦楽レコード調査・蒐集 | 浦山, 三隅, 戸部 |
| 35・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 三隅, 戸部 |
| 36・1 ～4 | 護国寺 | 新義真言宗豊山派声明録音 | 浦山, 佐藤, 玉木 |
| 36・4 | 東本願寺別院 | 坂東曲念仏録音 | 三隅 |
| 36・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 三隅, 佐藤, 玉木 |
| 37・2 ～7 | 東京文化会館 | 義太夫節録音 | 浦山, 戸部, 佐藤 |
| 37・4 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影・録音 | 浦山, 三隅, 佐藤, 玉木 |
| 37・6 | 伝法院 | 法華八講撮影・録音 | 浦山, 三隅, 佐藤, 玉木 |
| 37・10 | 光明寺 | 御十夜法要撮影・録音 | 佐藤, 玉木 |
| 37・10 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影・録音 | 浦山, 佐藤 |
| 37・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 三隅, 佐藤, 玉木 |
| 38・4 | 伊勢丹 | 文楽首撮影 | 浦山, 三隅, 佐藤, 玉木 |
| 38・4 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影・録音 | 浦山, 三隅, 佐藤, 玉木 |
| 38・5 | 早稲田大学 | 大償神楽録音 | 浦山, 三隅 |
| 38・7 | 国学院大学 | 岳神楽撮影・録音 | 浦山, 三隅, 佐藤 |
| 38・7 | 千葉県庁 | 千葉県芸能大会撮影・録音 | 三隅, 佐藤 |
| 38・8 | 徳島 | 人形回し部落調査 | |
| 38・8 | 興仙会 | 能装束・道具撮影 | 佐藤 |
| 38・10 | 長谷寺 | 伝法大会撮影・録音 | 佐藤 |
| 38・10 | 共立講堂 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 三隅, 佐藤, 玉木 |
| 39・3 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影・録音 | 浦山, 三隅, 佐藤, 玉木 |

IV 調 査 研 究

| | | | |
|----------------|----------|-----------------------|----------|
| 39・3 | 川越 氷川神社 | 万作踊撮影・録音 | 浦山,三隅,佐藤 |
| 39・3 | 東京文化会館 | 狂言謠録音 | 浦山,佐藤 |
| 39・8 | 鮎 仙 会 | 能装束・道具測定 | 佐藤 |
| 39・10 | 東京文化会館 | オリンピック芸術展示民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山,三隅,佐藤 |
| 39・11 | 埼玉 鷲宮神社 | 鷲宮神楽撮影 | |
| 39・11 | 千葉 東之庄町 | 笹川神楽撮影 | |
| 39・12 | 東京文化会館 | 関東の神楽能撮影・録音 | 浦山,三隅 |
| 39・12 ~40・3 | 東京 | 歌舞伎下座音楽録音 | 浦山 |
| 40・3 | 東 大 寺 | 修二会撮影・録音 | |
| 40・7 ~41・2 | 東京 | 日本舞踊譜作成のための撮影 | 浦山,三隅,佐藤 |
| 40・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山,三隅,佐藤 |
| 41・2 | 西大寺・宝山寺他 | 南都の声明撮影・録音 | |

佐 藤 道 子

| | | | |
|---------------|----------|---------------------|-------------|
| 33・6 ~35・8 | 東京 | 日本舞踊譜作成のための撮影・録音・採譜 | 浦山,横道,三隅,戸部 |
| 33・11 | 東京 国立博物館 | 日琉舞踊比較研究会撮影・録音 | 浦山,横道,三隅,戸部 |
| 33・11 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山,横道,三隅 |
| 34・9 | 日本青年館 | 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山,横道,三隅 |
| 34・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山,横道,三隅 |
| 35・3 | 名古屋 | 西川流伝承古典舞踊の実態調査 | 戸部 |
| 35・7 | 神奈川県立音楽堂 | 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山,横道,三隅 |
| 35・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山,横道,三隅 |
| 36・1 ~4 | 護 国 寺 | 新義真言宗豊山派声明録音 | 浦山,横道,玉木 |
| 36・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山,横道,三隅,玉木 |
| 37・2 ~7 | 東京文化会館 | 義太夫節録音 | 浦山,横道,戸部 |
| 37・4 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影・録音 | 浦山,横道,三隅,玉木 |
| 37・6 | 伝 法 院 | 法華八講撮影・録音 | 浦山,横道,三隅,玉木 |

| | | | |
|-------|---------|---------------------------|--------------------|
| 37・10 | 光 明 寺 | 御十夜法要撮影・録音 | 横道, 玉木 |
| 37・10 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影・録音 | 浦山, 横道 |
| 37・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 三 隅, 玉木 |
| 37・11 | 共 済 会 館 | 全国青年大会郷土芸能撮影・録音 | 三隅 |
| 38・4 | 伊 勢 丹 | 文楽首撮影 | 浦山, 横道, 三 隅, 玉木 |
| 38・4 | 宮内庁楽部 | 舞楽撮影・録音 | 浦山, 横道, 三 隅, 玉木 |
| 38・7 | 千葉県庁 | 千葉県芸能大会撮影・録音 | 横道, 三隅 |
| 38・7 | 国学院大学 | 岳神楽撮影・録音 | 浦山, 横道, 三隅 |
| 38・8 | 練 仙 会 | 能面・能装束撮影 | 横道 |
| 38・10 | 長 谷 寺 | 伝法大会撮影・録音 | 横道 |
| 38・10 | 共 立 講 堂 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 三 隅, 玉木 |
| 39・3 | 東京文化会館 | 舞楽撮影・録音 | 浦山, 横道, 三 隅, 玉木 |
| 39・3 | 川越 氷川神社 | 万作踊撮影・録音 | 浦山, 横道, 三隅 |
| 39・3 | 東京文化会館 | 狂言謡録音 | 浦山, 横道 |
| 39・8 | 練 仙 会 | 能面・能装束測定 | 横道 |
| 39・10 | 東京文化会館 | オリンピック芸術展示民俗芸能大会撮影・録 音 | 浦山, 横道, 三隅 |
| 40・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 三隅 |

岸 邊 成 雄 (非常勤)

| | | |
|---------------|------------------------|---------------------|
| 33・8 | アメリカ合衆国各 地 | 比較音楽学研究状況の調査 |
| 33・10 | 大阪市 | 七絃琴伝承調査 |
| 37・4 ～38・6 | アメリカ合衆国各 地 | 比較音楽学研究状況の調査 |
| 38・7 ～8 | 欧州各国, イスラ エル, アジア各国 | 比較音楽学研究状況及び民俗音楽の調査 |
| 38・12 | 京都 桃 山 | 平曲伝承調査 |
| 39・7 ～8 | 欧 洲 各 国 | 比較音楽学会会議出席 |
| 40・5 | 新潟 高 田 市 | 替女調査 |
| 40・7 | ベルリン, イラン | 比較音楽会議出席, イラン民族音楽調査 |

郷土芸能研究室

三 隅 治 雄

- | | | | |
|----------------|------------|---------------------|----------------|
| 33・6 | 長野 下伊那郡 | 阿南町早稲田・新野の虫送りの芸能撮影 | |
| 33・6 ~35・8 | 東京 | 日本舞踊譜作成のための撮影・録音・採譜 | 浦山, 横道, 戸部, 佐藤 |
| 33・8 ~9 | 沖縄 | 沖縄・八重山各地の祭祀と芸能撮影 | |
| 33・10 | 東京 国立博物館 | 日琉舞踊比較研究会撮影・録音 | 浦山, 横道, 戸部, 佐藤 |
| 33・11 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 佐藤 |
| 34・2 | 岐阜 下呂町 | 森八幡社田の神祭撮影 | |
| 34・3 | 武生市 | 野大坪万才・水海能舞神事撮影 | |
| 34・7 | 大町市 | 若一王子神社祇園囃子撮影・録音 | |
| 34・7 | 青森 田名部町 | 恐山地蔵祭・田名部のイタコ撮影 | |
| 34・9 | 日本青年館 | 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 佐藤 |
| 34・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 佐藤 |
| 35・2 | 岡山市 | 中国・四国ブロック民俗芸能大会撮影 | |
| 35・3 ~4 | 大阪, 京都, 兵庫 | 風流踊撮影・録音 | |
| 35・7 | 神奈川県立音楽堂 | 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 佐藤 |
| 35・8 | 大阪 能勢町 | 盆踊撮影 | |
| 35・9 | 神戸市 安原家 | 安原コレクション邦楽レコード調査・蒐集 | 浦山, 横道, 戸部 |
| 35・10 | 日本青年館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 佐藤 |
| 35・10 ~36・4 | 東京 | 東京各地民謡撮影・録音 | |
| 35・10 | 奈良, 京都 | 風流踊撮影 | |
| 36・1 | 福岡 瀬高町 | 幸若舞撮影・録音 | |
| 36・2 | 長崎市 | 九州ブロック民俗芸能大会撮影 | |
| 36・2 | 八幡市 木屋瀬 | 宿場踊撮影 | |
| 36・4 | 東本願寺別院 | 坂東曲念仏録音 | 横道 |
| 36・8 | 佐久市 跡部 | 念仏踊撮影・録音 | |

- | | | | |
|------------|-----------|-------------------------|-------------|
| 36・8 ～9 | 滋賀，兵庫 | 風流踊撮影・録音 | |
| 36・9 | 福島市 | 東北ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | |
| 36・10 | 岩手 大 迫 町 | 大償・岳の山伏神楽撮影・録音 | |
| 36・10 | 日 本 青 年 館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山，横道，佐藤，玉木 |
| 36・11 | 共 済 会 館 | 全国青年大会郷土芸能撮影・録音 | 玉木 |
| 36・12 | 大阪市 | 近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | |
| 37・2 | 奈良 石上 神宮 | 鎮魂祭調査 | |
| 37・2 | 神戸市 長田神社 | 追儺祭撮影 | |
| 37・2 | 東京 | 徳丸・赤塚田遊撮影・録音 | |
| 37・2 | 山形 | 田植踊等民俗芸能撮影・録音 | |
| 37・2 | 秋田 | 番楽・獅子踊等民俗芸能撮影・録音 | |
| 37・4 | 宮 内 庁 楽 部 | 舞楽撮影・録音 | 浦山，横道，佐藤，玉木 |
| 37・4 | 高崎市 | 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | |
| 37・5 | 千葉市 | 千葉県民俗芸能大会撮影・録音 | |
| 37・6 | 伝 法 院 | 法華八講撮影・録音 | 浦山，横道，佐藤，玉木 |
| 37・7 | 千葉 光 町 | 鬼來迎撮影・録音 | |
| 37・9 | 薩南諸島 | 祭祀と芸能撮影・録音 | |
| 37・9 | 沖縄本島 | 祭祀と芸能撮影・録音 | |
| 37・9 | 秋田市 | 東北・北海道ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | |
| 37・10 | 日 本 青 年 館 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山，横道，佐藤，玉木 |
| 37・11 | 共 済 会 館 | 全国青年大会郷土芸能撮影・録音 | 佐藤 |
| 38・1 | 青森 八 戸 市 | 山伏神楽・えんぶり撮影・録音 | |
| 38・4 | 伊 勢 丹 | 文楽首撮影 | 浦山，横道，佐藤，玉木 |
| 38・4 | 宮 内 庁 楽 部 | 舞楽撮影・録音 | 浦山，横道，佐藤，玉木 |
| 38・5 | 毎 日 ホ ー ル | 日本郷土芸能大会撮影 | |
| 38・5 | 早 稲 田 大 学 | 大償神楽録音 | 浦山，横道 |
| 38・7 | 国 学 院 大 学 | 岳神楽撮影・録音 | 浦山，横道，佐藤 |
| 38・7 | 和歌山 那智神社 | 扇祭・田楽撮影・録音 | |

IV 調 査 研 究

- | | | | |
|-------------|---------|-------------------------|----------------|
| 38・7 | 和歌山 古座町 | 船祭撮影 | |
| 38・7 | 千葉県 庁 | 千葉県民俗芸能大会撮影・録音 | 横道, 佐藤 |
| 38・8 | 千葉 光 町 | 鬼来迎撮影・録音 | |
| 38・8 | 愛媛, 高知 | 花取踊・太刀踊撮影 | |
| 38・8 ~ 9 | 徳島 池田町 | 盆踊撮影 | |
| 38・10 | 宮内庁 楽部 | 舞楽録音 | 浦山, 玉木 |
| 38・10 | 静岡市 | 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | |
| 38・10 | 共立講堂 | 全国民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 佐藤, 玉木 |
| 38・11 | 久保講堂 | 全国青年大会郷土芸能撮影・録音 | 玉木 |
| 38・11 | 高知市 | 中国・四国ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | |
| 38・11 | 神戸市 | 近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会撮影・録音 | |
| 38・12 | 千葉市 | 千葉県民俗芸能大会撮影・録音 | |
| 39・2 | 青森市 | 青森県下神楽撮影・録音 | |
| 39・2 | 八戸市 | えんぶり撮影・録音 | |
| 39・2 | 酒田市 | 黒森歌舞伎撮影・録音 | |
| 39・3 | 東京文化会館 | 舞楽撮影・録音 | 浦山, 横道, 佐藤, 玉木 |
| 39・3 | 川越 氷川神社 | 万作踊撮影・録音 | 浦山, 横道, 佐藤 |
| 39・2 ~ 3 | 静岡 水窪町 | 西浦田楽撮影 | |
| 39・5 | 毎日ホール | 日本郷土芸能大会撮影 | |
| 39・8 | 長野 松本市 | 盆行事撮影 | |
| 39・10 | 横浜 高島屋 | 神奈川県民俗芸能大会撮影 | |
| 39・10 | 東京文化会館 | オリンピック芸術展示民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道, 佐藤 |
| 39・11 | 沖縄 | 沖縄各島民俗芸能撮影・録音 | |
| 39・12 | 埼玉 鷲宮神社 | 土師流神楽撮影 | |
| 39・12 | 東京文化会館 | 関東の神楽能撮影・録音 | 浦山, 横道 |
| 40・2 | 福島 | 田植踊・念仏踊等民俗芸能撮影・録音 | |
| 40・2 | 岩手 | 田植踊・鹿踊等民俗芸能撮影・録音 | |
| 40・2 | 千葉 | 練供養・鹿島踊撮影 | |
| 40・3 | 日本青年館 | 関東民俗芸能大会撮影・録音 | 浦山, 横道 |

- 40・4 二荒山神社 弥生祭撮影
- 40・7 千葉 光 町 鬼来迎撮影
- 40・7
～8 薩南諸島 八月踊等民俗芸能撮影
- 40・9 薩南諸島 八月踊・諸鈍芝居等民俗芸能撮影・録音
- 40・10 日本青年館 全国民俗芸能大会撮影・録音 浦山, 横道, 佐藤
- 40・11 岸 体 育 館 全国青年大会民俗芸能撮影・録音
- 41・2 静岡 水 窪 町 西浦田楽撮影
- 41・3 甲府市 関東ブロック民俗芸能大会撮影・録音
- 41・3 小牧市ほか 豊年祭・田遊祭撮影

池 田 彌三郎 (非常勤)

- 38～40 島根・岡山 出雲・吉備地方における文学と芸能の調査
- 40・11 沖縄本島・宮古島 沖縄の民俗と芸能の調査

C 主 要 研 究 業 績

①は著書, ②は論文, ③は解説, ④は研究発表, ⑤は講演・放送, ⑥はその他等の種別を示し, 題名, 発表場所 (発行所, 掲載誌, 講演場所, 放送局等), 発表年・月の順序に記す。

演 劇 研 究 室

浦 山 政 雄 (演劇研究室長)

- ①歌舞伎脚本集上 (日本古典文学大系53) 岩波書店 35・2
- 歌舞伎脚本集下 (日本古典文学大系54) 岩波書店 36・12
- ②金毘羅生記の伝系 国語と国文学 33・10
- 河竹黙阿弥作者年表 近世国文学 35・10
- 近世演劇研究の問題点 国語と国文学 39・6
- 近松作品の種類 解釈と鑑賞 40・3
- 鶴屋南北と「四谷怪談」 解釈と鑑賞 40・5
- ③能どり舞踊を検討する 演劇界 35・2

IV 調 査 研 究

| | | |
|----------------------|-----------|-------|
| 邦楽の歴史 | 演劇界 | 39・2 |
| ⑤日本の古典「冥途の飛脚」 | NHKラジオ | 33・10 |
| 日本の古典「丹波与作待夜の小室節」 | NHKラジオ | 35・11 |
| 義太夫節研究資料としての安原コレクション | 東京国立博物館講堂 | 35・12 |
| ことばの芸能「歌舞伎」 | NHKラジオ | 36・11 |
| ことばの芸能「浄瑠璃」 | NHKラジオ | 37・1 |
| このばの芸能「端唄小唄」 | NHKラジオ | 37・3 |
| 浄瑠璃の鑑賞（語り物の系譜講座） | 実践女子大学 | 37・7 |
| 国語研究「菅原伝授手習鑑」 | NHKラジオ | 37・10 |
| 神楽能と歌舞伎（研究所開所記念行事） | 東京文化会館 | 39・12 |
| 近世歌謡と三味線音楽（日本歌謡学会大会） | 明治大学 | 40・6 |

石 田 百合子（非常勤，昭和40年4月就職，昭和41年3月退職）

| | | |
|----------|--------|------|
| ②源氏物語の音楽 | 東洋音楽研究 | 40・8 |
|----------|--------|------|

戸 部 銀 作（昭和40年3月退職）

| | | |
|-----------------|------|-------|
| ②美を解く芸術（歌舞伎と踊り） | 東洋経済 | 33・6 |
| ③歌舞伎の役柄 ほか多数 | 演劇界 | 33～40 |
| ⑥「大商姪小島」演出 | 歌舞伎座 | 37・6 |
| 「長町女腹切」演出 | 歌舞伎座 | 38・6 |
| 「心中刃は氷の朔日」演出 | 歌舞伎座 | 39・6 |
| 「博多小女郎浪枕」演出 | 日生劇場 | 40・1 |

音楽舞踊研究室

横 道 萬里雄（音楽舞踊研究室長）

| | | |
|---------|------|-------|
| ①能と狂言 | 大同書院 | 34・4 |
| 謡曲集上 | 岩波書店 | 35・12 |
| 能・狂言名作集 | 筑摩書房 | 37・9 |

| | | |
|------------------|----------------------------------|-------------|
| 謡曲集下 | 岩波書店 | 38・2 |
| ②能と狂言——能楽師—— | 日本の芸術 | 33・6 |
| 娘捨検討 | 七世納之丞遷厩能パンフレット | 33・10 |
| 劇能と風流能 | 謡曲・狂言・花伝書 | 33・12 |
| 能と狂言の社会習俗 | 講座日本風俗史 | 34・7 |
| 早歌の新旧 | 中世文学の世界 | 35・3 |
| ②木賊について | 橋岡久太郎追善能パンフレット | 39・9 |
| 松垣断章 | 観世華雪追善能パンフレット | 40・10 |
| ③忠度・隅田川・舟弁慶 | 解釈と鑑賞 | 33・10 |
| 能 | 日本文学必携 | 34・6 |
| 千鳥・八千代獅子 | 宮城会会報 | 34・8 |
| 難波獅子 | 宮城会会報 | 34・10 |
| 夕顔 | 宮城会会報 | 35・1 |
| NOH and KYÔGEN | BIBLIOGRAPHY of JAPANESE STUDIES | 35・3 |
| 末の契り | 宮城会会報 | 35・3 |
| 秋の言の葉 | 宮城会会報 | 35・6 |
| 能楽囃子秘曲集(レコード解説) | 日本ビクター | 36・11 |
| 四季の眺め | 宮城会会報 | 36・6 |
| 三番叟 | 狂言 | 36・6 |
| 狂言界の現状とその芸系 | 芸術祭狂言の会パンフレット | 36・11 |
| 鬼さまざま | 狂言 | 36・11 |
| 世阿弥にまなぶ | P.H.P | 37・1 ~12 |
| 能の扮装 | 観世 | 38・6 ~10 |
| 世阿弥と現代(九位次第を中心に) | 観仙 | 38・1 |
| 長等の春 | 宮城会会報 | 38・4 |
| 茶音頭 | 宮城会会報 | 38・7 |
| さむしろ | 宮城会会報 | 38・11 |
| 能 | 月刊文化財 | 39・9 |
| 能は生きている | オリンピック能楽祭パンフレット | 39・10 |

IV 調 査 研 究

| | | |
|-----------------|------------|----------------|
| 松 竹 梅 | 宮城会会報 | 40・2 |
| 御 山 獅 子 | 宮城会会報 | 40・8 |
| けしの花 | 宮城会会報 | 41・1 |
| ④翁の研究 | 芸能 | 34・11 ～35・3 |
| 中世の民謡 | 東洋音楽学会大会 | 35・7 |
| 世阿弥の能 | 観世 | 38・6 ～10 |
| 声明と中世声曲 | 東洋音楽学会大会 | 38・7 |
| ⑤能舞台について | 東京能楽鑑賞会 | 33・5 |
| 能のドラマトゥルギー | 伝統芸術の会 | 33・5 |
| 謡曲の小段 | 第一銀行謡曲研究会 | 33・5 |
| 室町時代の芸術 | NHKテレビ | 33・6 |
| 能 の 面 | 東京能楽鑑賞会 | 33・8 |
| 能の扮装の諸類型 | 学生鑑賞会 | 33・10 |
| 能面と狂言面 | 学生鑑賞会 | 33・10 |
| 能 の 舞 踊 | 東京能楽鑑賞会 | 33・11 |
| 能 の 音 楽 | 東京能楽鑑賞会 | 34・2 |
| 狂言の特色——棒縛—— | NETテレビ | 34・3 |
| 狂 言 の 謡——二人大名—— | NETテレビ | 34・3 |
| 狂 言 の 舞——桑山伏—— | NETテレビ | 34・3 |
| 狂言の歴史——首引—— | NETテレビ | 34・3 |
| 邦楽の歌詞 | 邦楽技能者育成会 | 34・4 ～7 |
| 能 の 囃 子 | 東京能楽鑑賞会 | 34・5 |
| 中世の芸能 | 草月教養クラブ | 34・5 |
| 能の舞事について | 学生鑑賞会 | 34・6 |
| 能 の 美 | 華道学術講座 | 34・7 |
| 能郷能について | 日本テレビ | 34・9 |
| 謡 曲 | NHKラジオ | 35・1 |
| 言葉の風車 | NHKラジオ | 35・1 |
| 能 の 型 | 舞踊家研修指導講習会 | 35・8 |

| | | |
|------------------|----------------|----------------|
| 能楽の囃子について | 東京女子大学文化祭 | 35・11 |
| 能の小段 | 第一銀行謡曲研究会 | 35・12 |
| 能と現代 | NETテレビ, NHKラジオ | 36・2 |
| 能の音楽 | NHKラジオ | 36・6 |
| 能と狂言について | 舞踊家研修指導講習会 | 36・8 ～9 |
| 能装束の着付 | 学生鑑賞会 | 36・10 |
| 日本演劇と仮面 | 演劇講座 | 37・2 |
| 桃山時代の能楽 | 教師のための文化史講座 | 37・3 |
| 能の囃子について | 学生鑑賞会 | 37・5 |
| 世阿弥記念能楽講座 | 鉄仙会 | 38・5 ～7 |
| 能の舞の基礎 | 舞踊家研修指導講習会 | 38・8 |
| 芸術鑑賞——能—— | NHKテレビ | 38・8 ～12 |
| 鎌倉室町時代の文化財・芸能 | 文化財指導者講習会 | 38・10 |
| 能・狂言の世界 | 芸術文化講習会 | 39・6 |
| 能と狂言 | 校長指導主事研修講座 | 39・6 |
| 能の音楽 | 紀伊国屋ホール | 39・9 |
| 西本願寺能舞台等について | 能面能装束展記念能 | 39・10 |
| 能の音楽的組織 | あけぼの会 | 39・10 |
| 能の特質 | 司法研修所 | 40・5 |
| 能の技法 | 舞台芸術学院 | 40・6 ～7 |
| 能と狂言の語り | 鉄仙会 | 40・11 ～41・2 |
| 能と狂言について | 外務研修所 | 41・1 |
| ⑥映画「日本の舞踊」(制作協力) | 岩波映画 | 34・6 ～12 |
| 芸術祭能(企画) | 日比谷公会堂 | 34・11 |
| 芸術祭狂言の会(企画) | 水道橋能楽堂 | 36・11 |
| 芸術祭狂言の会(企画) | 水道橋能楽堂 | 37・11 |
| 能聖世阿弥展(企画・解説) | 伊勢丹ホール | 38・5 |
| 芸術祭能の会(企画) | 水道橋能楽堂 | 38・9 ～10 |

IV 調 査 研 究

レコード「能」(監修・解説)

日本ビクター 38・11

映画「日本の能」(制作監修)

桜映画 40・9
～41・2

佐藤道子

②邦楽レコードの変遷——義太夫節を中心として——

東京国立文化財研究所発行 音盤目録I 41・3

岸邊成雄(非常勤)

①東洋の音楽(ラッハマン原著)訳註

音楽之友社 35・8

唐代音楽の歴史的研究楽制篇 上巻

東京大学出版会 35・2

唐代音楽の歴史的研究楽制篇 下巻

東京大学出版会 36・3

日本楽器の変遷(美術講座 No. 3)

五島美術館 36・11

②邦楽(日本の芸術)

東洋経済新報社 33・10

絃楽器の種類

フィルハーモニー 34・7
～8

Music, K. B. S. Bibliography of Standard Japanese Book

国際文化振興会 35

比較音楽学の業績と方法

東京大学教養学部比較文化紀要 36・3

能の音楽と東洋の音楽

現代謡曲全集11 39・6

A Chinese Painting of the Tang Court Womens Orchestra

The Commonwealth of Music 40・2

④筑紫箏の音楽

東洋音楽学会大会 36・6

正倉院の楽器

民族音楽学会大会(コロンブス・インディア) 37・12

西域音楽の東伝

ロンドン大学 38・6

日本音楽研究法

国際比較音楽研究所(ベルリン) 40・7

⑤邦楽放送解説

NHKラジオ 33～40

現代邦楽解説

NHKラジオ 33～40

邦楽の手引

NHKラジオ 34

眼で見る日本音楽史

NHKテレビ 34

音 楽 史

NETテレビ 34

| | | |
|---------------------|-------------------|--------------|
| 三味線音楽と日本人 | NHKラジオ | 35 |
| 世界の音楽 | NETテレビ | 35 |
| 日本の芸能 | NHKテレビ | 35 |
| 平家物語万華鏡(監修・解説) | KRテレビ | 35 |
| 東洋音楽 | NHK邦楽技能者育成会 | 35・3 ~ 5 |
| アジア民族音楽祭 | NHKラジオ | 35・12 |
| 能と日本人(監修・解説) | NHKラジオ | 36・1 |
| 民族音楽 | CBCラジオ | 36 |
| 邦楽の手引 | NHKラジオ | 36 |
| 東洋の宗教音楽 | 相愛女子大宗教音楽研修会 | 36, 39~40 |
| 義太夫音楽 | ワシントン大学 | 37・7 |
| 三曲について | カリフォルニア大学 | 37・11 |
| 日本の楽器 | アメリカ音楽学会大会(コロンプス) | 37・12 |
| 箏曲 | ハーバート大学 | 38・1 |
| 箏曲 | スタンフォード大学 | 38・5 |
| 邦楽のとびら(監修・解説) | NHKテレビ | 38 |
| 能の音楽 | 国際音楽協議会大会(ハンブルグ) | 39・6 |
| 日本音楽の道しるべ(監修・解説) | NHKラジオ | 40 |
| レコード「日本の伝統音楽」(英文解説) | 日本ビクター | 40・4 |

郷土芸能研究室

三 隅 治 雄

| | | |
|---------------|-------|-------|
| ①年中行事辞典(共著) | 東京堂出版 | 33・5 |
| 郷土芸能 | 大同書院 | 33・12 |
| 民族の芸能 | 河出書房 | 39・9 |
| ②風流(日本民俗学大系9) | 平凡社 | 33・8 |
| 男芸の民俗(日本の芸術) | 東洋経済 | 33・11 |
| 沖縄芸能の現状と日本の芸能 | 観世 | 34・2 |

IV 調 査 研 究

| | | |
|------------------------|----------|-----------------|
| 南 島 消 息 | 芸能 | 34・1 ～ 6 |
| 鎮送儀礼と芸能と | 国学院雑誌 | 35・5 |
| 舞台の変遷（民俗文学講座3） | 弘文堂 | 35・6 |
| 祭 と 季 節 | まつり | 36・9 |
| 田 楽 の 翁 | 日本文学論究 | 37・6 |
| 南島に生きる能 | 観世 | 37・10 |
| 歌舞伎舞踊の源流 | 演劇界 | 37・10 ～39・10 |
| 郷土芸能の成立と伝承 | 解釈と鑑賞 | 37・10 |
| 遠山上町の霜月神楽 | 民俗芸能 | 38・3 |
| 南島のかけあい | 芸能史研究 | 38・7 |
| 舞 と 踊 | 解釈と鑑賞 | 38・10 |
| 雨宮神事概論（雨宮御神事） | 長野県教育委員会 | 40・3 |
| 鬼来迎考説 上 | 房総文化 | 40・5 |
| 民謡研究の歴史 | 芸能 | 41・3 |
| ③神 楽 と 能（日本古典鑑賞講座） | 角川書店 | 34・8 |
| 能——近代芸能への道—— | 芸能 | 35・2 |
| 信州文化財風土記 | 信濃毎日新聞 | 35・3 ～ 4 |
| 花 と 芸 能 | 国華会報 | 35・7 |
| 民俗芸能のしるべ | 芸術舞踊 | 35・4～ 36・10 |
| 舞台と作り物 | 古典の窓 | 35・9 |
| 民 俗 芸 能——その伝承者たちの職業化—— | 芸能 | 37・7 |
| 山の伝承者 | 民俗芸能 | 37・9 |
| 師走の民俗信仰 | 中部日本新聞 | 38・12 |
| 郷土芸能の季節 | 芸能 | 39・1 ～ 3 |
| 鯨 の 神 楽 | 帖面 | 39・4 |
| 俳句大歳時記（芸能項目） | 角川書店 | 39～40 |
| 日本舞踊の歴史 | 演劇界 | 40・7 |
| 津和野の鷺舞 | 朝日ジャーナル | 40・7 |
| 民俗芸能と日本人（古典への招待） | 東出版 | 40・10 |

| | | |
|--------------------|---------------|---------------|
| 祭の古面 | 朝日ジャーナル | 41・1 |
| ④はだか祭考 | 房総文化研究会 | 33・4 |
| 沖繩の祭祀と芸能 | 房総文化研究会 | 33・10 |
| 沖繩芸能の現状と将来 | 民俗芸能の会 | 33・11 |
| 郷土芸能における童児の芸能 | 房総文化研究会 | 34・4 |
| 翁の発生について | 折口博士記念会 | 34・6 |
| 冬の芸能・春の芸能 | 房総文化研究会 | 34・11 |
| 南島の芸能 | 東洋音楽学会 | 34・1 |
| 万葉集における芸能要素 | 万葉学会 | 35・3 |
| 神楽の意義と系統 | 房総文化研究会 | 36・2 |
| 芸能の中の万葉集 | 房総文化研究会 | 37・7 |
| 沖繩の旅 | 房総文化研究会 | 37・10 |
| 鬼来迎をめぐって | 房総文化研究会 | 39・12 |
| 民謡と民俗学 | 慶応義塾大学言語文化研究所 | 41・1 |
| 民謡研究の歴史 | 慶応義塾大学言語文化研究所 | 41・2 |
| ⑤沖繩の芸能と日本の芸能 | 沖繩文化協会 | 33・9 |
| 郷土芸能について | 武生市南越文化協議会 | 34・3 |
| 日本芸能の流れ(華道学術講座) | 国学院大学 | 34・7 |
| 古代の芸能(古典講座) | 国学院大学 | 34・7 |
| 豊年祭 | NETテレビ | 34・9 |
| 日本の祭(華道学術講座) | 国学院大学 | 34・11 |
| 雪祭 | NETテレビ | 35・2 |
| ふるさとの民謡 | 東京放送 | 35・3 ~36・4 |
| 三番叟の話 | 東京放送 | 36・5 |
| 芸能の古代的要素(古典講座) | 国学院大学 | 36・7 |
| 日本芸能の流れ(華道学術講座) | 国学院大学 | 36・11 |
| 近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会 | NHKテレビ | 36・12 |
| 関東ブロック民俗芸能大会 | NHKテレビ | 37・4 |
| 東北ブロック民俗芸能大会 | NHKテレビ | 37・9 |

IV 調 査 研 究

| | | |
|-----------------------------|--------------|---------------|
| 奄美の芸能 | 東京放送 | 37・10 |
| 下北の山伏神楽 | ニッポン放送 | 38・7 |
| 沖縄の芸能 | 沖縄県人会 | 38・7 |
| 上方の人と芸 | 大阪華道会館 | 38・7 |
| 四国・中国ブロック民俗芸能大会 | NHKテレビ | 38・11 |
| 日本民俗芸能の系譜 | 房総文化研究会 | 39・1 |
| 歌垣の民俗(古典講座) | 国学院大学 | 39・7 |
| 民俗舞踊とその生かし方(舞踊家のための研修指導講習会) | 広島市・福岡市 | 39・7 |
| 歌舞伎舞踊の源流(舞踊家のための研修指導講習会) | 第一証券ホール | 39・8 |
| 盆 踊 | NHKラジオ | 39・8 |
| 芸能のふるさと | 信越放送テレビ | 39・9 |
| 民俗芸能について(秋田県文化財講習会) | 秋田県峰浜村・男鹿市 | 39・11 |
| 神 楽 能(研究所開所記念行事) | 東京文化会館 | 39・12 |
| 民 俗 芸 能 | FM東海 | 40・1 ～12 |
| 日本の笑い(華道学術講座) | 国学院大学 | 40・4 |
| 民俗芸能の生かし方(舞踊家のための研修指導講習会) | 福島市・新潟市 | 40・7 |
| 民間信仰とその芸能 | FM東海 | 41・1～ |
| 郷土芸能再発見 | NHKテレビ | 41・2 |
| 東京の古謡 | ニッポン放送 | 41・2 ～3 |
| ⑥映画「日本の祭」1～4部(制作協力) | 東映教育映画 | 33・6 ～34・4 |
| 日本民俗博覧会(監修) | 宝塚ファミリーランド | 34・3 ～5 |
| 日本郷土芸能研究会「日本民俗舞踊集」(考証・協力) | 宝塚大劇場 | 34・3～ |
| 文化財記録映画「山伏神楽」(構成) | NHK文化財ライブラリー | 36・11 |
| 文化財記録映画「田遊」(構成) | NHK文化財ライブラリー | 37・3 |
| 文化財記録集「坂部の冬祭」(監修) | 長野県教育委員会 | 37・3 |
| 文化財記録映画「鬼来迎」(構成) | NHK文化財ライブラリー | 38・9 |
| レコード「日本民俗芸能の系譜」(編集・解説) | 日本コロムビア | 38・11 |
| 文化財記録映画「稲霊がなし」(監修) | NHK文化財ライブラリー | 40・10 |

| | |
|---------------------|--------------------|
| 文化財記録映画「諸鈍芝居」(監修) | NHK文化財ライブラリー 40・10 |
| レコード「沖繩芸能総攬」(編集・解説) | 日本コロムビア 40・11 |
| 文化財記録映画「西浦の田楽」(監修) | NHK文化財ライブラリー 41・3 |

池田 彌三郎(非常勤)

| | |
|----------------|--------------|
| ①日本芸能伝承論 | 中央公論社 37 |
| ことばの文化 | 河出書房 39 |
| ⑤日本の芸能 | NHKテレビ 35～40 |
| ⑥民俗文学講座 全6巻(編) | 弘文堂 35 |
| 民謡歴史散歩 全4巻(編) | 河出書房 38 |
| 日本の民俗 全11巻(編) | 河出書房 39～40 |

3 保存科学部

A 研究題目

題目のつぎの括弧内の数字は年度を、共は共同研究題目を示す。

化学研究室

岩崎 友吉(化学研究室長)

〔I〕文化財の保存のための薬剤の研究(33～)

- (1) 絵画保存修理用の合成樹脂(共)
- (2) 遺跡および発掘品保存用の薬剤(共)
- (3) 防虫防霉剤, 防錆剤
- (4) 撓水剤
- (5) 接着剤, 強化剤
- (6) 擬石, 人工木材
- (7) 文化財建造物の精密修理に伴う科学的処置(35～36, 共)

〔II〕 文化財の保存技術に於ける化学的研究 (33～)

- (1) うるし、糊葉等の表面の物質的変壞
- (2) 漂白の方法
- (3) 発掘現場に於ける応急処置
- (4) 超音波と合成樹脂による発掘品の清掃
- (5) 凍結乾燥の発掘品保存への応用
- (6) 収蔵庫内の化学的影響
- (7) 老化試験

〔III〕 文化財、材質の研究 (33～)

古代ガラスの研究

和紙の研究

絵画資材の研究

〔IV〕 伝統的保存技術の研究 (37～, 共)

江 本 義 理

〔I〕 文化財の材質に関する研究

- (1) 非破壊分析法による材質研究
 - a) 放射化分析法による研究 (33～)
 - b) 蛍光X線分析法による研究 (33～)
 - c) X線回折分析法による研究 (35～)
- (2) 少量・微量試料による分析法の検討 (33～)
 - a) 発光分光分析, 放射化分析など
- (3) 古代金属器の材質及び技法の研究 (33～)
 - a) 青銅器の研究
 - b) 古代釘及鉄製品の研究
- (4) 陶磁器, 顔料などの材質研究 (33～)
- (5) 変質, 劣化に関する研究 (33～)
 - a) 金属製品の腐食生成物
 - b) 石造品, 陶器の変質

- (6) 時代別、地域別標準試料の材質及年代測定に関する基礎資料の蒐集 (33～)
- (7) 文化財建造物の精密修理に伴う科学的処置 (35～36共)

〔Ⅱ〕 空気汚染の文化財に及ぼす影響

- (1) 汚染度の測定 (33～, 共)
 - a) 亜硫酸ガスの測定
 - b) 硫化水素の測定
- (2) 大気腐食に関する研究 (35～)
 - a) 曝露金属試片による汚染因子と腐食度及び腐食生成物の研究
 - b) 防 除 法
- (3) 影 響 調 査 (33～)
- (4) 大気汚染に関する基礎的研究——主として標準測定法の研究ならびに汚染の成因, 挙動の化学的究明 (39～40)

樋 口 清 治 (昭和37年11月1日就職)

〔Ⅰ〕 文化財の保存に用いる合成樹脂に関する研究

- (1) 剥落どめ等に用いる変性アクリルエマルジョンの合成法の研究
- (2) 合成樹脂接着剤の変性および性能に関する研究
- (3) 人工木材および擬石の研究

〔Ⅱ〕 文化財の保存修理に合成樹脂を応用する研究 (共)

- (1) 合成樹脂を用いた出土品の保存法の研究
- (2) 合成樹脂を用いた遺跡保存法の研究
- (3) 脆弱化した石材, 鉄材, 木材等の合成樹脂による強化法
- (4) 平城宮跡出土の木簡保存処置および出土木材変色防止の研究
- (5) 湿潤状態にある遺跡出土品の強化保存処置の研究

門 倉 武 夫

〔Ⅰ〕 空気汚染の文化財におよぼす影響

- (1) 汚染度の測定 (33～共)
 - a) 亜硫酸ガスの測定

- b) 金属の反射率測定
- c) 硫化水素の測定
- d) 陳列室内の汚染度の測定

物 理 研 究 室

登 石 健 三 (物理研究室長)

〔I〕 空気汚染に関する研究

- (1) 外気の汚染の分布
 - a) 正倉院及び東博内外の汚染の比較研究 (33～)
- (2) 研究室内に発生する汚染
 - a) 観覧者による炭酸ガスの影響 (33～)
 - b) 新しいコンクリート壁よりの被害 (39～)

〔II〕 材質劣化に関する研究

- (1) 変褪色の研究
 - a) 染織品の褪色 (33～34)
 - b) 岩絵具の褪色 (33～39)
 - c) 褪色防止フィルターの研究 (33～)
- (2) 材質変化
 - a) 絹の変質 (39)
 - b) 紙の強度低下 (39)
 - c) 紫外線による漆の劣化 (40)
- (3) 装 法
 - a) 軸装・額装の比較 (38～39)

〔III〕 光学的方法による古美術品の調査研究

- (1) ガンマー線による金属製品の透視研究 (33～)
 - a) 金 銅 仏
- (2) X線による透視研究
 - a) 木 彫 (37～39)

- b) 建造物部材 (36~39)
 - c) 文化財建造物の精密修理に伴う科学的処置 (35~36, 共)
- (3) 塑像の透視研究 (37~39)
- (4) 顕微鏡による研究
 - a) 古瀬戸表面の研究 (36)
 - b) 漆層の研究 (38)
- (5) 空洞内視鏡
 - a) 仏像体内銘撮影 (37)
- (6) 分光法による材質分析 (33~)
- 〔IV〕 水分又は湿度調節
 - (1) 地下水の制御 (33)
 - (2) 空気相対湿度の調節
 - a) 密閉梱包内の湿度調節 (33~35)
- 〔V〕 文化財の写真記録
 - (1) 正射投影写真法 (36)
 - (2) 正射投影等高線写真法 (37~38)
 - (3) フォトマップ (39~)
- 〔VI〕 電磁気に関する研究
 - (1) 残留磁気
 - a) 古瀬戸の年代決定 (36)
 - (2) 青銅の錆の一因 (38)
- 〔VII〕 文化財の輸送と梱包 (40~)
 - (1) 梱包方法の研究
 - (2) 木材、材種による吸放湿特性

見 城 敏 子

- 〔I〕 空気汚染に関する研究
 - (1) 室内に発生する汚染 (共)
 - a) 観覧者による炭酸ガスの影響 (33~)

〔I〕 材質劣化に関する研究

(1) 変褪色の研究

- a) 染織品の褪色 (33~34)
- b) 岩絵具の褪色 (33~39)
- c) ~~褪色~~ 褪色防止フィルターの研究 (33~)
- d) うるし劣化の研究 (39)

〔II〕 湿度調節

(1) 空気相対湿度の調節 (共)

- a) 密閉梱包内の湿度調節 (33~35)

〔III〕 文化財の輸送と梱包 (共)

- (1) 梱包方法の研究
- (2) 木材、材種による吸放湿特性

石川 陸郎

〔I〕 光学的方法による古美術品の調査研究 (共)

(1) ガンマー線による金属製品の透視研究

- a) 金 銅 仏 (33~)

(2) X線による透視研究

- a) 木 彫
- b) 古 瀬 戸 (36)
- c) 建造物部材 (36~)
- d) 美術刀剣及び古鏡 (38~)

(3) 塑像の透視研究 (37~)

(4) 空洞内視鏡

- a) 仏像体内鉛撮影 (37~40)

〔II〕 文化財の写真記録 (共)

(1) 正射投影写真法 (36~)

(2) 正射投影等高線写真法 (37~38)

(3) フォトマップ (39~)

〔III〕 電磁気に関する研究 (共)

〔1〕 残留磁気

a) 古瀬戸の年代決定 (36)

(2) 青銅の錆の一因 (38~39)

呉 屋 充 庸 (非常勤, 昭和40年3月退職)

〔I〕 密閉梱包内の湿度調節 (共)

〔II〕 日本顔料に対する強照明の影響 (共)

〔III〕 吸湿材を使用した湿度計の試作

〔IV〕 オーソカメラによる撮影法 (共)

〔V〕 残留磁気による陶器の年代決定 (共)

〔VI〕 正射投影等高線写真法

生 物 研 究 室

江 本 義 数 (非常勤)

〔I〕 国宝, 重要文化財建造物の微害と防除 (33~)

(1) 空中微生物, 殊に糸状菌の採取 (空気汚染)

a) 菌の純粋培養, 種の決定

b) 菌の諸物質 (紙等) に対する影響

(2) 腐朽木材から菌の分離培養, 種の決定

(3) 空中糸状菌の防除

(4) 腐朽菌の防除

(5) 文化財建造物の精密修理に伴う科学的処置 (33~36, 共)

〔II〕 国宝, 重要美術品の微害と防除 (33~)

菌の分離, 純粋培養, 種の決定

菌の繊維素, 絵絹等に対する影響

防微及び保存の方法

〔III〕 国宝, 重要文化財建造物の材質の研究 (33~)

顕微鏡的検査

〔IV〕 糸状菌と湿度の関係 (39~)

IV 調 査 研 究

修 理 技 術 研 究 室

立 田 三 朗 (修理技術研究室長, 昭和37年10月1日就職)

- 〔I〕 鑄鉄工芸品の製作及修理技術の研究 (37)
- 〔II〕 紙胎漆器の製作及修理技術の研究 (37共)
- 〔III〕 文化財の保存に関する修理技術の研究 (37)
- 〔IV〕 文化財の伝統的修理技法の調査研究 (37)
- 〔V〕 合成樹脂による文化財の修理技術の研究 (37~共)
- 〔VI〕 蛍光X線分析による材質調査をもととする文化財の製作及修理技法の研究
- 〔VII〕 冠玉固着或は変形せる書画軸の展開法についての研究 (37~共)
- 〔VIII〕 慶長以前の鋳物師の研究 (38~)
- 〔IX〕 中尊寺金色堂部材の調査研究 (39~)

毛 利 登 (前修理技術研究室長, 昭和37年10月1日就職, 昭和38年3月31日退職)

- 〔I〕 文化財の保存に関する修理技術の研究
 - (1) 布糊による表装の研究

中 里 寿 克 (昭和39年1月1日就職)

- 〔I〕 文化財の伝統的修理技法の調査及記録作成 (39~)
金工品, ~~漆~~工品, 皮製品
- 〔II〕 中尊寺金色堂部材の調査及研究 (39~)
漆工, 螺鈿, 金工
- 〔III〕 中世漆芸品の調査研究 (39~)

茂 木 曙

- 〔I〕 合成樹脂による絵画の剥落どめ (35~)

B 調査研究活動

年・月、場所、内容の順序に記し、末尾に共同調査^者等を付載。括弧内の氏名は所外者。場所の記入のないものは研究所内で行われたもの。

化学研究室

岩 崎 友 吉 (化学研究室長)

- | | | | |
|--------------|-----------------|-------------------------|----|
| 33・4 | 長野県穂高町 碓氷博物館 | 彫刻原型の保存 | |
| 33・5 | 茨城県竜ヶ崎町 | 丸木舟(出土品)の保存 | |
| 33・7 | 長野県阿南町妙法寺 | ミイラ保存調査 | 茂木 |
| 33・9 ~12 | 浜松市 蜷 塚 | 遺跡保存 | 茂木 |
| 33・ | 東京国立博物館 | 欧州巡回日本美術展防微処置 | 茂木 |
| 33・9 | 岡崎市 大 樹 寺 | 障壁画剥落どめ | " |
| 34・ | 東京都 増 上 寺 | 徳川家墓地発掘 | |
| 34・2 ~3 | 高知市 高 知 城 | 防虫処置調査 | |
| 34・2 | 三島市 楽 寿 館 | 格天井絵画保存調査 | |
| 34・2 ~11 | 浜松市 蜷 塚 | 遺跡保存 | 茂木 |
| 34・6 | 日光市 輪 王 寺 | 収蔵庫殺虫(天海蔵) | |
| 34・6 | 東京都書道博物館 | 殺虫 | 茂木 |
| 34・8 ~10 | 福山市 明 王 院 | 五重塔内部彩色剥落どめ | " |
| 34・7 ~12 | 奈良市 円 成 寺 | 本堂内部 | " |
| 35・3 | 奈良市 円 成 寺 | | " |
| 35・2 ~3 | 京都府 海住山寺 | 五重塔内部彩色剥落どめ | " |
| 35・2 ~10 | 浜松市 蜷 塚 | 遺跡及遺物保存 | " |
| 35・4 | 滋賀県 西 明 寺 | 五重塔内部彩色剥落どめ | " |
| 35・4 36・3 | | 建造物精密修理に関する研究(文部省、試験研究) | " |
| 35・6 | 宇治市 万 福 寺 | 木額、柱聯剥落どめ | " |
| 35・6 | 福山市 明 王 院 | 五重塔保存処置 | " |

IV 調 査 研 究

| | | | | |
|----------------|---------|------|---------------------------|--------------------|
| 35・7 ~9 | 茨城県 | 岩井町 | 丸木舟(出土品)保存 | " |
| 35・7 | 横浜市 | 金沢文庫 | 殺虫 五重塔剝落 | |
| 35・7 | 福山市 | 明王院 | 殺虫 五重塔剝落 | |
| 35・8 | 熊本市 | 舟屋形 | 内部剝落どめ | " |
| 35・9 | 鎌倉市 | 高德院 | 銅像阿弥陀如来坐像 強化プラスチック施工調査 | |
| 35・9 | . | . | 薬師寺所蔵絵画吉祥天保存処置に関する調査 | |
| 35・10 | 京都市 | 東照宮 | 内部彩色剝落どめ | 茂木 |
| 35・10 | 山梨県 | 美和神社 | 木彫殺虫 | |
| 35・11 | 滋賀県 | 西明寺 | 三重塔内部彩色剝落どめ | 茂木 |
| 35・12 | 京都市 | 京博他 | 化学的修理諸結果の調査 | |
| 35・12 36・3 | . | . | 古瀬戸調査(永仁銘瓶子関係) | 江本, 登石, 中 川(美工) |
| 36・3 | 国立西洋美術館 | | 松方コレクション開梱の際の被害調査 | |
| 36・5 | 焼津市 | 旭伝院 | 収蔵庫殺虫 | |
| 36・6 ~12 | 成田市 | 霊光館 | 絵画剝落どめ | 茂木 |
| 36・7 | 岩手県 | 中尊寺 | 金色堂修理調査 | |
| 36・7 | 宇治市 | 万福寺 | 剝落どめ(前出) | 茂木 |
| 36・10 | 浜松市 | 観塚 | 遺跡保存 | " |
| 36・11 ~37・1 | 大船渡市 | | 出土資料保存 | |
| 36・12 ~37・3 | 奈良市 | 霊山寺 | 三重塔内部剝落どめ | 茂木 |
| 36・11 ~37・3 | 大阪市 | 難波宮跡 | 遺跡保存 | |
| 37・1 ~3 | 京都府 | 海住山寺 | 五重塔内部彩色剝落どめ | 茂木 |
| 37・1 ~3 | 熊本市 | 舟屋形 | 内部彩色剝落どめ | " |
| 37・1 | 京都市 | 南禅寺 | 三門内部剝落どめのための調査 | |
| 37・7 | 京都市 | | 剝落どめ結果調査 | |
| 37・2 ~3 | 福山市 | 明王院 | " " | |
| 37・5 ~12 | 広島県 | 向上寺 | 三重塔内部彩色剝落どめ | 茂木 |
| 37・6 | 平塚市 | 光明寺 | 仏像殺虫のための調査 | |
| 37・7 | 奈良県 | 法隆寺 | 金剛力士像殺虫 | |

| | | | |
|----------------|------------------|---|--------|
| 37・7 ～10 | 成田市 霊光館 | 絵画剥落どめ | 茂木 |
| 37・8 ～38・1 | 宇治市 万福寺 | 木額, 聯剥落どめ | ● |
| 37・9 | 宇都宮市 大谷寺 | 磨崖仏修理委員会 | |
| 37・10 | 神奈川県箱根神社 | 鉄釜調査 | 立田 |
| 37・11 | 伊勢市 伊勢神宮 | 絵画保存のための調査 | |
| 37・11 ～38・3 | 津山市 | 化石保存 | |
| 37・12 | 尾張一ノ宮市 | たたら跡の保存 | 樋口, 茂木 |
| 38・1 ～39・1 | 静岡市 久能山東照宮 | 彩色剥落どめ | ● |
| 38・2 | 奈良市 興福寺 | 北円堂内部彩色剥落どめ | ● |
| 38・2 ～3 | 熊本市 舟屋形 | 内部彩色剥落どめ | 茂木 |
| 38・3 | 臼杵市 | 宝篋塔石材接着 | |
| 38・3 | 横須賀市防衛大学 | 図書館殺虫 | |
| 38・5 | 東京国立博物館 | エジプト美術5000年展 イクナトン頭首保存 処置 | |
| 38・6 | 東京都 増上寺 | 経蔵殺虫 | |
| 38・8 | 福井市 | 発掘品保存 | |
| 38・9 | | 中国永楽宮壁画展随員と保存処置に関する意 見交換 | |
| 38・11 | 東京都 東洋理化学工業 | 彩色老化試験の実施 | 樋口 |
| 38～41 | 横浜市 三殿台 | 遺跡保存 | ● |
| 39・3 | 久能山 東照宮 | 彩色剥落どめ | 樋口, 茂木 |
| 39～40 | ベルギー 王立文化財研究所 | (ユネスコ給費生として研究所客員となる) 日本の文化財保存及び特殊技術についての講 義 | |
| " | " | 講習生の指導(木材強化に関する研究グルー プ等) | |
| " | " | 絵画, 彫刻, 工芸品等全般に亘る保存処置の 調査 | |
| " | " | 文化財, 発掘現場, 展覧会, 博物館等の調査 | |
| " | " | 文化財に関する技術的文献収集 | |
| " | " | 古代ガラスに関する文献収集 | |

江 本 義 理

- 33・4 東 工 試 等 京都醍醐寺五重塔相輪の材質調査

VI 調 査 研 究

| | | | |
|----------------|------------------------------|------------------------------------|------------------|
| 33・8 | | 空気汚染度の調査 亜硫酸ガス測定（フクシ ンフォルミン法）開始 | 門倉 |
| 35・3 ～ | 上野公園 都下（府中、八王 子）等 | 空気汚染度の調査 亜硫酸ガス測定（過酸化 鉛法）開始（月平均） | 〃 |
| 35・3 | 岡山県 西大寺市 | 岡山県西大寺観音院大気汚染調査 | |
| 35・9～ 36・10 | 〃 | 空気汚染度調査 過酸化鉛法 | 門倉 |
| 35・4 ～37・3 | | 建造物精密修理に関する研究 | |
| 35・12 ～36・3 | 東 博・東 大 等 | 古瀬戸調査（永仁銘瓶子に関する） | 岩崎，登石，中 川（美工） |
| 36・3 | 岩国市 | 岩国錦帯橋調査 | |
| 36・7 | 鎌倉及び研究室 | 鎌倉大仏 材質及び腐食生成物調査 | |
| 36・11 ～37・1 | 東 博・研 究 室 | フランス美術展，陳列室の空気汚染調査 | 門倉 |
| 36・12 ～ | 箱 根 美 術 館 | 箱根美術館 空気汚染度及び影響有無調査 | |
| 37・2 | | 栃木県，木幡神社建築彩色調査 | |
| 37・7 | | 広島県，向上寺建築彩色調査 | |
| 37・8 | 浅 草 寺 | 浅草寺 空気汚染影響調査 | |
| 37・9 | | 東京都，浅草神社建築彩色調査 | |
| 39・3 ～ | 横浜市 三 溪 園 | 三溪園 空気汚染度調査（過酸化鉛，金属腐 食）開始 | 門倉 |
| 39・3 ～ | 上野公園，都下等 | 金属板による大気腐食調査開始 | |
| 39・4 ～ | | 中尊寺金色堂修理に伴う調査 金工品 漆工 品 金箔金粉など | |
| 39・4 ～ | | 唐招提寺牛皮華蔓彩色調査 | |
| 39・4 | | 法隆寺仁王像彩色調査 | |
| 39・8 | | 東博 法隆寺献納御物宝物庫 空気調査 | 門倉 |
| 39・12 | 京都市 清水 寺 京博等 平 等 院 宇治市 | 京都地区，空気汚染影響調査及汚染度測定開 始 | 〃 |
| 39・4 ～41・3 | | 大気汚染に関する基礎的研究 | 門倉 |
| 40・4 | | 姫路市 広峯神社建築彩色調査 | |
| 40・4 | | 中尊寺金色堂修理に伴う調査 ガラス 釘 漆工材料等 | |
| 40・4 ～ | 栃木県 宇都宮市 | 大谷寺磨崖仏の「いわしお」及び大谷石の変 質調査 | |

| | | | |
|---------------|----------|------------------------------|------|
| 40・5 | 京都・各地区 | 空気汚染による影響調査 | 門倉 |
| 40・5 | 彦根市・研究室 | 千代神社建築彩色調査 | |
| 40・5 | “・” | 千代神社粉塵被害調査 | |
| 40・4 | | 中国紀年銘鏡調査 | (西田) |
| 40・7 ~ | 奈良市 平城官跡 | 出土木製品調査および保存処置 | 樋口 |
| 40・7 | 箱根美術館 | 空気汚染の影響調査 | |
| 40・8 ~41・3 | 群馬県 尾島町他 | 世良田東照官鉄灯籠破損状況および材質調査 保存処置 | 樋口 |
| 40・9 ~ | 奈良市 東大寺 | 梵鐘調査 | |
| 40・11 | 登呂遺跡 | 出土木器試料採取 | |
| 40・11 | 岡山県西大寺市他 | 空気汚染による影響調査 | 門倉 |
| 41・3 | 茨城県 勝田市 | はにわ窯跡調査 | |

樋口清治(昭和37年11月1日就職)

| | | | |
|----------------|----------------|------------------|--------|
| 38・9 | 尾張一宮市 | たたら炉遺構保存処置 | 岩崎, 茂木 |
| 39・2 ~3 | 静岡県 久能山東照宮 | 建築彩色剥落止め | “ ” |
| 39・3 ~ | 奈良 国立文化財研究所 | 出土木製品保存処置の研究 | 岩崎 |
| 39・3 | 奈良 興福寺 | 北円堂壁体の保存処置 | 岩崎, 茂木 |
| 39・4 | 御殿場市 | 石灯籠保存処置 | 岩崎 |
| 39・4 ~6 | 日光市 | 日光二荒山神社出土鉄器の保存処置 | “ |
| 39・5 | 浜松市 | 蜆塚遺跡貝塚の保存処置 | 岩崎, 茂木 |
| 39・9 | 横浜市 | 横浜三溪園障壁面剥落止 | 岩崎, 茂木 |
| 39・9 | 奈良 薬師寺 | 薬師寺東塔内部彩色剥落止め | 岩崎, 茂木 |
| 39・12 | 吉野 水分神社 | 建築彩色剥落止め | 岩崎, 茂木 |
| 39・12 ~40・2 | 奈良 般若寺 | 般若寺十三重塔(石塔)の修理 | 岩崎, 茂木 |
| 40・2 ~3 | 日光 本地堂 | 焼損材補修材料の研究 | 岩崎 |
| 40・5 | 宮城県 一迫市 | 出土漆器の保存処置 | |
| 40・6 | 千葉県 成田山霊光館 | 絵馬彩色剥落どめ | 茂木 |
| 40・7 ~10 | 奈良県 平城宮跡 | 出土木製品保存処置指導 | |

IV 調 査 研 究

| | | | |
|---------------|----------|-------------------|------------|
| 40・12 | " | 出土木樋現地保存調査 | 岩崎 |
| 40・8 ～41・3 | 群馬県 世良田 | 重文世良田東照宮鉄灯籠保存修理調査 | 江本 |
| 40・10 | 静岡県 浜松市 | 貝層保存処置調査 | 岩崎, 茂木 |
| 40・10 | 神奈川県 鎌倉市 | 重文覚園寺宝篋印塔修理調査 | 岩崎, 立田 |
| 40・11 | 静岡県 浜松市 | 貝層保存処置 | 岩崎, 茂木 |
| 41・1 | 大阪府 箕面市 | 銅鐸出土跡保存処置 | 岩崎 |
| 41・2 | 大阪府 尼ヶ崎市 | 田能遺跡出土品保存処置 | 岩崎 |
| 41・3 | 神奈川県 二宮町 | 古墳壁画保存処置 | 岩崎 |
| 41・3 | 栃木県 日光市 | 輪王寺蔵延年舞人形彩色剥落どめ | |
| 40・1 ～41・3 | 神奈川県 横浜市 | 三殿台遺蹟保存処置 | 岩崎 |
| 39・8 ～41・3 | 奈良市 | 葉師寺東塔内部剥落どめ | 岩崎, 茂木 |
| 40・10 ～ | | 為替バンク三井組柱頭保存処置 | 立田, 中里, 茂木 |

門 倉 武 夫

| | | | |
|----------------|-----------------|------------------------|----|
| 33・7 | 東 工 試 | 京都醍醐寺五重塔相輪試料スペクトル分析 | 江本 |
| 33・8 ～36・1 | | 亜硫酸ガス測定 (フクシン・ホルマリン法) | " |
| 35・3 ～ | 上 野 公 園 | 公園内11ヶ所亜硫酸ガス測定 (過酸化鉛法) | " |
| 35・3 ～ | 東京都 府中市 八王子市 | 亜硫酸ガス測定 (過酸化鉛法) | " |
| 35・9 ～36・10 | 岡山県 西大寺 | 亜硫酸ガス測定 (過酸化鉛法) | " |
| 36・8 | | 鎌倉大仏修理の際採取した試料の比重測定 | |
| 36・11 ～37・1 | 東京国立博物館 | フランス展会場内の炭酸ガス測定 | " |
| 37・1 ～2 | | 亜硫酸ガス測定 (フクシン・ホルマリン法) | " |
| 38・1 | | 亜硫酸ガス測定 (フクシン・ホルマリン法) | " |
| 38・1 ～2 | 浅 草 寺 | 亜硫酸ガス測定 (フクシン・ホルマリン法) | " |
| 38・1 ～ | 京都 国立博物館 | 亜硫酸ガス測定 (過酸化鉛法) | " |
| 38・4 | 浅 草 寺 | 亜硫酸ガス測定 (フクシン・ホルマリン法) | " |
| 39・3 ～ | 横浜 三 溪 園 | 亜硫酸ガス測定 (過酸化鉛法) | " |
| 39・3 ～ | 横浜 三 溪 園 | 金属板 (銀・銅) 暴露試験 | " |

| | | | |
|---------------|------------------|----------------------|----|
| 39・3 ～ | 上野公園 | 金属板（銀・銅）暴露試験 | 江本 |
| 39・3 ～ | 東京都 国分寺市 八王子市 | 金属板（銀・銅）暴露試験 | 〃 |
| 39・4 ～41・3 | | 大気汚染に関する基礎的研究 | 〃 |
| 39・12 ～ | 新宿地区 | 亜硫酸ガス測定（過酸化鉛法） | 〃 |
| 39・12 | 京都地区 | 汚染影響調査 | 〃 |
| 40・3 | 保存科学部 隣 | 空気汚染度の測定（亜硫酸ガス・硫化水素） | 〃 |
| 40・5 | 京都地区 | 空気汚染調査 | 〃 |
| 40・7 | 熱海美術館 | 亜硫酸ガス，硫化水素測定 | 〃 |
| 40・7 | 箱根美術館 | 亜硫酸ガス，硫化水素測定 | 〃 |
| 40・7 | 平等院 | 空気汚染度の測定（亜硫酸ガス・硫化水素） | 〃 |
| 40・11 | 岡山県 西大寺 | 空気汚染調査 | 〃 |
| 40・12 | 〃 | 空気汚染度の測定（亜硫酸ガス・硫化水素） | 〃 |

物理研究室

登石健三（物理研究室長）

| | | | |
|----------------|---------|-------------------|-------------|
| 33・4 ～39・3 | 法隆寺 | 焼損壁面処理後の変色等測定 | 石川 |
| 33・6 | 福岡県 | 古墳壁画保存調査 | |
| 33・11 | 東京国立博物館 | ゴッホ展会場汚染調査 | 見城 |
| 34・4 ～36・3 | 鎌倉 倉 | 大仏の修理に伴う調査研究 | 久野，猪川，橋本，石川 |
| 34・10 | 東京国立博物館 | 正倉院展照明光源処置 | 見城，石川 |
| 35・8 | 鎌倉 倉 | 大仏壁体温度測定 | 呉屋，石川 |
| 35・9 | | 薬師寺吉祥天保存処置 | |
| 35・12 ～36・3 | | 永仁銘瓶子関係 | 江本 |
| 36・3 | 西洋美術館 | 松方コレクション荷解き立合調査研究 | |
| 36・3 | 鎌倉 覚園寺 | 建材虫害のX線透視研究 | 石川 |
| 36・8 ～11 | 中尊寺 | X線透視による建造物の精密検査 | 石川 |
| 37・2 ～40・3 | 法隆寺 | 仁王像修理に伴う調査研究 | 橋本，石川 |
| 37・12 | 醍醐寺 | 弥勒像X線透視 | |

IV 調 査 研 究

| | | | |
|----------------|-----------------|-----------------|------------|
| 38・3 | 静岡県 願成就院 | 木彫仏像X線透視 | 久野, 猪川 |
| 38・10 | 横浜 三 溪 園 | 空気汚染 | 門倉 |
| 38・10 ~39・5 | 茨城県 善 空 寺 | 仏像体内銘撮影 | 久野, 猪川, 石川 |
| 39・4 ~40・3 | | 金色堂修理に伴う調査研究 | 石川, 見城 |
| 39・8 | 東京国立博物館 | 法隆寺宝物館調査 | 見城 |
| 39・10 | 三 月 堂 | 執金剛像X線透視 | |
| 39・11 | " | 木彫像 塑像X線透視 | |
| 39・12 | 横 浜 | 神奈川県立博物館建築調査 | |
| 39・12 ~40・1 | 高 島 屋 | 屏風襖絵展会場調査 | |
| 40・4 | | 中尊寺漆材料スペクトル分析 | |
| 40・4 | 京 王 百 貨 店 | 兎鍍展会場調査 | |
| 40・4 | 八 王 子 市 | オリンピック記念名簿の永久保存 | 見城 |
| 40・6 | 東京国立博物館 | 東洋館照明 | |
| 40・7 | " | 米加展梱包 | 見城 |
| 40・7 ~12 | 奈良 東 大 寺 | 梵鐘調査 | |
| 40・9 | | 三井組キャピタルX線調査 | 石川 |
| 40・11 ~41・2 | 東京ギャラリー 羽田空港 | 損傷油絵調査 | |
| 40・12 | 興 福 寺 | 北円堂 四天王X線調査 | 石川 |
| 41・3 | 東京国立博物館 | 17世紀名画展会場内空気調査 | |
| 41・3 | 宮島・奈良・京都 | 収蔵庫調査 | |
| 41・3 | 法 隆 寺 | 焼損壁画調査 | 石川 |

見 城 敏 子

| | | | |
|---------------|---------|-----------------|--------|
| 33・11 | 東京国立博物館 | ゴッホ展会場汚染調査 | 登石 |
| 34・10 | " | 正倉院展照明光源処置 | 登石, 石川 |
| 39・4 ~40・3 | | 金色堂修理に伴う調査研究 | " |
| 39・8 | 東京国立博物館 | 法隆寺宝物館調査 | 登石 |
| 40・4 | | 紫外線による下地うるしの劣化 | 登石 |
| 40・4 | 八 王 子 市 | オリンピック記念名簿の永久保存 | " |

| | | | | |
|------|---|---|----------------|---|
| 40・7 | 東 | 博 | 米加展梱包 | 〃 |
| 41・3 | 〃 | | 17世紀名画展会場内空気調査 | 〃 |

石 川 陸 郎

| | | | | |
|----------------|---------|-----|-------------------|----------------|
| 33・4 ~39・3 | 奈良 | 法隆寺 | 焼損壁画処理後の変色等測定 | 登石 |
| 34・4 ~36・3 | 鎌倉 | 高德院 | 大仏修理に伴う調査研究 | 登石, 久野, 猪川, 橋本 |
| 34・10 | 東京国立博物館 | | 正倉院展照明光源処置 | 登石, 見城 |
| 35・8 | 鎌倉 | 高德院 | 大仏壁体の温度測定 | 登石, 呉屋 |
| 35・12 ~36・3 | | | 永仁銘瓶子に関するX線透視 | 登石 |
| 36・3 | 鎌倉 | 覺園寺 | 建材虫害のX線透視研究 | 〃 |
| 36・8 ~11 | 平泉 | 中尊寺 | X線透視に依る建造物の精密検査 | 〃 |
| 37・2 ~40・3 | 奈良 | 法隆寺 | 仁王像修理に伴う調査研究 | 登石, 橋本 |
| 38・4 | 芦名 | 浄楽寺 | 木彫像胎内物X線透視調査 | 久野, 猪川 |
| 38・10 ~39・5 | 茨城県 | 善空寺 | 仏像体内銘撮影 | 登石 |
| 39・4 | | | 金色堂修理に伴う調査研究 | 登石, 見城 |
| 39・7 | | | 唐招提寺牛皮華蔓X線透視調査 | |
| 40・8 | 神奈川 | 光伝寺 | 仏像体内銘撮影 | 登石 |
| 40・9 | | | 為替バンク三井組キャピタルX線調査 | 〃 |
| 40・12 | 奈良 | 興福寺 | 北円堂四天王X線調査 | 〃 |
| 41・3 | 〃 | 法隆寺 | 金堂焼損壁画調査 | 〃 |

呉 屋 充 庸 (非常勤 昭和40年3月退職)

| | | | | |
|------|---|---|-------------|--------|
| 36・9 | 鎌 | 倉 | 大仏銅壁温度上昇の測定 | 登石, 石川 |
|------|---|---|-------------|--------|

生 物 研 究 室

江 本 義 数 (非常勤)

| | | | |
|----------------|-------------------|-------------------------|--|
| 33・4~ 39・10 | 日光東照宮, 二荒山神社, 大猷院 | 国宝・重文建造物の被害と防除, 空気汚染の研究 | |
| 33・11 | 東京国立博物館 | ゴッホ展陳列室の空気汚染調査 | |

IV 調 査 研 究

- 33・12 欧州巡回日本美術展出品物梱包布の微害調査
- 35・10 コプト織の微害調査
- 35・9 奈良薬師寺吉祥天像の微害調査と防除
- 35・7 奈良 法 隆 寺 金堂焼損壁体の微害調査と防除
~39・6
- 36・3 西 洋 美 術 館 松方コレクション洋画及び梱包の微害調査
- 36・6 奈良 薬 師 寺 金堂の菌害調査
- 36・9 名 古 屋 城 重要美術品の微害調査と防除
~37・5
- 36・12 東京国立博物館 ルーブル美術展陳列室の空気汚染調査
- 37・7 万福寺西湖図(重美)の微害調査
- 37・8 伊勢原在日向薬師 薬師三尊(木彫)の微害調査と防除
- 37・8 中 尊 寺 金色堂の微害調査
- 39・1 高 野 山 国宝重美の微害調査と保存法
~4
- 38・8 東京国立博物館 陳列室の空気汚染
~11 法隆寺宝物館
- 40・7 日光 二社一寺 国宝、重文建造物の微害、防除、空気汚染
~11
- ” 害菌の調査
- 40・7 京都国立博物館 陳列室戸棚その他の微害調査と防除
~8
- 40・7 同上の害菌調査
- 40・9 三井組の柱頭の樹種決定
- 40・7 中尊寺金色堂の部材調査
- 40・11 洋画に発生した菌の研究
- 40・3 分離菌の保存と菌の性質調査
~

修理技術研究室

立 田 三 朗 (修理技術研究室長 昭和37年10月1日就職)

- 37・10 神 奈 川 県 箱根神社鉄大釜調査
~
- 37~ 東 京 都 北多摩南部社寺金工品調査
- 37~ ” 荏原地区梵鐘調査

- 37・12 東京都 台東区浅草宝物調査
 37～ 神奈川県 鎌倉近辺金工品調査
 37～ 東京都 紙胎漆器の製作法及修理技法の調査
 37～ 各地 慶長末年以前の鋳物師の研究
 38～ 各地 鋳物師の研究
 38～40 神奈川県 英勝寺舍利塔修理調査
 38・4 東京都 中央区大観音寺鉄観音大仏頭調査
 38・7
 ～10 " 北多摩及北部社寺金工品調査
 38・4 " 荏原地区梵鐘調査
 38・11 " 台東区寛永寺金工品調査
 38・4 神奈川県 鎌倉市英勝寺宝物調査
 38・8 長野県 松本市社寺等宝物調査
 38・10 岐阜県 梵鐘等調査
 38・10 兵庫県 梵鐘金工品等調査
 38・8 岩手県 中尊寺、金色堂内螺鈿裝飾部等調査
 38・4 神奈川県 鎌倉附近金工品調査
 38・8 宮城、福島 仙台、郡山附近金工品調査
 38・8 神奈川県 鎌倉市金工品等調査
 38・4 中尊寺金色堂解体部材調査
 39・5 茨城県 土浦市他梵鐘、金工品調査
 ～6
 39・6 東京都 西多摩金工品調査
 ～ 都内社寺金工品調査
 39・4 神奈川県 県下社寺金工品等調査
 40～ 群馬県 世良田東照宮、鉄燈篋調査
 40～ 東京都 奥多摩金工品調査
 40～ 千葉県 金工品調査
 40～ 神奈川県 鎌倉及県下金工品の調査

解体修理前の拓
 本作製

拓本作製

IV 調査研究

毛 利 登 (前修理技術研究室長, 昭和37年10月1日就職, 昭和38年3月31日退職)

37 文化財の保存に関する修理技術の研究

(1) 布糊による表装の研究

中 里 寿 克 (昭和39年1月1日就職)

- | | | | |
|------|-----|---------------|--------|
| 39・3 | | 中尊寺金色堂部材の拓本作製 | 立田 |
| 39・3 | | 〃 調査記録 | 〃 |
| 39・4 | | 唐招提寺舍利塔修理記録 | 〃 |
| 39・4 | | 〃 皮製華鬘の模写 | 〃 |
| 40・8 | 奈 良 | 薬師寺東塔の彩色保存 | 植口, 茂木 |
| 40・8 | 京 都 | 知恩院経蔵の 〃 | 〃 〃 |
| 40・3 | | 中尊寺金色堂部材の調査記録 | |
| 40・ | | 中世漆芸品の金銀粉の調査 | |
| | | 平安時代漆芸技法の研究 | |

茂 木 曙

- | | | | |
|----------------|----------|-----------------------|--------|
| 34・7 ~35・3 | 奈良 円 成 寺 | 本堂内陣彩色剥落どめ | 岩崎 |
| 35・5 ~36・3 | 広島 明 王 院 | 五重塔内部彩色剥落どめ及び木材の科学的処置 | 〃 |
| 35・11 ~36・3 | 同 上 | 同上四天柱塗装処置及び天井板彩色保存処置 | 〃 |
| 35・5 ~36・3 | 滋賀 西 明 寺 | 三重塔内部彩色剥塔どめ | 〃 |
| 35・11 ~36・3 | 京都 東 照 宮 | 社殿内部彩色剥落どめ | 〃 |
| 34・11 ~37・3 | 同上 海住山寺 | 五重塔内陣板絵及び彩色剥落どめ | 〃 |
| 36・9 ~37・3 | 奈良 靈 山 寺 | 三重塔内部彩色剥落どめ等科学処置 | 〃 |
| 36・6 ~38・3 | 京都 万 福 寺 | 木額柱聯榜牌等剥落どめ | 〃 |
| 36・9 ~38・3 | 熊本 熊本市内 | 舟屋形内部彩色剥落どめ | 岩崎 |
| 37・11 ~39・3 | 奈良 興 福 寺 | 北円堂内部彩色保存処置 | 岩崎, 樋口 |
| 38・11 ~39・4 | 長崎 崇 福 寺 | 第一峰門彩色剥落どめ | 岩崎 |

| | | | |
|---------------|----------|-------------------|----------------|
| 39・4 ~40・3 | 栃木 日 光 | 本地堂焼損材補修材料の研究 | 種口 岩崎, 種口 |
| 39・5 ~40・3 | 長崎 崇 福 寺 | 三門彩色剥落どめ | 岩崎 |
| 39・5 ~8 | 奈良 般若 寺 | 十三重石塔初重軸石剥落どめ硬化処置 | 岩崎, 樋口 |
| 38・7 ~40・3 | 同上吉野水分神社 | 本殿建築彩色剥落どめ | 岩崎, 樋口 |
| 39・8 ~41・3 | 同上 薬 師 寺 | 東塔内部彩色剥落どめ | 岩崎, 立田, 樋口, 中里 |
| 40・8 ~41・3 | 滋賀 千代神社 | 本殿向拝手狭の保存処置 | 岩崎, 立田, 樋口, 中里 |

C 主 要 研 究 業 績

①は著書, ②は論文, ③は解説, ④⑤研究発表, ⑥は講演, 放送, ⑦はその他等の種別を示し, 題名, 発表場所(発行所, 掲載誌, 講演場所, 放送局等)発表年・月の順序に記す

関 野 克 (所長兼保存科学部長)

| | | |
|-----------------------------|-------------|------|
| ②文化財の保存科学 | 生産研究10—8 | 33・8 |
| 鎌倉大仏頭部の強化プラスチック(FRP)による耐震補強 | 生産研究13—12 | 36・2 |
| X線透視による金色堂の研究 | 建築学会論文報告集81 | 38・1 |
| 文化財保存科学研究概要 | 保存科学 No.1 | 39・3 |

化 学 研 究 室

岩 崎 友 吉 (化学研究室長)

| | | |
|----------------|----------------|-------|
| ①私は国宝修理屋 | 朝日新聞社 | 37・7 |
| 日本人の知恵(共著) | 人物往来社 | 37・6 |
| 蜷塚遺跡の科学的保存処置 | 蜷塚遺跡発掘調査報告書総括篇 | 37・12 |
| ②空気汚染と文化財 | 世界 | 38・1 |
| 文化財の保存と化学者 | 化学と工業 | 38・8 |
| ③紙の保存——書物の防虫法 | 読売新聞 | 33・4 |
| 文化財保存に関する諸問題 I | 博物館研究 | 34・7 |
| “ | “ | 34・12 |
| II | | |

IV 調 査 研 究

③文化財の科学的鑑定と保存の問題

絵画などの保存をめぐる

日本歴史 37・9

萌春 37・6

図書の虫害対策について

びぶろす(国会図書館) 37・10

空気汚染と文化財

世界 38・1

文化財の科学的保存

自然 38・1

博物館協会講習会座談会

東京国立博物館 38・

空気汚染と文化財

朝日新聞 38・5

修理技術者(美術工芸品)養成講習会

東京国立博物館 38・10

文化財の科学的保存について (1)日本の文化財の材質と環境

MUSEUM(東京国博) 37・8

" (2)火災に対する科学的対策 " 37・9

" (3)絵画の保存処置 " 37・12

" (4)遺跡の保存 " 38・1

" (5)空気汚染と文化財 " 38・2

" (6)金属品の保存 " 38・3

" (7)木材のやに " 38・4

" (8)文化財の修理と接着剤(上) " 39・1

" (9) " (下) " 39・2

" (10)文化財の虫害 " 39・3

④油絵具の性能について (I) 紫外線照射の油絵具に及ぼす影響

日本美術家連盟ニュース 33・3

" (II) " 33・6

" 同 上 (続1) " 33・7

" 同 上 (続2) " 33・7

" 油絵具の乾燥の遅速の比較(1) " 33・7

" " (2) " 33・9

膠の変質防止について

" 33・7

大谷磨崖仏保存に関する研究調査報告

文化財保護事務局 34・3

古代ガラスの研究

日本化学会(京都) 34・4

| | | |
|------------------------------|-----------------------|---------|
| ④合成樹脂による先住民遺跡の保存（共著） | 高分子 | 37・ |
| 重要文化財円成寺本堂内陣彩色剥落どめ | 受託研究報告 No. 1 | 35・3 |
| 国宝明王院五重塔内部彩色剥落止本作業及び木材の科学的処置 | " | 2 36・3 |
| 国宝明王院五重塔四天柱塗装処置及び天井板彩色保存処置 | " | 3 36・3 |
| 国宝西明寺三重塔内部彩色剥落どめ | " | 4 36・3 |
| 重要文化財東照宮内部彩色剥落どめ | " | 5 36・3 |
| 国宝海住山寺五重塔内陣板絵及び彩色剥落どめ | " | 6 37・3 |
| 重要文化財靈山寺三重塔内部彩色剥落どめ等科学処置 | " | 7 37・3 |
| 重要文化財万福寺木額、柱聯、榜牌等剥落どめ | " | 8 38・3 |
| 重要文化財舟屋形内部彩色剥落どめ | " | 9 38・3 |
| 国宝興福寺北円堂内部彩色保存処置 | " | 10 39・3 |
| 国宝崇福寺第一峰門彩色剥落どめ | " | 11 39・3 |
| ⑤イタリアに於ける文化財殺虫殺菌に関する文献紹介 | | |
| | 古文化資料自然科学研究会 | 33・2 |
| 絵画資材の科学的研究 | 日本美術家連盟 | 33・2 |
| ポーランドに於ける文化財研究例の紹介 | 古文化資料自然科学研究会 | 33・7 |
| 科学の窓 白あり | NHK | 34・6 |
| 文化財をめぐる人々 | NET | 38・6 |
| 文化財保存用薬剤 | 博物館協会講習会 | 38・7 |
| 文化財をまもる | NHK・TV | 38・11 |
| 化学処理について | 修理技術者養成講習会 | 35・10 |
| " | " | 36・11 |
| " | 第3回 修理技術指導者（建造物）養成講習会 | 38・2 |
| " | 第4回 | 39・8 |
| 文化財の保存（集中講義） | 明治大学 | 39・5 |
| 日本に於ける文化財保存 | ブリュッセル王立文化財研究所 | 39・11 |
| 博物館協会講習会 文化財保存用薬剤 | 東京国立博物館 | 38・7 |
| 日仏交換放送日本の国宝（5回連続） | | |

IV 調 査 研 究

| | | |
|-------------------------------|--------------------------------|-------------------|
| | フランス国際ラジオテレビ大学 | 39・ $\frac{3}{5}$ |
| ⑤絵画資料の化学 | 芸術大学 | 36~40 |
| 日本の文化財保存とその特殊技術 | ベルギー王立文化財研究所 | 39・11 |
| 日本の文化財保存と技術者の養成 | | |
| | 1965 ICOM総会 ニューヨーク, メトロポリタン博物館 | 40・8 |
| ヨーロッパに於ける文化財保存 | 博物館大会総会 | 40・11 |
| ベルギー王立文化財研究所 (ヨーロッパに於ける文化財保存) | | |
| | 古文化資料自然科学研究会 | 40・11 |
| 朝の茶の間 | NHK-TV | 40・11 |
| ベルギー王立文化財研究所概観 | 東京国立文化財研究所美術部 | 41・1 |
| 文化財と分析化学 | 分析化学会総会 | 41・3 |

江 本 義 理

| | | |
|--|--|--------|
| ②X線分析による古文化財の材質研究 | 理学電機ジャーナル Vol. 4, No. 1 | 37・1 |
| Characteristics of Antiques and Art Objects by X-ray Fluorescent Spectrometry. | | |
| | American Chemical Society, Symposium on Ancient and Archaeological Chemistry | 1962・9 |
| 古文化財の材質調査における蛍光X線分析法の応用 | 美術研究 No. 220 | 37・10 |
| 大気汚染の文化財に及ぼす影響 | 古文化財の科学 No. 17 | 38・3 |
| 大気汚染が古文化財に及ぼす影響 | 分析化学 Vol. 12, No. 11 | 38・11 |
| X線分析法による文化財の材質研究 | 保存科学 No. 1 | 39・3 |
| 大気汚染の文化財に対する影響 | 大気汚染 Vol. 1, No. 3 | 40・3 |
| 大気汚染の影響 (三溪園大気中の亜硫酸ガスの測定結果) | | |
| | 神奈川県大気汚染調査研究報告第8報 | 40・12 |
| 大気汚染の測定結果 | 京都市衛生局公害調査報告書 | 41・3 |
| X線分析法による文化財の材質研究第3報 | 保存科学 No. 2 | 41・3 |
| 分析精度向上に関して | | |
| 大谷寺磨崖仏に発生する「いわしお」について | 保存科学 No. 2 | 41・3 |

| | | |
|-----------------------------|-------------------------|-------|
| ③錆びていない法隆寺の釘 | 金属 | 36・4 |
| 文化財の科学的鑑定と保存 | 日本歴史 | 38・9 |
| 文化財の材質研究 | 淡交増刊10 | 37・7 |
| 空気汚染と文化財 | 博物館研究・Vol. 36, 6 | 38・6 |
| 科学的鑑定の方法 | 淡交増刊12 | 38・6 |
| ④放射化分析による古文化財の研究 | 日本化学会第11年会 | 33・4 |
| 砂鉄採鉱及び製鉄法(かんな流し, たたら吹きについて) | 古文化資料自然科学研究会 | 33・6 |
| 蛍光X線分析による文化財の研究 | 日本化学会第14年会 | 36・4 |
| 蛍光X線分析による文化財の研究 | 古文化資料自然科学研究会 | 36・11 |
| 空気汚染と文化財に及ぼす影響 | 古文化資料自然科学研究会 | 37・1 |
| 蛍光X線分析による古文化財の研究 | 日本分析化学会第11年会 | 37・7 |
| 古陶磁の科学的調査 | 美術部研究会 | 37・12 |
| 空気汚染による文化財の被害状況 | 古文化資料自然科学研究会 | 40・3 |
| 横浜三溪園に於ける空気汚染調査 | 古文化資料自然科学研究会 | 40・10 |
| ⑤古文化財の材質調査について | 日本人類学会 | 36・11 |
| 古文化財の非破壊分析 | 非破壊検査協会 | 37・3 |
| 文化財の非破壊分析 | 研究所開所記念日 | 37・10 |
| 非破壊的方法による古文化財の材質研究 | 学術振興会希元素調査第121委員会, 第49回 | 37・11 |
| 文化財の老化現象 | 文化財修理技術者講習会 | 39・9 |
| 防水工法および防錆 | 文化財建造物修理技術者講習会 | 40・9 |
| 修理のための科学研究方法 化学的方法 | 第10回修理技術後継者(美工)養成講習会 | 40・10 |
| 大気汚染と文化財への影響 | 神奈川県博物館協会春季研究会 | 41・3 |

樋口清治(昭和37年11月1日就職)

| | | |
|--------------------|-----------------|------|
| ④国宝興福寺北円堂内部彩色保存処置 | 受託研究報告保存科学部第10号 | 39・3 |
| 重要文化財本地堂焼損材補修材料の研究 | 受託研究報告保存科学部第12号 | 40・3 |

IV 調 査 研 究

④重要文化財般若寺十三重石塔初重軸石剥落止め硬化処置

受託研究報告 保存科学部第14号 40・3

重要文化財吉野水分神社本殿建築彩色剥落どめ

受託研究報告 保存科学部・第15号 40・3

国宝薬師寺東塔内部建築彩色剥落どめ

” ” 第16号 41・3

重要文化財千代神社向拝手挟の保存修理処置

” ” 第17号 ”

⑤特殊工事般若寺及び本地堂修理に於ける合成樹脂について

文保委建造物課
主任者会議 39・12

合成樹脂による硬化と接着

建造物課修理技術者講習会 40・9

門 倉 武 夫

②上野公園内の大気汚染

古文化財の科学 38・3

大気汚染が古文化財におよぼす影響

分析化学 38・11

古文化財と空気汚染の諸問題

産業環境工学 39・10

大気汚染の文化財に対する影響

大気汚染 40・3

三溪園大気中の亜硫酸ガスの測定

神奈川県大気汚染調査研究報告 40・12

大気汚染測定結果

京都市衛生局公害調査報告書 41・3

④空気汚染と文化財に及ぼす影響

古文化資料自然科学研究会 37・1

上野周辺の大気汚染

大気汚染研究全国協議会 日本分析化学会 39・1

大気中の硫化水素の測定

大気汚染研究全国協議会 日本分析化学会 39・9

横浜三溪園内の空気汚染調査

古文化資料自然科学研究会例会 40・10

⑤文化財と大気汚染

博物館資料保存技術研修会第1回 38・7

三溪園大気中の汚染調査

神奈川県博物館協会例会 41・3

物 理 研 究 室

登 石 健 三 (物理研究室長)

②Caractéristiques des Bouddhas orientaux en bronze:

Photographie aux rayons gamma.

Museum (UNESCO) 1958

Humidity control in a closed package

Studies in Conservation 1958

染色品の褪色とその防止の試み

古文化財の科学 34・12

- ②高德院国宝銅造阿彌陀如来坐像修理工事報告書の一部 高德院出版 36・7
- 鎌倉大仏の金属学的再検討 金属 37・1
- 鎌倉大仏の透視 Radioisotopes 37・11
- Ortho-contour photography Photogrammetric Engineering 1963・1
- X線透視による金色堂の研究 建築学会誌 38・1
- 鎌倉大仏のr線透視 原子力工業 38・始
- Relative humidity in a closed package. Recent Advance in Conservation 1963
- 岩絵具の褪色 古文化財の科学 38・3
- 軸装と額装 ミュージアム 39・2
- 文化財保存のための温湿度の基準 保存科学 39・3
- 顔料の変退色防止の基礎的研究 色材協会誌 39・4
- Improvements of ortho-contour photography Journal of the Japan Soc. of photogrammetry 39・6
- 美術品と蛍光灯照明 月刊文化財 39・7
- 二種類顔料の混合における反射率と混合率の関係 色材協会誌 39・9
- 法隆寺仁王像修理工事報告書の一部 未刊
- 文化財保存技術と建材 建材 40・4
- 仏像体内銘の撮影 古文化財の科学 40・5
- Radiography of the Great Buddha at Kamakura. Studies in Conservation 40・5
- 文化財の写真記録(I) 保存科学 41・3
- ③蛍光灯照明採用についての注意 博物館研究 34・12
- 文化財の記録にこの写真法を ミュージアム 37・7
- 陶器・茶器の科学鑑定 淡交 37・7
- 「にせもの」待った 科学朝日 41・3
- 密閉梱包の湿度調節 古文化資料自然科学研究会 33・9
- 光による染色品の褪色とその防止の為の注意 "
- ④鎌倉大仏の透視 古文化資料自然科学研究会 34・9

IV 調査研究

| | | |
|--|---------------|--------|
| 鎌倉大仏の透視調査 | アイソトープ会議京都大会 | 36・10 |
| 正射投影写真法 | 古文化資料自然科学研究会 | 36・11 |
| 正射投影等高線写真法 | 応用物理学学会大会 | 37・10 |
| 〃 | 写真測量学会 | 39・5 |
| 文化財の写真記録に於ける物の大きさの関係 | | |
| 及び物の寸法の読める特殊写真法 | 古文化資料自然科学研究会 | 39・6 |
| 鎌倉大仏 γ 線透視に関して | 蔵前工業会 | 35・11 |
| Relative humidity in a closed package | I I C ローマ大会代読 | 1961・9 |
| ⑤文化財の光学的調査 | 文化財美工課講習会 | 36・11 |
| 火災時のアイソトープ取扱 | 下谷消防署 | 37・4 |
| 鎌倉大仏透視に関して | 研究所開所記念 | 37・10 |
| 古陶磁の科学的調査 | 研究所美術部研究会 | 37・12 |
| 建造物修理におけるX線の応用 | 現場主任講習会 | 38・2 |
| 正射投影等高線写真法 | 写真学会 | 38・3 |
| 古美術品の科学的保存に関して | 美工課講習会 | 38・10 |
| 文化財の科学的鑑識 | 博物館協会学芸員講習会 | 39・6 |
| 額装と軸装 | 美工課講習会 | 39・9 |
| 文化財保護に関する近年の話題 | 明治大学 | 40・5 |
| 修理のための科学的研究方法——物理的方法 | 美工講習会 | 40・10 |
| 各国の文化財修理 | 〃 | 40・10 |
| IIC (The International Institute for Conservation of Historic and Artistic Works) アブストラクト報告 | ロンドン | 33~40 |
| 大阪原子力博協力出品(透視写真) | 大阪 | 33・9 |
| 金色堂卷柱の被害に関して報告 | 中尊寺修理委員会 | 40・1 |
| 正視投影撮影装置特許 | | 40・2 |
| 見城敏子 | | |
| ②染色品の褪色とその防止の試み | 古文化財の科学 | 34・12 |
| 岩絵具の褪色 | 〃 | 38・3 |

顔料の変退色防止の基礎的研究

色材協会誌 39・4

二種顔料の混合における反射率と混合率の関係

〃 39・9

石川 陸郎

②染色品の褪色とその防止の試み

古文化財の科学 34・12

X線透視に依る金色堂の研究

日本建築学会誌 38・1

唐招提寺牛皮華蔓調査について

事務局報告書 39・7

継なかご一刀剣の偽作とX線透視

ミュージアム（東京国立博物館） 40・5

仏像体内銘の撮影

古文化財の科学18号 40・5

④文化財の写真記録に於ける物の大きさの関係及び物の寸法の読める特殊写真法

古文化資料自然科学研究会 39・6

呉 屋 充 庸（非常勤 昭和40年3月退職）

④日本顔料に対する強照明の影響に関する一実験

古文化財の科学 34・12

Ortho-Contour Photography

Photogrammetric Engineering 38・1

Improvements of Ortho-Contour Photography

Journ. of the Japan Soc. of Photogrammetry 39・6

生 物 研 究 室

江 本 義 数（非常勤）

②洋画に発生するかび

日本菌学会々報 36・7

奈良薬師寺金堂の菌害

日本菌学会々報 38・1

奈良薬師寺金堂の黴害再発

古文化財の科学 38・12

奈良正倉院構内及びその付近の空中微生物、殊に糸状菌について

保存科学1号 39・3

日光東照宮二社一寺建造物の黴害とその防除

保存科学2号 41・3

⑤日光東照宮の黴害とその防除について

古文化資料自然科学研究会 33・11

文化財の保存——黴などの問題

修理技術者養成講習会 36・9

カビと文化財

博物館友の会 40・6

IV 調 査 研 究

修 理 技 術 研 究 室

立 田 三 朗 (昭和37年10月1日就職)

| | | |
|-----------------|--------|-------|
| ③名鐘遍歴 | 古美術 | 39・8 |
| くろがねの観音 | 鎌倉市民 | 39・12 |
| 金工品の修理について(その一) | 保存科学 | 41・3 |
| ④箱根神社の鉄の大釜 | ミュージアム | 38・3 |
| 人形町の鉄観音 | " | 39・8 |
| ⑤鐘の話 | 鎌倉文化会 | 40・2 |

茂 木 曜

| | | |
|--------------------------|---------|------|
| ③遺跡と現代科学「貝塚をかためた話」 | 博物館ニュース | 35・3 |
| 文化財の科学的保存修理の一例 | ミュージアム | 35・8 |
| ④円城寺本堂内陣彩色内壁剥落どめ | 受託研究報告 | 35・3 |
| 明王院五重塔内部彩色剥落止め及び木材の科学的処置 | " | 36・3 |
| 明王院五重塔四天柱塗装処置及び天井板彩色保存 | " | 36・3 |
| 西明寺三重塔内部彩色剥落どめ | " | 36・3 |
| 東照宮(金地院)内部彩色剥落どめ | " | 36・3 |
| 海住山寺五重塔内陣板絵及び彩色剥落どめ | " | 37・3 |
| 靈山寺三重塔内部彩色剥落どめ等科学処置 | " | 37・3 |
| 万福寺木額, 柱聯, 榜牌等剥落どめ | " | 38・3 |
| 舟屋形内部彩色剥落どめ | " | 38・3 |

4 受 託 研 究

受 託 研 究 一 覧

| 年 度 | 受 託 研 究 事 項 | 研究部局 | 依 頼 者 |
|--------|--------------------------|-------|----------|
| 昭和34年度 | 1 重要文化財円城寺本堂解体前内陣彩色画剥落止め | 保存科学部 | 奈良県教育委員会 |

| | | | |
|--------|--------------------------------|-------|---------------------|
| 昭和35年度 | 2 国宝明王院五重塔解体前内部彩色剥落止め | 保存科学部 | 国宝明王院五重塔修理委員会 |
| | 3 海住山寺五重塔内陣板絵及極彩色応急剥落止工事 | " | 京都府海住山寺 |
| | 4 重要文化財円成寺本堂内陣彩色画剥落止め作業 | " | 奈良県教育委員会 |
| | 1 国宝明王院五重塔内部彩色剥落止め本作業及び木材の科学処理 | 保存科学部 | 福山市国宝明王院五重塔修理委員会 |
| 昭和36年度 | 2 国宝建造物西明寺三重塔の内部彩色剥落止め | " | 滋賀県教育委員会 |
| | 3 国宝明王院五重塔四天柱塗装処理及び天井板彩色保存処理 | " | 福山市国宝明王院五重塔修理委員会 |
| | 4 重要文化財東照宮内部剥落止め | " | 京都府教育委員会 |
| | 1 万福寺重要文化財の木額柱聯榜牌等剥落止め | 保存科学部 | 京都府教育委員会 |
| 昭和37年度 | 2 重要文化財舟屋形解体前内部彩色剥落止め | " | 熊本県熊本市長 |
| | 3 霊山寺三重塔内部彩色剥落止め等科学処置 | " | 奈良市霊山寺 |
| | 4 国宝建造物海住山寺五重塔内陣板絵及び極彩色剥落止め | " | 京都府教育委員会 |
| | 1 万福寺重要文化財の木額柱聯榜牌等剥落止め | 保存科学部 | 京都府万福寺 |
| 昭和38年度 | 2 国宝興福寺北円堂内部彩色剥落止め | " | 奈良県教育委員会 |
| | 3 舟屋形解体後内部彩色剥落止め | " | 熊本県熊本市長 |
| | 1 興福寺北円堂内部彩色保存処置 | 保存科学部 | 奈良県教育委員会 |
| | 2 吉野水分神社建築彩色剥落止め | " | " |
| | 3 国宝崇福寺第一峰門彩色剥落止め | " | 長崎市国宝崇福寺第一峰門保存修理委員会 |

IV 調査研究

| | | | |
|--------|--------------------------------|-------|-------------------------|
| 昭和39年度 | 1 重要文化財吉野水分神社本殿建築彩色剥落どめ | 保存科学部 | 奈良県教育委員会 |
| | 2 重要文化財崇福寺三門彩色剥落どめ | " | 国宝並重要文化財崇福寺一峯門三門保存修理委員会 |
| | 3 重要文化財般若寺十三重石塔初重軸石剥落止め硬化処置 | " | 奈良県教育委員会 |
| | 4 国宝薬師寺東塔建築彩色剥落どめ | " | " |
| | 5 重要文化財本地堂焼損材補修材料の研究 | " | 栃木県教育委員会 |
| 昭和40年度 | 1 国宝薬師寺東塔建築彩色剥落止め | 保存科学部 | 奈良県薬師寺 |
| | 2 重要文化財千代神社本殿向拝手狭の保存修理にかかる化学処理 | " | 滋賀県教育委員会 |
| | 3 重要文化財知恩院経蔵内部彩色剥落止め | " | 京都府教育委員会 |

国立文化財研究所研究受託規程（昭和34年4月30日文化財保護委員会告示第14号）

（趣旨）

第1条 国立文化財研究所（以下「研究所」という。）が委託により行う文化財に関する科学的調査研究（以下「研究」という。）については、この規程の定めるところによる。

（委託の申込）

第2条 研究所に研究を委託しようとする者は、第1号様式による研究委託申込書を国立文化財研究所長（以下「研究所長」という。）に提出しなければならない。

（受託）

第3条 研究所長は、前条の規定による委託の申込を承諾する場合には、第2号様式による研究受託承諾書を当該研究を委託する者（以下「委託者」という。）に交付する。

（費用の負担）

第4条 委託者は、その委託にかかる研究を実施するために必要な次の各号に掲げる費用の合計額に相当する金額を負担しなければならない。

一 国家公務員等の旅費に関する法律（昭和25年法律第114号）及び文部省所管旅

費規則（昭和25年文部省訓令）の規定による旅費

二 器具機械費、消耗品費、通信運搬費、賃金その他研究に要する経費

（費用の納入等）

第5条 委託者は、前条の規定により負担すべき費用を文化財保護委員会歳入徴収官の発行する納入告知書により前納しなければならない。

2 研究所は、研究が終了した結果、前項の規定により納入した金額に過不足が生じた場合には、委託者にその額に相当する金額を返還し、又は納入させなければならない。

3 委託者が第1項の規定による費用を納入告知書に定める期限内に納入しないときは、委託を取消したものとみなす。

（研究の中止）

第6条 研究所は、研究所の業務に支障があるため、又は災害その他やむを得ない理由があるため研究の継続が困難となったときは、当該研究を中止することができる。この場合において、研究所長は、遅滞なくその旨を委託者に通知しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、研究所は、委託者の申出によりその委託にかかる研究を中止することができる。

3 研究所は、第1項の規定により、研究を中止した結果、前条第1項の規定により納入した金額に過剰を生じた場合には、その額に相当する金額を返還しなければならない。

（研究の結果の報告）

第7条 研究所長は、研究が終了し、若しくは中止されたときは、遅滞なくその結果を委託者に報告しなければならない。ただし、研究の過程において委託者の求めに応じて中間報告をすることができる。

（研究の結果の公表）

第8条 研究の結果の公表は、研究所がこれを行う。

（損害賠償の免責）

第9条 研究所は、天災その他研究所の責に帰することができない理由によって、研究に関し委託者の受ける損害については、その賠償の責を負わない。

IV 調 査 研 究

(委託者の協力)

第10条 委託者は、研究所長の承認を得て、その委託にかかる研究に関し協力することができる。

附 則

この規程は、公布の日から施行し、昭和34年5月1日以後に行われる委託の申込から適用する。

(第一号様式)

研 究 委 託 申 込 書

昭和 年 月 日

国立文化財研究所長 殿

現住所

氏 名

印

国立文化財研究所研究受託規程に基き、下記内容をもって、文化財に関する科学的調査研究を委託したいので申込みます。

記

| | |
|---------------------------------|--|
| 1 題 目 | |
| 2 目的及び内容 | |
| 3 予算の範囲 | |
| 4 器具、資材等提供の有無 (品名、数量、提供の時期等) | |
| 5 完成希望期限 | |
| 6 公表猶予期限 | |
| 7 その他希望事項 | |

(第二号様式)

研究受託承諾書

昭和 年 月 日

殿

国立文化財研究所長

昭和 年 月 日付研究の委託の申込は、国立文化財研究所研究受託規程に基づき、下記条件をもって、これを承諾します。

記

| | |
|--------------------------------------|--|
| 1 題 目 | |
| 2 担当者氏名 | |
| 3 完了予定期日 | |
| 4 所要費用担当額 | |
| 5 所要費用納期 | |
| 6 提供を要する器具ならびに資材 (品名, 数量, 提供の時期等) | |
| 7 そ の 他 | |

5 出 版

A 美術研究

昭和7年1月創刊, 昭和41年3月第242号を発行。当研究所美術部の調査研究の成果を公表するための機関誌。主として所属研究員の執筆にかかる論文, 研究資料, 図版解説, 美術関係文献の校刊等を掲載し, ときに所外研究者の寄稿を受けることもあ

IV 調査研究

る。各号本文48頁，原色図版1，単色図版5，各年度6冊刊行。

昭和33年度（第198号～第203号）

昭和34年度（第204号～第209号）

昭和35年度（第210号～第215号）

昭和36年度（第216号～第218号）

昭和37年度（第219号～第224号）

昭和38年度（第225号～第230号）

昭和39年度（第231号～第236号）

昭和40年度（第237号～第242号）

B 日本美術年鑑

昭和11年10月創刊，毎年1冊（ただし昭和19～21年版および昭和22～26年版は各1冊）出版し，昭和41年3月までに24冊を刊行した。内容は，毎年1月から12月までのわが国美術界の活動，情勢を記録するもので，美術界年史，展覧会，物故者略歴，雑誌単行図書美術文献目録，美術関係諸施設，美術関係団体，人名簿等を収録し，所内研究員の調査・執筆による。

C 保存科学

昭和39年3月創刊の機関誌で，今後年1冊の出版を計画している。昭和41年3月までに2冊を刊行した。それ以前の研究発表は，古文化資料自然科学研究会の機関誌である古文化財の科学（昭和26年1月創刊，昭和40年3月までに18冊刊行）に掲載してきた。内容は，文化財の保存と修理に関する科学的研究であって，所属研究員の執筆にかかる論文，報告等である。

D その他の出版物

美術部

支那古版画図録

（美術研究資料第1輯）

昭和7

吉備大臣入唐絵詞

（同 第2輯）

同9

| | | |
|------------------|---------------|------|
| 徽宗摹張萱搗練圖 | (美術研究資料第3輯) | 昭 10 |
| 鳳凰堂雲中供養仏 | (同 第4輯) | 同 11 |
| 桃山時代金碧障壁画 | (同 第5輯) | 同 12 |
| 富貴寺壁画 | (同 第6輯) | 同 13 |
| 印度及南部アジア美術資料 | (同 第7輯) | 同 14 |
| 光悦色紙帖 | (同 第8輯) | 同 14 |
| 菱田春草 | (同 第9輯) | 同 15 |
| 能恵法師絵詞 | (同 第10輯) | 同 16 |
| 宮素然筆明妃出塞図卷 | (同 第11輯) | 同 16 |
| 日本美術資料 | 第1輯 | 同 13 |
| 同 | 第2輯 | 同 14 |
| 同 | 第3輯 | 同 15 |
| 同 | 第4輯 | 同 16 |
| 同 | 第5輯 | 同 17 |
| 近代日本美術資料 | 第1輯 | 同 23 |
| 同 | 第2輯 | 同 24 |
| 同 | 第3輯 | 同 26 |
| 墨跡資料集 | 第1輯 | 同 24 |
| 同 | 第2輯 | 同 24 |
| 同 | 第3輯 | 同 26 |
| 源氏物語絵巻 | | 同 24 |
| 黒田清輝素描集 | | 同 24 |
| 栄山寺八角堂 | | 同 25 |
| 栄山寺八角堂の研究 | | 同 26 |
| 法隆寺金堂建築及び壁画の文様研究 | | 同 28 |
| 黒田清輝作品集 | | 同 29 |
| 東洋美術文献目録 | 明治以降昭和10年まで | 同 16 |
| 同 | 続編 昭和11年～同20年 | 同 23 |
| 東洋古美術文献目録 | 昭和21年～同25年 | 同 29 |

IV 調 査 研 究

美術研究索引 第1号～第100号 昭和16

美術研究総目録 第1号～第230号 同 40

ほかに科学研究費補助金（研究成果刊行費）の交付を受け、または本研究所の監修で刊行された図書は次のとおりである。

光学的方法による古美術品の研究

| | | |
|------------------|-----------|------|
| 東京国立文化財研究所光学研究班編 | 吉川弘文館 | 昭和30 |
| 梁楷 | 便利堂 | 同 32 |
| 醍醐寺五重塔の壁画 高田 修編 | 吉川弘文館 | 同 34 |
| 平安時代世俗画の研究 秋山光和著 | 同 | 同 39 |
| 近代日本美術の研究 隈元謙次郎著 | 大蔵省印刷局 | 同 39 |
| 黒田清輝 | 同 日本経済新聞社 | 同 41 |

芸能部

標準日本舞踊譜 昭和35

音盤目録 1 同 40

保存科学部

重要文化財円成寺本堂内陣彩色剥落どめ

（東京国立文化財研究所受託研究報告 保存科学部 第1号） 昭和35

国宝明王院五重塔内部彩色剥落止本作業及び木材の科学的処置

（同 第2号） 同 36

国宝明王院五重塔四天柱塗装処置及び天井板彩色保存処置

（同 第3号） 同 36

国宝西明寺三重塔内部彩色剥落どめ

（同 第4号） 同 36

重要文化財東照宮内部彩色剥落どめ

（同 第5号） 同 36

国宝海住山寺五重塔内陣板絵及び彩色剥落どめ

（同 第6号） 同 37

重要文化財靈山寺三重塔内部彩色剥落どめ等科学処置

（同 第7号） 同 37

重要文化財萬福寺木額、柱聯、榜牌等剥落どめ

（同 第8号） 同 38

重要文化財舟屋形内部彩色剥落どめ

（同 第9号） 同 38

| | | | |
|-------------------------------|----------|---|----|
| 国宝興福寺北円堂内部彩色保存処置 | (同 第10号) | 同 | 39 |
| 国宝崇福寺第一峰門彩色剥落どめ | (同 第11号) | 同 | 39 |
| 重要文化財本地堂焼損材補修材料の研究 | (同 第12号) | 同 | 40 |
| 重要文化財崇福寺三門彩色剥落どめ | (同 第13号) | 同 | 40 |
| 重要文化財般若寺十三重石塔初重軸石剥落止め硬化処置 | (同 第14号) | 同 | 40 |
| 重要文化財吉野水分神社本殿建築彩色剥落どめ | (同 第15号) | 同 | 40 |
| 国宝薬師寺東塔内部彩色剥落どめ | (同 第16号) | 同 | 41 |
| 重要文化財千代神社本殿の向拝手狭の保存修理にかかる保存処置 | (同 第17号) | 同 | 41 |

6 講演・展観

| | | | |
|---------------------------------------|-------------|-------|--|
| 昭和33年10月17日 | 東京国立博物館講堂 | | |
| 第3回実演による芸能研究会(琉球舞踊一御前風ほか、日本舞踊一島の千歳ほか) | | | |
| 昭和34年12月12日 | 本研究所陳列室 | | |
| 高野時次氏収集浅井忠水彩画特別展観 | | | |
| 昭和35年12月17日 | 東京国立博物館講堂 | | |
| 義太夫節研究資料としての安原コレクション | | 浦山 政雄 | |
| 文楽人形の型実演 | | 桐竹紋十郎 | |
| 昭和36年11月18日 | 本研究所黒田子爵記念室 | | |
| 鎌倉大仏の歴史 | | 田沢 坦 | |
| 鎌倉大仏の最近の修理調査 | | 関野 克 | |
| 昭和37年10月20日 | 本研究所黒田子爵記念室 | | |
| 文化財の保存と科学的研究 | | 関野 克 | |
| 文化財の非破壊分析 | | 江本 義理 | |
| 合成樹脂による文化財の保存について | | 岩崎 友吉 | |
| X線透視による金色堂の研究 | | 登石 健三 | |
| 昭和38年11月15～16日 | 本研究所陳列室 | | |

IV 調 査 研 究

稀観絵巻物展観

昭和38年11月16日 本研究所陳列室

稀観絵巻物展の展示品について

田中 一松

昭和39年12月12日 東京文化会館小ホール

神楽能系譜

三隅 治雄

神楽能と歌舞伎

浦山 政雄

関東の神楽能（猿田彦細女元段ほか）実演

昭和40年10月30日 東京ブリヂストン美術館

黒田清輝の思い出（対談）

和田 三造・坂崎 坦

黒田清輝について

隈本^元謙次郎

黒田先生の芸術その他

矢代 幸雄

V 研究施設

1 蔵書

美術部 東洋古美術、近代日本美術、西洋美術関係を主として、和漢洋書を合わせて約16,100部、ほかに美術関係雑誌、売立目録類および拓本がある。昭和33年度以降の新蔵書は次のとおりである。

| 区 分 | 昭和33 年度 | 昭和34 年度 | 昭和35 年度 | 昭和36 年度 | 昭和37 年度 | 昭和38 年度 | 昭和39 年度 | 昭和40 年度 | 計 |
|-------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 和 漢 書 | 冊 365 | 冊 370 | 冊 362 | 冊 446 | 冊 415 | 冊 477 | 冊 473 | 冊 594 | 冊 3,502 |
| 洋 書 | 21 | 23 | 20 | 21 | 10 | 36 | 49 | 57 | 237 |

芸能部 わが国の伝統芸能関係を主として、図書・文書等約2,200部がある。演芸画報・歌舞伎新報・歌舞伎（第1次）・テアトロ（第1次）・上方・民俗芸術・日本民俗等の芸能関係諸雑誌も多数収集している。

保存科学部 古来の伝統的生産および工芸技術書、技術史、または数少ないそれらの科学的究明を試みたもの。修理報告書、調査報告書、および化学・物理・生物学部門の保存科学に関連ある和洋書を合わせて約600冊を収集している。

2 資料

美術部 主として写真による美術研究資料であるが、その収集の目的は、内外の資料をあまねく収集、整理、保管して、その完璧な収集箇所として美術の研究に資することである。この趣旨に基づいて設立当初から写真撮影による資料の作成をはじめ、印刷物を整理してこれに加える等その収集につとめている。資料の内容は、日本美術、東洋美術、西洋美術、および明治、大正美術に大別しさらにこれを絵画、彫刻、工芸、建築等に分類整理している。その数は特別大型のものから小型のものまで約

V 研究施設

120,000点がある。写真資料のほかに印譜、図版カード等がある。

芸能部 レコード・録音テープ・写真（8ミリ・16ミリシネを含む）等の資料をそなえる。レコードには昭和35年度文部省機関研究費によって購入した安原コレクションレコード5,450枚が含まれている。安原コレクションは、明治・大正・昭和三代にわたって刊行された各種邦楽レコードを網羅したもので、近代における邦楽の実態と変遷を知る上での貴重な資料となるものである。録音テープおよび写真は、研究所開設以来、雅楽、能、狂言、歌舞伎、文楽、民俗芸能その他わが国の伝統芸能を対象にして記録してきたものである。演技法の分解写真・文書の記録写真なども含んでいる。種別による所蔵数は次のとおりである。

| レコード | 録音テープ | | 写 真 | シネ・フィルム | |
|---------|-------|-------|----------|---------|-------|
| | 7 型 | 5 型 | | 8 ミリ | 16 ミリ |
| 5,623 枚 | 555 本 | 190 本 | 52,000 点 | 85 本 | 2 本 |

3 機器・設備

美術部

光学的研究設備

光学的鑑識法を東洋古美術品の研究に応用することは当研究所において既に戦前から企図されていたが、昭和27年度にはそれまでの予備的研究成果と海外における研究設備を参考とし、科学研究費（機関研究）の交付を受けて本格的な設備を整えるにいたった。その後も技術的な進歩に即応して新規の装置を加え、美術史学の実証的研究に多大の貢献をしている。現在の主要設備を類別すると次のとおりである。

I X線透過撮影装置

- (1) 固定式白色X線装置 (100KV) 1式
- (2) 固定式単色X線装置 (80KV) 1式
(対蛍光板, 支持台, 防X線用衝立等)
- (3) 可搬式白色X線装置 1式
- (4) 可搬式ソフテックス装置 (J型) 1式

- (5) 携帯用ソフテックス装置 (E型) 1台
- II 紫外線照射装置
- (1) 固定式照射装置 2台
- (2) 可搬式照射装置 (フィリップス紫外線ランプ125W及び専用トランス) 2台
- (3) 携帯用紫外線検査器 1台
- III ナトリウムランプ照射装置 2台
- IV 赤外線暗視装置及び間接撮影装置
- (1) 双眼実体顕微鏡及び写真撮影装置 1式
- (2) 新型双眼実体顕微鏡及びカラー顕微鏡写真同時撮影装置 (可動支持台及び携帯用スタンド) 1式

マイクロ写真関係設備

マイクロ方式による古文化財関係基礎資料の蒐集調査を目的とし、昭和36、37年度科学研究費 (機関研究) により次の設備を整え、研究に活用している。

- I マイクロ写真撮影装置 1式
(付自動現像機、プリンター、引伸機、乾燥機等)
- II マイクロ読読機 (ルーモ社製) 3台
- III リーダープリンター

芸能部

各種古典芸能の記録および分析研究のための設備・機器を所有する。たとえば、ピッチレコーダーは、音声のごときピッチが連続的に変化する音響を自動的に指示記録する装置で、声明・平曲・謡曲・狂言・浄瑠璃など音声による部分が重要な芸能、あるいは歌舞伎のセリフや郷土芸能のとなえ言など楽譜化が困難なものをこの装置により、音の高低・強弱を微細な部分まで記録し正確な伝承、また流儀差・個人差の検討を行ったりする。

I 設備

- (1) 録音室 1室
- (2) レコード資料室 1室

II 機器

- (1) ピッチレコーダー 1台 日本電子測器K・K製

V 研究施設

| | |
|--------------|--------------------|
| (2) テープレコーダー | 4 台 |
| (3) 16ミリ撮影機 | 1 台 アリフレックス社製 |
| (4) " 映写機 | 1 台 エルモ社製 |
| (5) 8ミリ撮影機 | 2 台 ベル・ハウエル社・エルモ社製 |
| (6) " 映写機 | 1 台 エルモ社製 |
| (7) 35ミリ写真機 | 4 台 |

保存科学部

主な研究設備

| 装 置 名 | 型式又は性能 | 製造会社名 |
|------------------------------|-----------|-------------|
| 恒 温 恒 湿 槽 | -30~60℃ | 東 洋 理 科 工 業 |
| サンシャイン ウェザー メーター | WE-SUN-HC | " |
| 真空凍結乾燥装置 | | 加藤万製作所 |
| アムスラー強度試験機 | 500kg | 東 京 衡 機 |
| 紙耐揉強度試験機 | | 上 島 製 作 所 |
| 光電分光光度計 | EPU-2 型 | 日 立 |
| 発光分光分析装置 | | (当研究所組立) |
| 蛍光X線分析装置 | D-4 型 | 理 学 電 機 |
| X線回折装置およびデバイ・シェラーカメラ, ラウエカメラ | | " |
| X線発生装置 (透視写真用) | ウェルテス-200 | 島 津 |
| " | 医療用愛国号 | " |
| " | ソフテックスS-E | 小 泉 製 作 所 |
| 真空蒸着装置 | CU-6S | 徳 田 製 作 所 |
| 金 属 顕 微 鏡 | PMF | オ リ ン パ ス |
| 生 物 顕 微 鏡 | LCM bi | 千 代 田 光 学 |
| " | RI tr | " |
| 表面アラサ顕微鏡 | | ラ イ ツ |
| Co-60, γ 線線源 | 3 キュリー | |
| " | 0.2 キュリー | |
| ガイガー・ミュラー計数装置 | 32 型 | 科 研 |

文化財の特殊性として、材質の劣化現象究明のための試験機類、非破壊の方法による材質調査のための分析機器類、および微量試料の分析、調査などに用いる顕微鏡類などがある。

4 黒田記念室

この記念室は、本研究所の創立者故帝国美術院長子爵黒田清輝の功績を記念するために設けられたもので、その油絵、素描、画架等を陳列している。

収蔵されているものは、油絵125点、素描170点、スケッチブック等若干である。これらは創立当時主として黒田家から寄贈されたものであるが、その後、樺山愛輔、黒田照子、田中良等からの寄贈もふくまれており、随時陳列替を行なっている。毎週木曜日午後1時から4時まで一般に無料公開している。陳列品の主なものは、「知感情」、「花野」、「湖畔」、「赤髪の少女」、「もるる日影」、「温室花壇」等である。

黒田子爵記念観覧規程

第1条 本研究所の黒田子爵記念室（以下単に「記念室」という。）は、この規程によって一般に公開する。

第2条 観覧は無料とする。

第3条 観覧者は、備付けの帳簿に現住所、氏名を記載し、掛員の指示を受けるものとする。

第4条 陳列品の模写又は写真撮影を希望する者は、予め書面により届出で許可を受けなければならない。

第5条 観覧者は、記念室内において左の事項を行ってはならない。

- 一 陳列品に手を触れること。
- 二 インク、墨汁等を使用すること。
- 三 飲食及び喫煙をなすこと。

第6条 観覧者がこの規程に違反し、又記念室公開の趣旨に反する行為があると認めるときは、退場を命ずることがある。

第7条 観覧の日時は毎週木曜日午後1時から同4時までとし、観覧を停止する日は左の通りとする。

祝日

開所記念日（10月18日）

年末年始（12月25日から翌年1月6日まで）

V 研 究 施 設

夏期（7月21日から8月31日まで）

第8条 本研究所において必要があるときは、前条の日時を随時変更することがある。但しこの場合は予め掲示する。

5 閱 覧 室

本研究所の図書および研究資料は主として研究者、学者、美術関係専攻の学生等に公開している。年間の閲覧者数は、延 1,200 名程度である。

昭和42年 3月27日 印刷
昭和42年 3月31日 発行

非 売 品

発行者 東京国立文化財研究所

代表者 関 野 克

東京都台東区上野公園12-53

印刷者 大 蔵 省 印 刷 局